

第5期瑞浪市地域福祉計画策定のための
アンケート調査結果報告書

令和6年3月

瑞 浪 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	1
II	調査結果	3
1	市民	5
1	回答者の属性	7
(1)	性別	7
(2)	年齢	7
(3)	世帯構成	7
(4)	同居している家族	8
(5)	居住地区	8
(6)	居住年数	8
2	地域とのかかわりについて	9
(1)	互いに助け合いの活動ができる地域とはどこまでか	9
(2)	近所との関係	11
(3)	住んでいる地域は暮らしやすいか	13
(4)	今より暮らしやすくするためにはどうしたらいいか	15
(5)	自治会への加入状況	17
(6)	自治会の活動への参加状況	19
(7)	自治会の活動に参加している主な理由	21
(8)	自治会に加入、参加するために必要な条件や環境	23
(9)	コロナ感染拡大前より大切に思うこと	25
3	地域福祉について	27
(1)	高齢者が暮らしやすいまちか	27
(2)	障がい児・者が暮らしやすいまちか	29
(3)	子育てしやすいまちか	31
(4)	地域住民がお互いに支え助け合う関係が必要か	33
(5-1)	高齢者に対して支援や協力ができること	35
(5-2)	障がい児・者に対して支援や協力ができること	37
(5-3)	障がい児・者に対して支援や協力ができること	39
(6)	ボランティアや近隣住民に手助けしてほしいこと	41
(7)	子育てしやすい地域づくりに大切なこと	44
(8)	福祉活動を推進するための市民と行政のあるべき関係	46

(9) 福祉のまちづくりのために市に取り組んでほしいこと.....	48
4 ボランティア活動について.....	50
(1) 福祉ボランティア活動や助け合い活動の状況.....	50
(2) 現在取り組んでいる活動の内容.....	52
(3) 活動の輪を広げるために特に重要なこと.....	53
(4) どのような条件や環境であれば活動したいか.....	54
(5) 福祉ボランティア活動への興味や参加意向.....	56
(6) ボランティア活動に参加するうえで支障になること.....	58
5 保健・福祉に関する情報の入手について.....	60
(1) 保健・福祉情報を必要とした時があったか.....	60
(2) 必要な情報を得ることができたか.....	62
(3) 必要とした情報の入手先.....	64
(4) 今後保健・福祉情報をどのように得たいか.....	66
6 相談について.....	68
(1) 暮らしの中での悩みや不安.....	68
(2) 暮らしの問題で困ったときの相談相手.....	70
(3) 福祉・保健・年金などに関する窓口の利用.....	72
(4) 市の窓口は利用しやすかったか.....	74
(5) 福祉の相談窓口充実のために重要なこと.....	76
7 人権・権利擁護について.....	78
(1) 虐待等を知った場合の通報義務について.....	78
(2) 虐待等を知った場合の相談窓口について.....	80
(3) 成年後見制度について.....	82
(4) 日常生活自立支援事業について.....	84
8 外出の状況について.....	86
(1) 社会からの孤立感について.....	86
(2) ふだんの外出状況について.....	88
(3) その状態はどれくらい続いているか.....	90
(4) 現在の状態になったきっかけ.....	90
(5) 現在の状態について誰かに相談したか.....	91
(6) 誰かに相談したいか.....	91
(7) どのような人・機関なら相談したいか.....	92
(8) 相談したくないと思う理由.....	93
9 いのちの支え合いについて.....	94
(1) 地域の見守り体制について.....	94
(2) 孤立死について.....	96
(3) 地域の中で安心して暮らすために必要なこと.....	98
(4) 多様性の受容について.....	101
10 瑞浪市社会福祉協議会について.....	103
(1) 社会福祉協議会の認知状況.....	103
(2) 知っている社会福祉協議会の活動.....	105

(3) 社会福祉協議会の利用状況.....	108
(4) どのようなことで利用したか.....	110
(5) 社会福祉協議会に期待すること.....	113
11 民生委員・児童委員について.....	116
(1) 民生委員・児童委員について.....	116
(2) 地域の民生委員・児童委員を知っているか.....	118
(3) 民生委員・児童委員にどのような対応をしてほしいか.....	120
12 福祉委員について.....	122
(1) 福祉委員について.....	122
(2) 地域の福祉委員を知っているか.....	124
(3) 福祉委員にどのような対応をしてほしいか.....	126
13 災害時における助け合いについて.....	128
(1) 災害に対して安全なまちであるか.....	128
(2) 災害時の備えとして重要だと思うこと.....	130
(3) 災害などの緊急事態が発生した場合に誰を頼りにするか.....	132
(4) 災害時や緊急時における障がい児・者や高齢者への支援体制について.....	134
(5) 災害時要配慮者への重要な対策.....	136
14 これからの市の福祉環境について.....	138
(1) 瑞浪市をどんな福祉のまちにしたいか.....	138
(2) 瑞浪市の保健・福祉施策として今後重要な取り組み.....	141
15 自由意見	144
2 中学生.....	145
1 回答者の属性.....	147
(1) 性別	147
(2) 居住地区	147
2 日常生活について.....	148
(1) 近所の人に会ったときにあいさつするか.....	148
(2) 近所の人にあいさつされたり声をかけられたりするか.....	149
(3) 住んでいる地域について.....	150
3 ボランティアや地域活動について.....	151
(1) 地域の行事に参加しているか.....	151
(2) ボランティア活動をしたことがあるか.....	152
(3) 経験したボランティアの内容.....	153
(4) 誰と一緒に活動したか.....	155
(5) 今後参加したいボランティア活動.....	157
(6) ボランティア活動の参加で一番に考えること.....	159
(7) まわりに障がいのある人や手助けが必要な高齢者はいるか.....	160
(8) 困っている人を見かけた時に手助けをしているか.....	161
(9) 手助けをしていない理由.....	162
(10) 心がけていること.....	163
(11) 瑞浪市は大人になっても住み続けたいまちか.....	165

(12) 住み続けたい市にするために整備すべきこと.....	166
(13) 住みよいまちにするためにあると良い活動.....	168
4 災害時における助け合いについて.....	170
(1) 地域における災害の備えとして重要な事.....	170
5 自由意見	172

I 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「第5期瑞浪市地域福祉計画」及び「第5期瑞浪市地域福祉活動計画」の策定のため、地域での生活や福祉活動に関する状況を把握し、計画づくりの基礎資料とするために実施した。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	市民	中学生
調査対象	18歳以上の市民	市内の中学2年生
配布数	1,000	309
抽出法	無作為抽出	全数
調査方法	郵送調査またはオンライン調査	学校指定のオンラインアンケートフォームを使用
調査時期	令和5年11月～12月	令和5年11月～12月
調査地域	瑞浪市全域	瑞浪市全域

(3) 配布数及び回収結果

項目	市民	中学生
有効配布数	1,000	309
有効回収数	478	273
有効回収率	47.8%	88.3%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%にならない場合がある。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

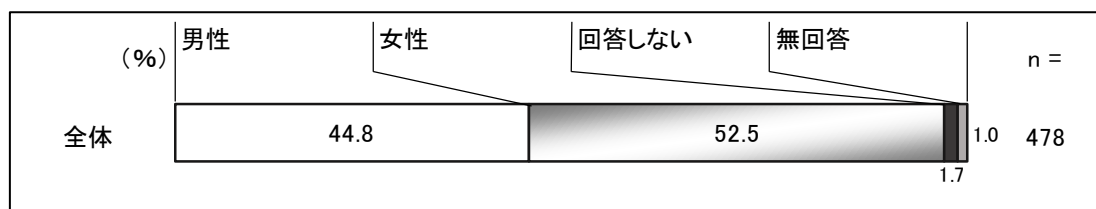
Ⅱ 調査結果

1 市民

1 回答者の属性

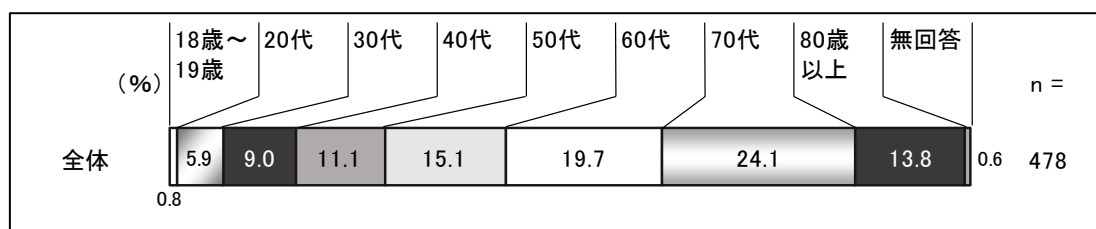
(1) 性別

回答者の性別は、「女性」(52.5%)、「男性」(44.8%)、「回答しない」(1.7%) となっている。



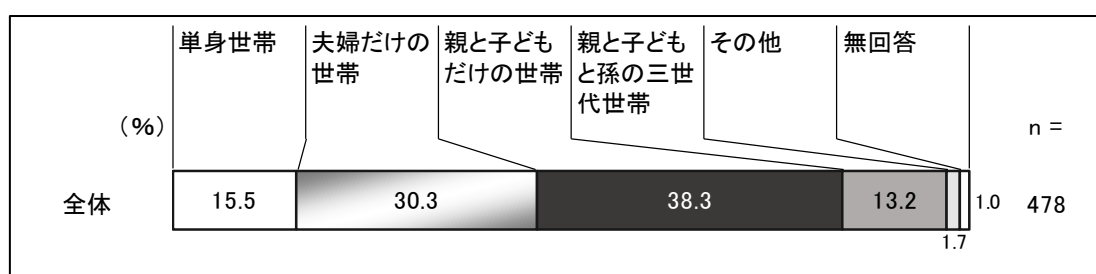
(2) 年齢

回答者の年齢は、「70代」(24.1%)、「60代」(19.7%)、「50代」(15.1%) となっている。



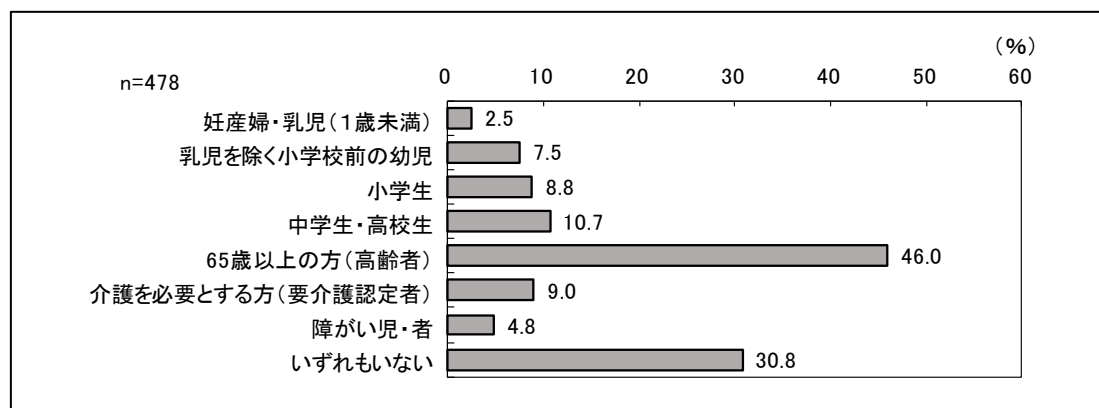
(3) 世帯構成

回答者の世帯構成は、「親と子どもだけの世帯」(38.3%)、「夫婦だけの世帯」(30.3%)、「単身世帯」(15.5%) となっている。



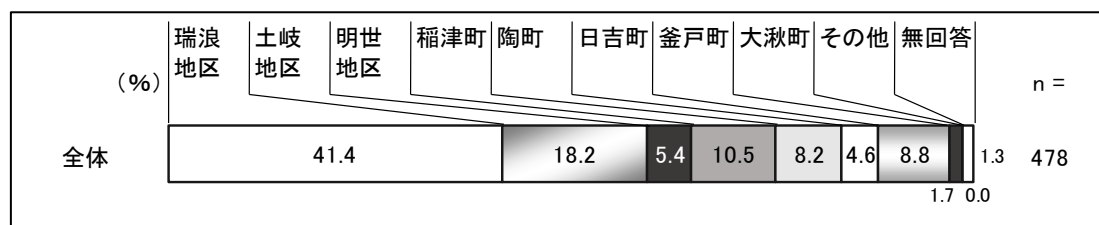
(4) 同居している家族

同居している家族は、「65歳以上の方」(46.0%)、「中学生・高校生」(10.7%)、「介護を必要とする方(要介護認定者)」(9.0%)となっている。なお、「いずれもない」は30.8%となっている。



(5) 居住地区

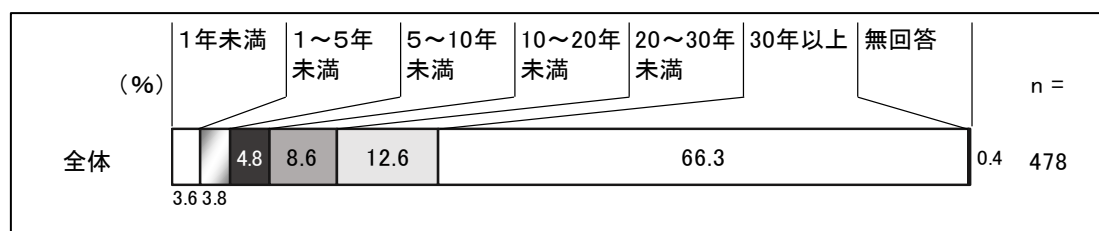
回答者の居住地区は、「瑞浪地区」(41.4%)、「土岐地区」(18.2%)、「稲津町」(10.5%)となっている。



※調査対象者に「その他」の居住者がいなかったため、以下のクロス分析の居住地区別でも「その他」の表記を省略した。

(6) 居住年数

回答者の瑞浪市での居住年数は、「30年以上」(66.3%)、「20～30年未満」(12.6%)、「10～20年未満」(8.6%)となっている。



2 地域とのかかわりについて

(1) 互いに助け合いの活動ができる地域とはどこまでか

問7 あなたにとって、市民が互いに助け合いの活動ができる「地域」とはどこまでをさすと思われますか。



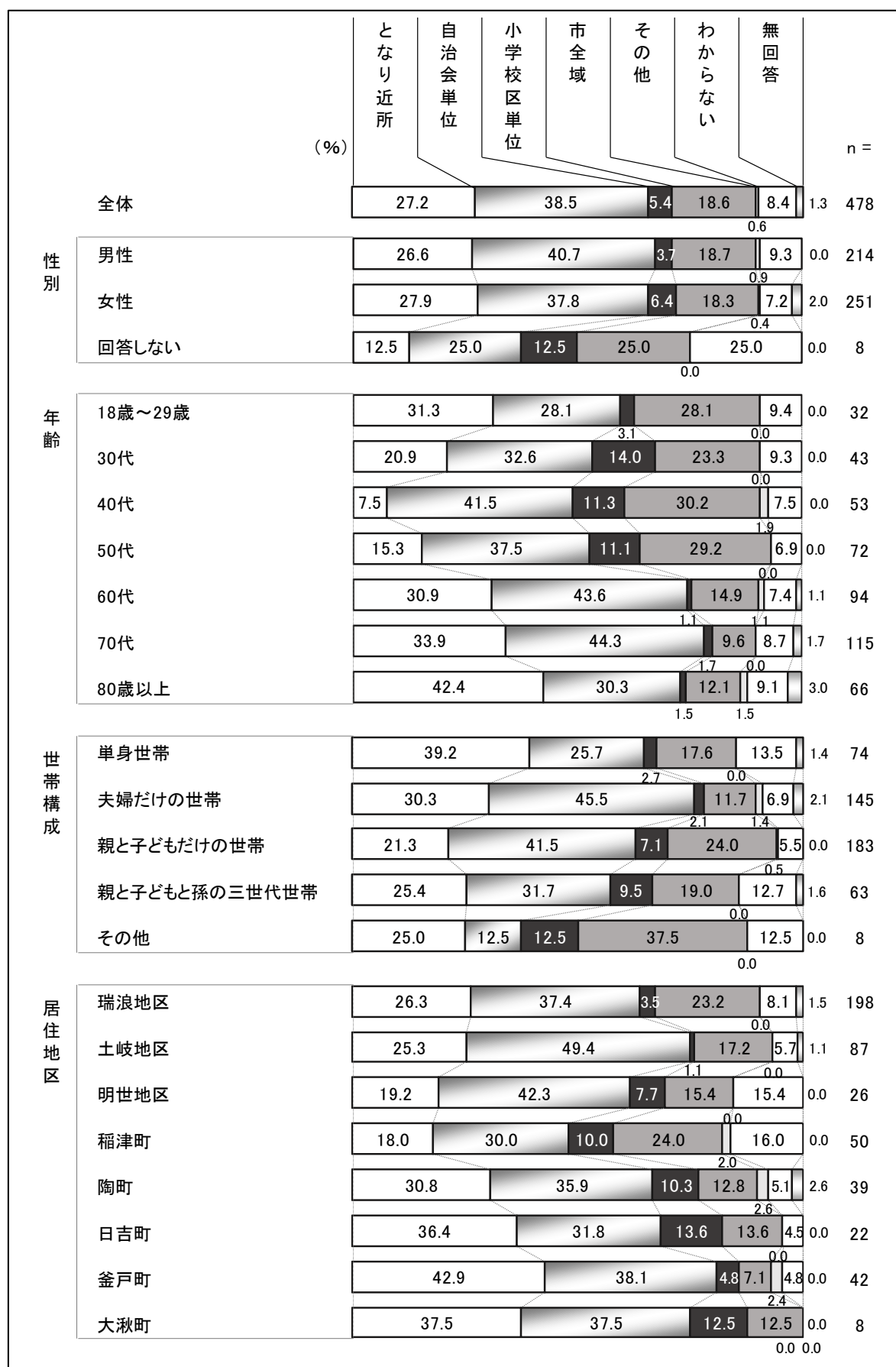
- 「自治会単位」が約4割を占める。

助け合いの活動ができる地域の範囲については、「自治会単位」(38.5%)が最も高く、次いで、「となり近所」(27.2%)、「市全域」(18.6%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、50代以下で「市全域」の割合が2～3割を占めており、60代以上と比べて高くなっている。また、80歳以上で「となり近所」の割合が約4割と、他の年代に比べて高くなっている。

居住地区別では、土岐地区で「自治会単位」が約5割を占めている。

図表 互いに助け合いの活動ができる地域とはどこまでか



(2) 近所との関係

問8 あなたのご近所との関係は次のどれに最も近いですか。



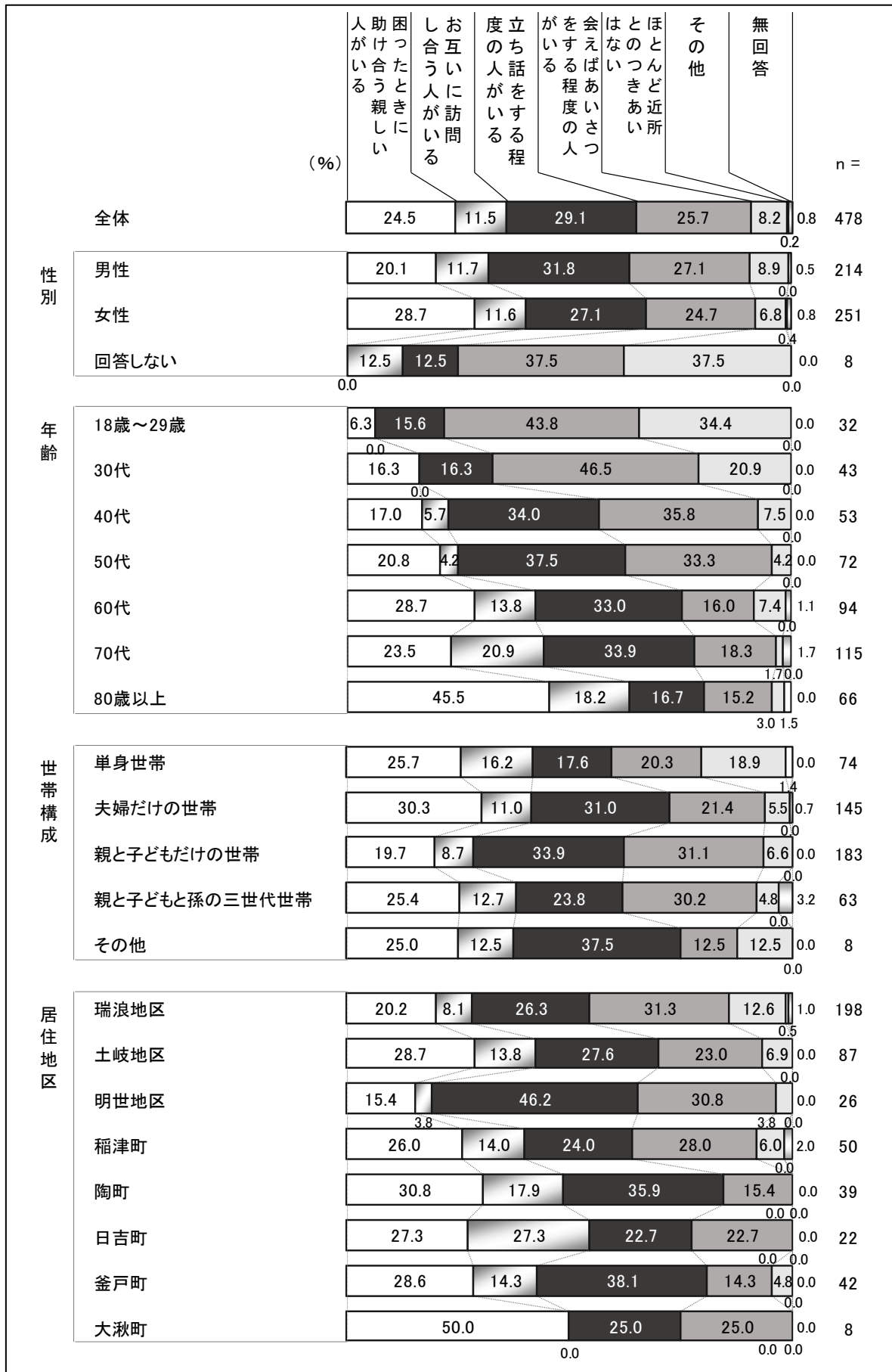
- 「立ち話をする程度の人がいる」が約3割を占める。

近所との関係は、「立ち話をする程度の人がいる」(29.1%)が最も高く、次いで、「会えばあいさつをする程度の人がいる」(25.7%)、「困ったときに助け合う親しい人がある」(24.5%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、年齢層が高くなるにつれて「困ったときに助け合う親しい人がある」「お互いに訪問し合う人がある」の割合が高くなる傾向がみられ、年齢層が高くなるほど近所づきあいの緊密度が高くなることがうかがえる。

居住地区別では、明世地区で「立ち話をする程度の人がある」の割合が4割半ばと、他の居住地区に比べて高くなっている。

図表 近所との関係



(3) 住んでいる地域は暮らしやすいか

問9 お住いの地域は暮らしやすいと思いますか。

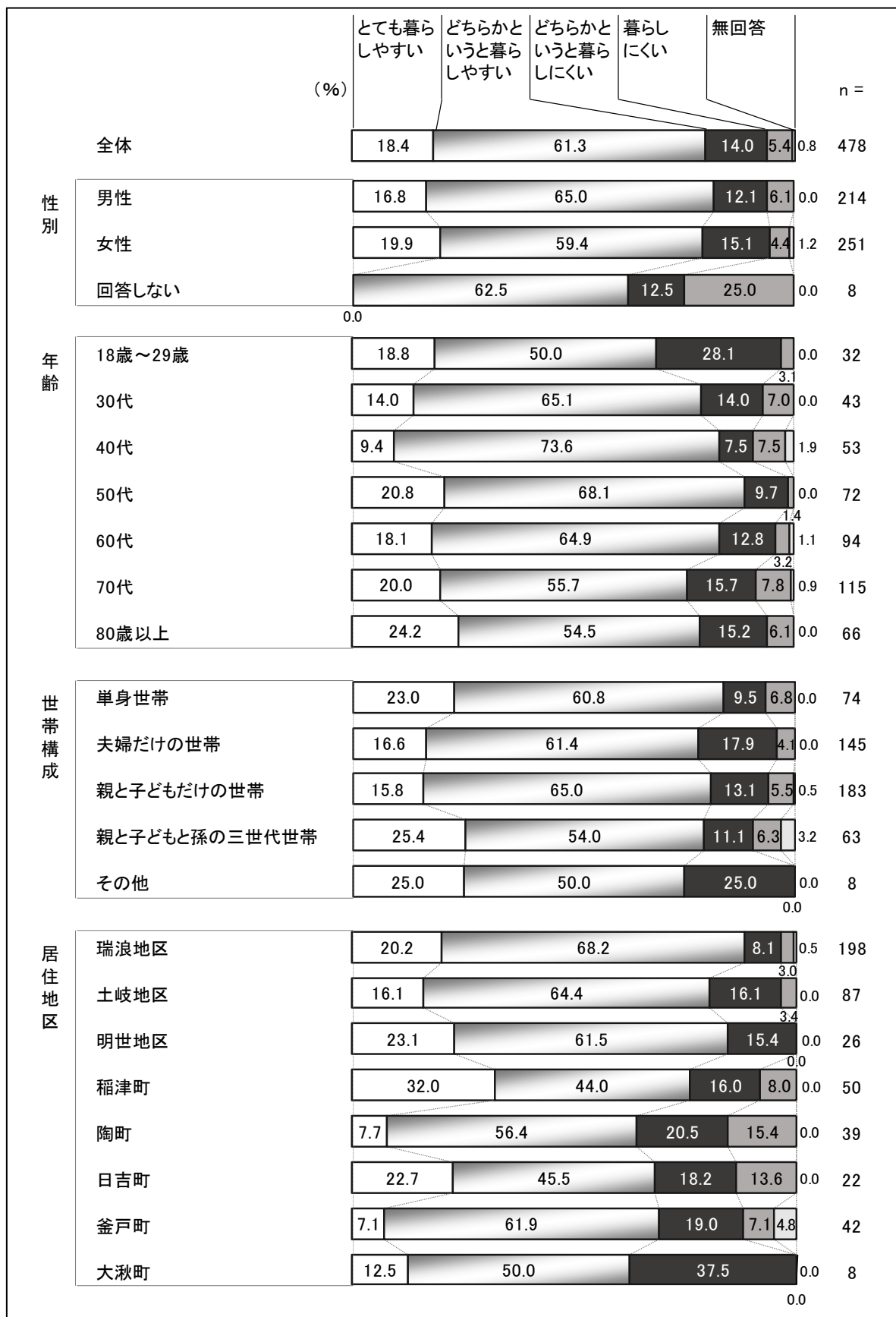


- “暮らしやすい”は約8割を占める。

住んでいる地域は暮らしやすいかどうかたずねたところ、「どちらかという暮らしやすい」(61.3%)が最も高く、これに「とても暮らしやすい」(18.4%)を合わせた“暮らしやすい”は79.7%となっている。一方、“暮らしにくい”（「どちらかという暮らしにくい」(14.0%)と「暮らしにくい」(5.4%)の合計）は19.4%となっている。

属性別にみると、居住地区別では、瑞浪地区で“暮らしやすい”の割合が9割弱と最も高くなっている。一方、日吉町で“暮らしにくい”の割合が3割強と最も高くなっている。

図表 住んでいる地域は暮らしやすいか



(4) 今より暮らしやすくするためにはどうしたらいいか

問9-1 今より暮らしやすくするためには何を重視すれば良いと思いますか。

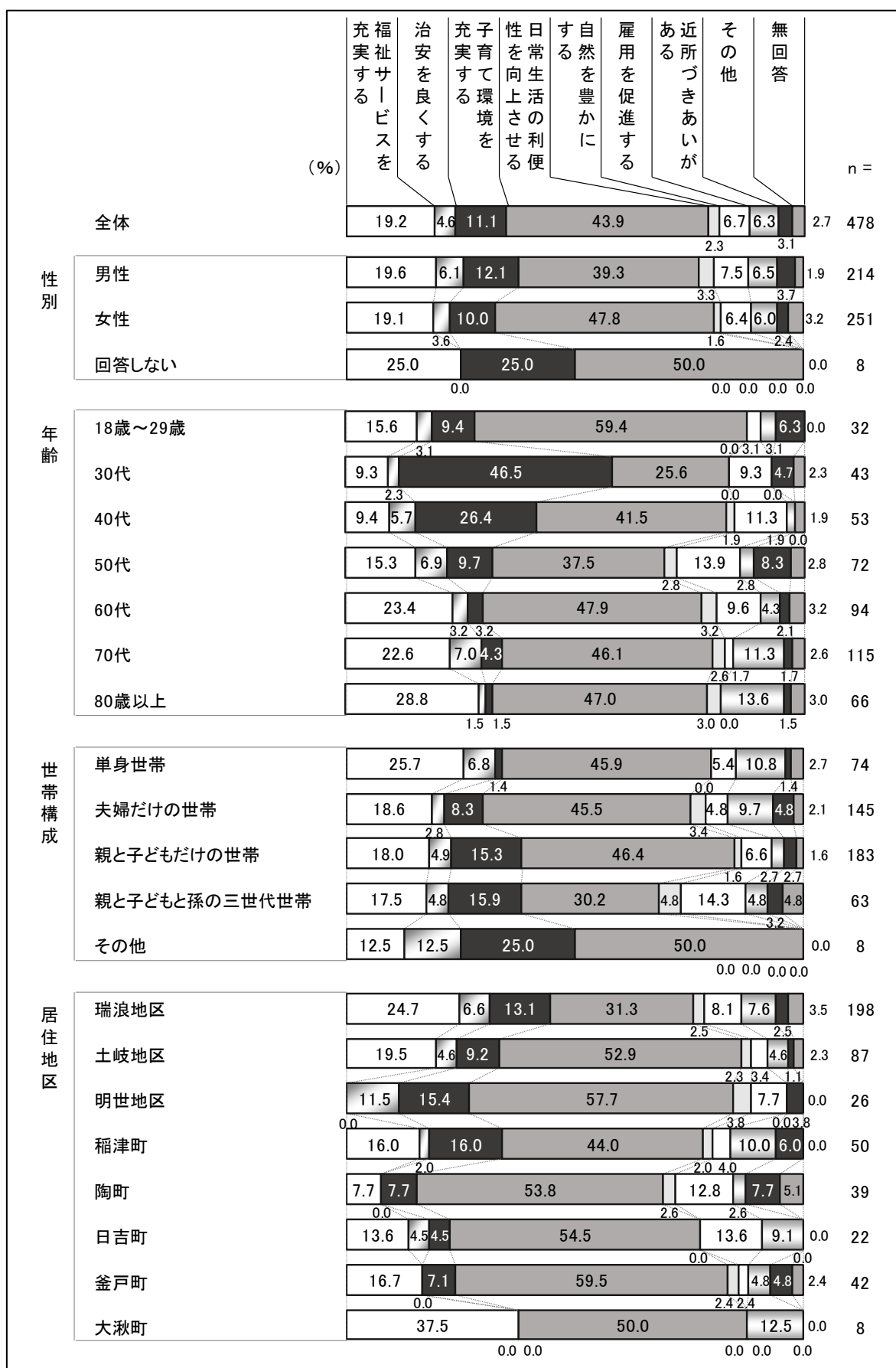


- 「日常生活の利便性を向上させる」が4割強を占める。

今より暮らしやすくするためには何を重視すれば良いかたずねたところ、「日常生活の利便性を向上させる」(43.9%)が最も高く、次いで、「福祉サービスを充実する」(19.2%)、「子育て環境を充実する」(11.1%)となっている。

属性別でみると、ほとんどの層で「日常生活の利便性を向上させる」が最も高くなっているが、年齢別の30代では「子育て環境を充実する」の割合が最も高くなっている。

図表 今より暮らしやすくするためにはどうしたらいいか



(5) 自治会への加入状況

問 10 あなたの世帯は、自治会に加入していますか。



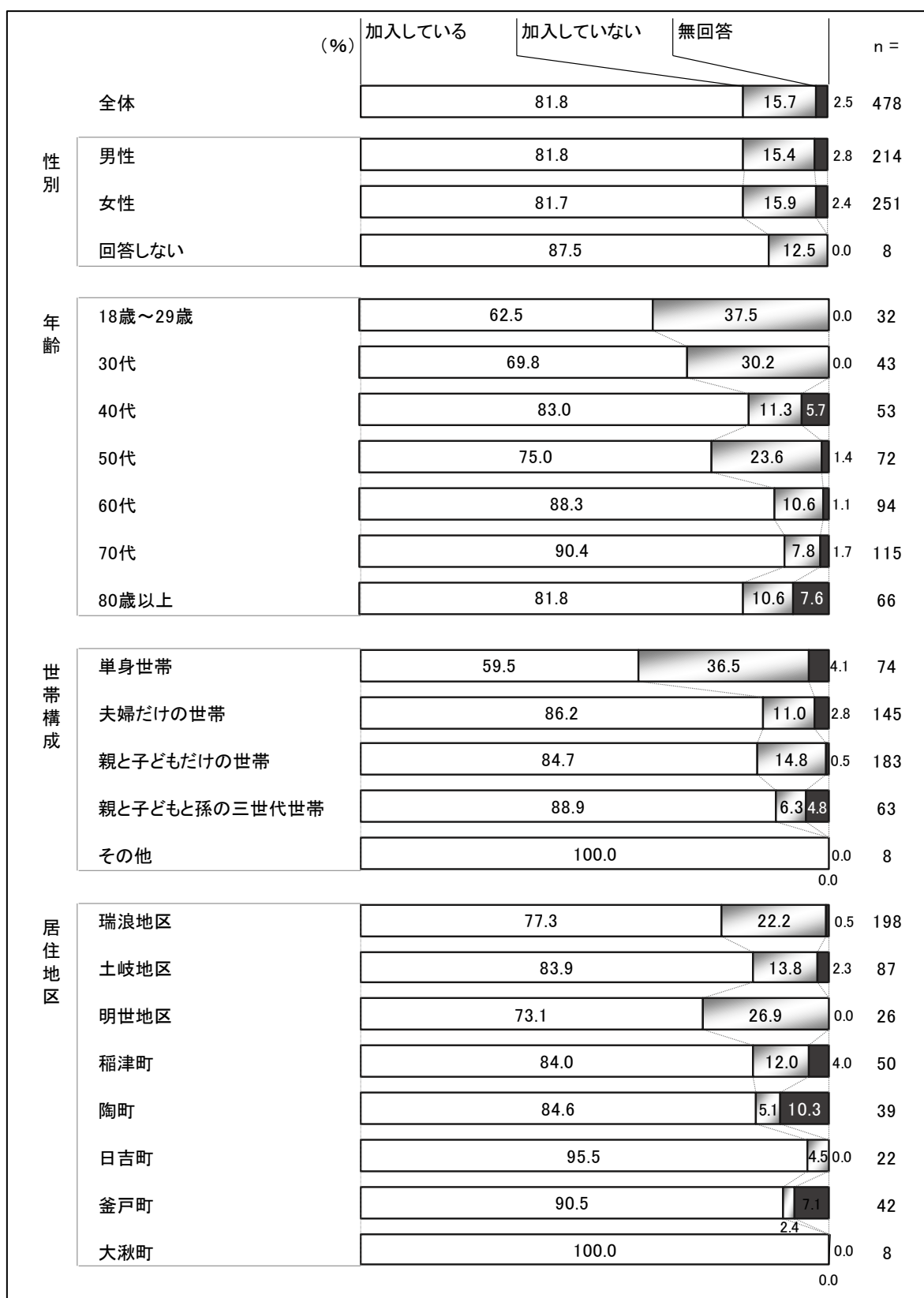
- 「加入している」が8割強を占める。

自治会への加入状況については、「加入している」が81.8%、一方、「加入していない」が15.7%となっている。

属性別でみると、年齢別では、18歳～29歳、30代で「加入している」の割合が他の年代に比べて低く、7割以下になっている。

世帯構成別では、単身世帯が他の世帯に比べて低く、6割程度にとどまる。

図表 自治会への加入状況



(6) 自治会の活動への参加状況

問 10-1 あなたは、自治会の活動にどの程度参加していますか。



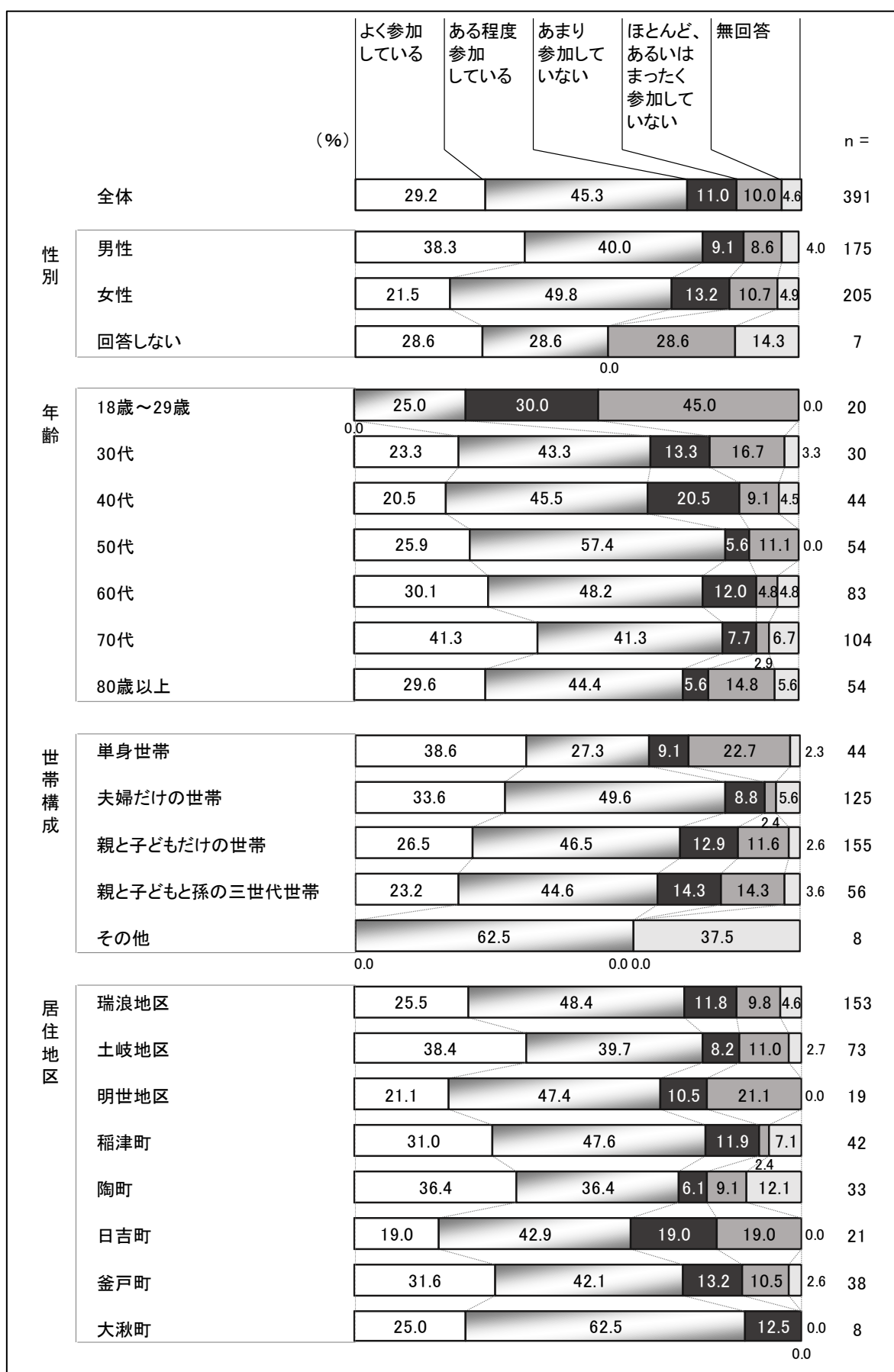
- “参加している” が7割台半ば、“参加していない” が2割強を占める。

問 10 で「加入している」と答えた方（391 名・全体の 81.8%）に、自治会等の活動への参加状況をたずねたところ、「ある程度参加している」（45.3%）が最も高く、これに「よく参加している」（29.2%）を合わせた“参加している”は、74.5%となっている。一方、“参加していない”（「あまり参加していない」（11.0%）と「ほとんど、あるいはまったく参加していない」（10.0%）の合計）は、21.0%となっている。

属性別で“参加している”の割合をみると、性別では、男性が 78.3%、女性が 71.3%と、男性が女性を上回っている。

年齢別では、50 代、70 代で“参加している”の割合が 8 割を超えている。

図表 自治会の活動への参加状況



(7) 自治会の活動に参加している主な理由

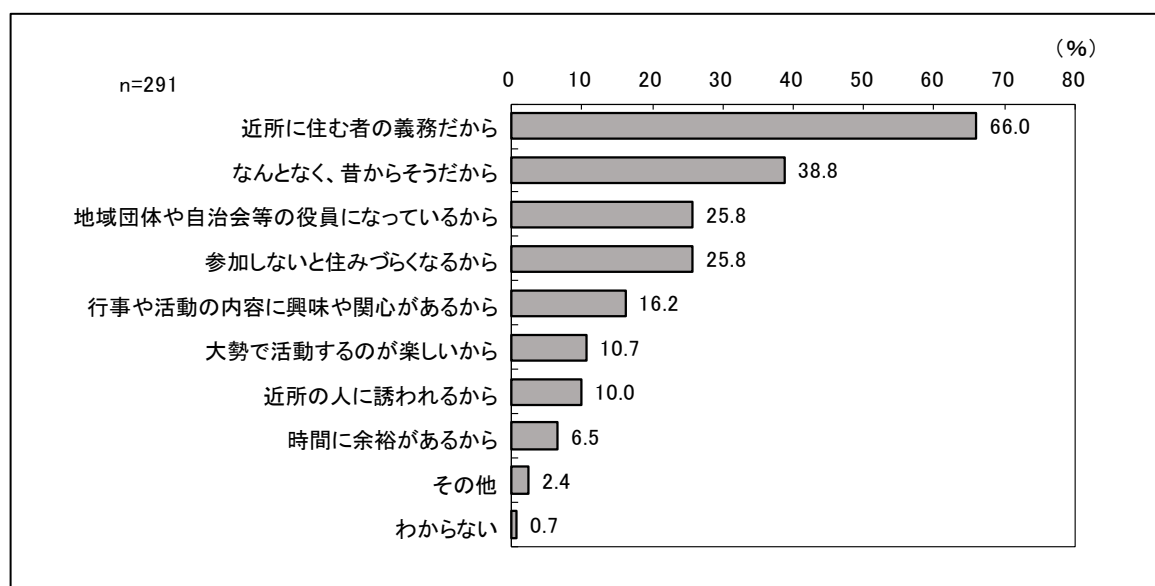
【問 10-1 で「よく参加している」または「ある程度参加している」と回答した方のみ】
問 10-2 あなたが自治会の活動に参加している主な理由は何ですか。【複数回答】

- 「近所に住む者の義務だから」が第1位。

問 10-1 で「よく参加している」または「ある程度参加している」と答えた方(291 名・74.5%)に、自治会等の活動に参加している主な理由をたずねたところ、「近所に住む者の義務だから」(66.0%)が第1位、次いで、「なんとなく、昔からそうだから」(38.8%)、「地域団体や自治会等の役員になっているから」「参加しないと住みづらくなるから」(同率 25.8%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、いずれの年齢も「近所に住む者の義務だから」が第1位となっている。30代では「参加しないと住みづらくなるから」が第2位となっている。

図表 自治会の活動に参加している主な理由（全体／複数回答）



図表 自治会の活動に参加している主な理由（全体、属性別／複数回答）
（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		近所に住む者の義務だから 66.0	なんとなく、昔からそうだから 38.8	地域団体や自治会等の役員になっているから／参加しないと住みづらくなるから 25.8
性別	男性	近所に住む者の義務だから 64.2	なんとなく、昔からそうだから 35.0	地域団体や自治会等の役員になっているから 34.3
	女性	近所に住む者の義務だから 68.5	なんとなく、昔からそうだから 41.8	参加しないと住みづらくなるから 26.7
	回答しない	参加しないと住みづらくなるから 75.0	近所に住む者の義務だから／なんとなく、昔からそうだから 50.0	
年齢	18歳～29歳	行事や活動の内容に興味や関心があるから／近所に住む者の義務だから 40.0	なんとなく、昔からそうだから／参加しないと住みづらくなるから／その他 20.0	
	30代	近所に住む者の義務だから 45.0	参加しないと住みづらくなるから 35.0	地域団体や自治会等の役員になっているから 25.0
	40代	近所に住む者の義務だから 72.4	なんとなく、昔からそうだから 48.3	参加しないと住みづらくなるから 44.8
	50代	近所に住む者の義務だから 77.8	なんとなく、昔からそうだから 40.0	参加しないと住みづらくなるから 33.3
	60代	近所に住む者の義務だから 67.7	なんとなく、昔からそうだから 46.2	地域団体や自治会等の役員になっているから 35.4
	70代	近所に住む者の義務だから 66.3	なんとなく、昔からそうだから 39.5	地域団体や自治会等の役員になっているから 27.9
	80歳以上	近所に住む者の義務だから 57.5	なんとなく、昔からそうだから 35.0	行事や活動の内容に興味や関心があるから／大勢で活動するのが楽しいから 22.5
世帯構成	単身世帯	近所に住む者の義務だから 58.6	行事や活動の内容に興味や関心があるから 27.6	参加しないと住みづらくなるから 20.7
	夫婦だけの世帯	近所に住む者の義務だから 68.3	なんとなく、昔からそうだから 42.3	地域団体や自治会等の役員になっているから／参加しないと住みづらくなるから 24.0
	親と子どもだけの世帯	近所に住む者の義務だから 65.5	なんとなく、昔からそうだから 39.8	参加しないと住みづらくなるから 33.6
	親と子どもと孫の三世帯世帯	近所に住む者の義務だから 65.8	なんとなく、昔からそうだから 44.7	地域団体や自治会等の役員になっているから 23.7
	その他	近所に住む者の義務だから 80.0	なんとなく、昔からそうだから／時間に余裕があるから 40.0	
居住地区	瑞浪地区	近所に住む者の義務だから 69.9	なんとなく、昔からそうだから 31.9	地域団体や自治会等の役員になっているから 24.8
	土岐地区	近所に住む者の義務だから 77.2	なんとなく、昔からそうだから 40.4	地域団体や自治会等の役員になっているから 28.1
	明世地区	近所に住む者の義務だから 53.8	なんとなく、昔からそうだから／参加しないと住みづらくなるから 38.5	
	稲津町	近所に住む者の義務だから 60.6	なんとなく、昔からそうだから 42.4	地域団体や自治会等の役員になっているから 33.3
	陶町	近所に住む者の義務だから 62.5	地域団体や自治会等の役員になっているから 41.7	なんとなく、昔からそうだから／参加しないと住みづらくなるから 29.2
	日吉町	なんとなく、昔からそうだから 76.9	近所に住む者の義務だから 69.2	参加しないと住みづらくなるから 30.8
	釜戸町	近所に住む者の義務だから 50.0	なんとなく、昔からそうだから 46.4	参加しないと住みづらくなるから 28.6
	大湫町	行事や活動の内容に興味や関心があるから／近所に住む者の義務だから／なんとなく、昔からそうだから 42.9		

(8) 自治会に加入、参加するために必要な条件や環境

【問 10 で「加入していない」、問 10-1 で「あまり参加していない」または「ほとんど、あるいはまったく参加していない」と回答した方のみ】

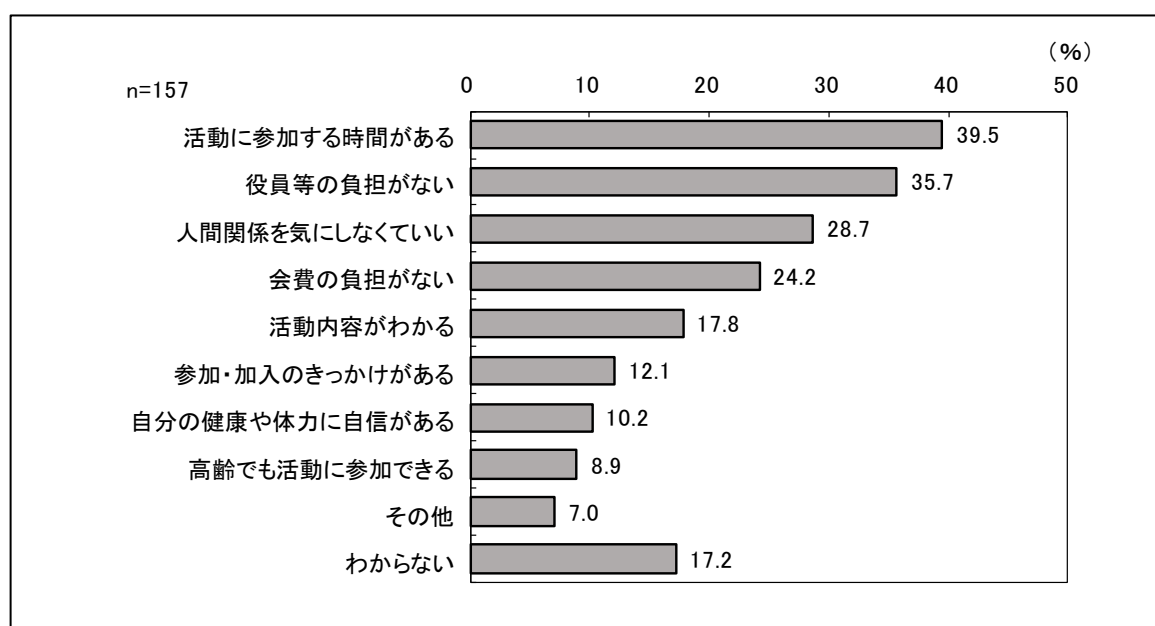
問 10-3 あなたの世帯が自治会に加入、もしくはあなた自身が参加するために必要な条件や環境などはどれですか。【複数回答】

- 「活動に参加する時間がある」及び「役員等の負担がない」が2大要件。

問 10 で「加入していない」、問 10-1 で「あまり参加していない」または「ほとんど、あるいはまったく参加していない」と答えた方（157 名・全体の 32.8%）に、自治会に加入、参加するために必要な条件や環境についてたずねたところ、「活動に参加する時間がある」（39.5%）が第1位、次いで、「役員等の負担がない」（35.7%）、「人間関係を気にしなくていい」（28.7%）、「会費の負担がない」（24.2%）となっている。

属性別でみると、年齢別では、60 代以下で「活動に参加する時間がある」が第1位となっている（30 代では「人間関係を気にしなくていい」、40 代では「役員等の負担がない」も同率1位）。

図表 自治会に加入、参加するために必要な条件や環境（全体／複数回答）



図表 自治会に加入、参加するために必要な条件や環境（全体、属性別／複数回答）
（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		活動に参加する時間がある 39.5	役員等の負担がない 35.7	人間関係を気にしなくていい 28.7
性別	男性	活動に参加する時間がある 42.2	役員等の負担がない 34.4	人間関係を気にしなくていい 29.7
	女性	活動に参加する時間がある 38.2	役員等の負担がない 37.1	人間関係を気にしなくていい 25.8
	回答しない	人間関係を気にしなくていい／会費の負担がない 66.7		活動に参加する時間がある／役員等の負担がない／高齢でも活動に参加できる 33.3
年齢	18歳～29歳	活動に参加する時間がある 55.6	役員等の負担がない 40.7	人間関係を気にしなくていい 37.0
	30代	活動に参加する時間がある／人間関係を気にしなくていい 45.5		活動内容がわかる／役員等の負担がない 40.9
	40代	活動に参加する時間がある／役員等の負担がない 42.1		活動内容がわかる／人間関係を気にしなくていい／会費の負担がない 26.3
	50代	活動に参加する時間がある 57.7	役員等の負担がない 50.0	人間関係を気にしなくていい／会費の負担がない 23.1
	60代	活動に参加する時間がある 41.7	役員等の負担がない 33.3	自分の健康や体力に自信がある 25.0
	70代	人間関係を気にしなくていい 30.0	会費の負担がない 25.0	活動に参加する時間がある／役員等の負担がない／高齢でも活動に参加できる 20.0
	80歳以上	役員等の負担がない／人間関係を気にしなくていい／高齢でも活動に参加できる 16.7		
世帯構成	単身世帯	活動に参加する時間がある／会費の負担がない 29.3		役員等の負担がない／人間関係を気にしなくていい 26.8
	夫婦だけの世帯	活動に参加する時間がある／役員等の負担がない 36.7		人間関係を気にしなくていい 26.7
	親と子どもだけの世帯	活動に参加する時間がある 49.2	役員等の負担がない 40.0	人間関係を気にしなくていい 30.8
	親と子どもと孫の三世帯世帯	役員等の負担がない 40.0	活動に参加する時間がある 35.0	人間関係を気にしなくていい 25.0
	その他			
居住地区	瑞浪地区	活動に参加する時間がある 41.6	役員等の負担がない 39.0	人間関係を気にしなくていい 32.5
	土岐地区	役員等の負担がない 42.3	人間関係を気にしなくていい 34.6	活動に参加する時間がある／会費の負担がない 30.8
	明世地区	活動に参加する時間がある 61.5	役員等の負担がない 53.8	人間関係を気にしなくていい 38.5
	稲津町	参加・加入のきっかけがある 41.7	活動に参加する時間がある 33.3	高齢でも活動に参加できる 25.0
	陶町	活動に参加する時間がある／役員等の負担がない／高齢でも活動に参加できる 28.6		
	日吉町	活動に参加する時間がある／人間関係を気にしなくていい／会費の負担がない 44.4		
	釜戸町	活動に参加する時間がある 40.0	役員等の負担がない 20.0	参加・加入のきっかけがある／自分の健康や体力に自信がある 10.0
	大湫町	会費の負担がない 100.0		

(9) コロナ感染拡大前より大切に思うこと

問 11 あなたがコロナの感染拡大前より大切に思うようになったことはありますか。【複数回答】

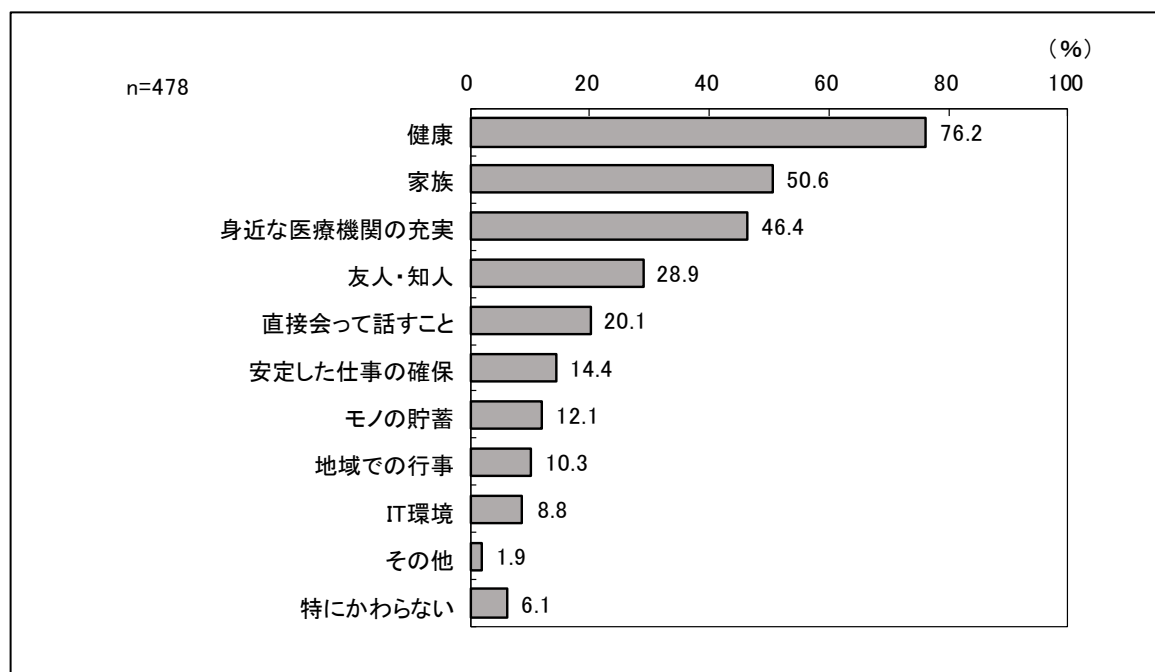


- 「健康」が第1位。

コロナの感染拡大前より大切に思うようになったことをたずねたところ、「健康」(76.2%)が第1位、次いで、「家族」(50.6%)、「身近な医療機関の充実」(46.4%)、「友人・知人」(28.9%)、「直接会って話すこと」(20.1%)となっている。

属性別でみると、いずれの層においても「健康」が第1位となっている。

図表 コロナ感染拡大前より大切に思うこと（全体／複数回答）



図表 コロナ感染拡大前より大切に思うこと（全体、属性別／複数回答）

（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		健康 76.2	家族 50.6	身近な医療機関の充実 46.4
性別	男性	健康 71.0	家族 49.1	身近な医療機関の充実 39.3
	女性	健康 80.9	身近な医療機関の充実 53.0	家族 51.4
	回答しない	健康 62.5	家族 50.0	友人・知人／身近な医療機関の充実 25.0
年齢	18歳～29歳	健康 81.3	家族／身近な医療機関の充実 37.5	
	30代	健康 74.4	家族 51.2	身近な医療機関の充実 46.5
	40代	健康 69.8	身近な医療機関の充実 49.1	家族 47.2
	50代	健康 69.4	身近な医療機関の充実 48.6	家族 45.8
	60代	健康 77.7	家族 54.3	身近な医療機関の充実 50.0
	70代	健康 82.6	家族 53.0	身近な医療機関の充実 41.7
	80歳以上	健康 74.2	家族 54.5	身近な医療機関の充実 48.5
世帯構成	単身世帯	健康 73.0	身近な医療機関の充実 39.2	友人・知人 25.7
	夫婦だけの世帯	健康 77.2	家族 53.8	身近な医療機関の充実 48.3
	親と子どもだけの世帯	健康 79.2	家族 57.9	身近な医療機関の充実 52.5
	親と子どもと孫の三世帯世帯	健康 66.7	家族 52.4	友人・知人／身近な医療機関の充実 33.3
	その他	健康 100.0	家族 62.5	友人・知人／身近な医療機関の充実 50.0
居住地区	瑞浪地区	健康 77.8	家族 48.5	身近な医療機関の充実 47.0
	土岐地区	健康 83.9	家族 60.9	身近な医療機関の充実 48.3
	明世地区	健康 73.1	家族／身近な医療機関の充実 42.3	
	稲津町	健康 72.0	家族 54.0	身近な医療機関の充実 48.0
	陶町	健康 56.4	家族／身近な医療機関の充実 41.0	
	日吉町	健康 81.8	家族 50.0	身近な医療機関の充実 36.4
	釜戸町	健康 73.8	身近な医療機関の充実 54.8	家族 45.2
	大湫町	健康／家族 75.0	友人・知人／身近な医療機関の充実 37.5	

3 地域福祉について

(1) 高齢者が暮らしやすいまちか

問 12 あなたは、現在お住いの地域が高齢者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。



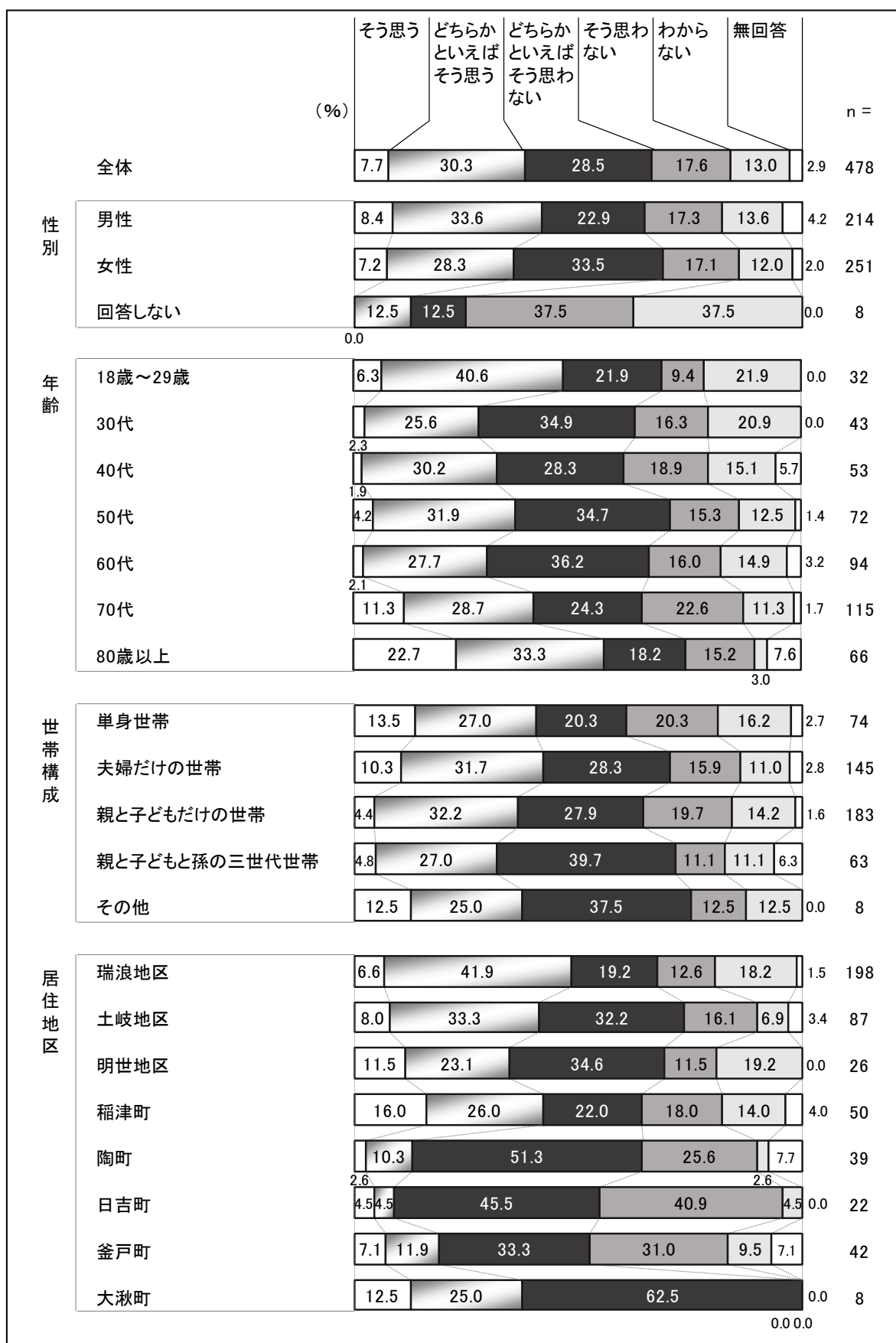
- “そう思う”は4割弱を占める。

高齢者にとって暮らしやすいまちかたずねたところ、「どちらかといえばそう思う」(30.3%)が最も高く、これに「そう思う」(7.7%)を合わせた“そう思う”は、38.0%となっている。一方、“そう思わない”(「どちらかといえばそう思わない」(28.5%)と「そう思わない」(17.6%)の合計)は、46.1%となっている。

属性別で“そう思う”の割合をみると、年齢別では、80歳以上で5割台半ばと、他の年齢に比べて高くなっている。

居住地区別では、瑞浪地区、稲津町で“そう思う”が“そう思わない”を上回っている。一方、陶町、日吉町で“そう思う”が1割前後と、他の地区に比べて低くなっている。

図表 高齢者にとって暮らしやすいまちか



(2) 障がい児・者が暮らしやすいまちか

問 13 あなたは、現在お住いの地域が障がい児・者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。



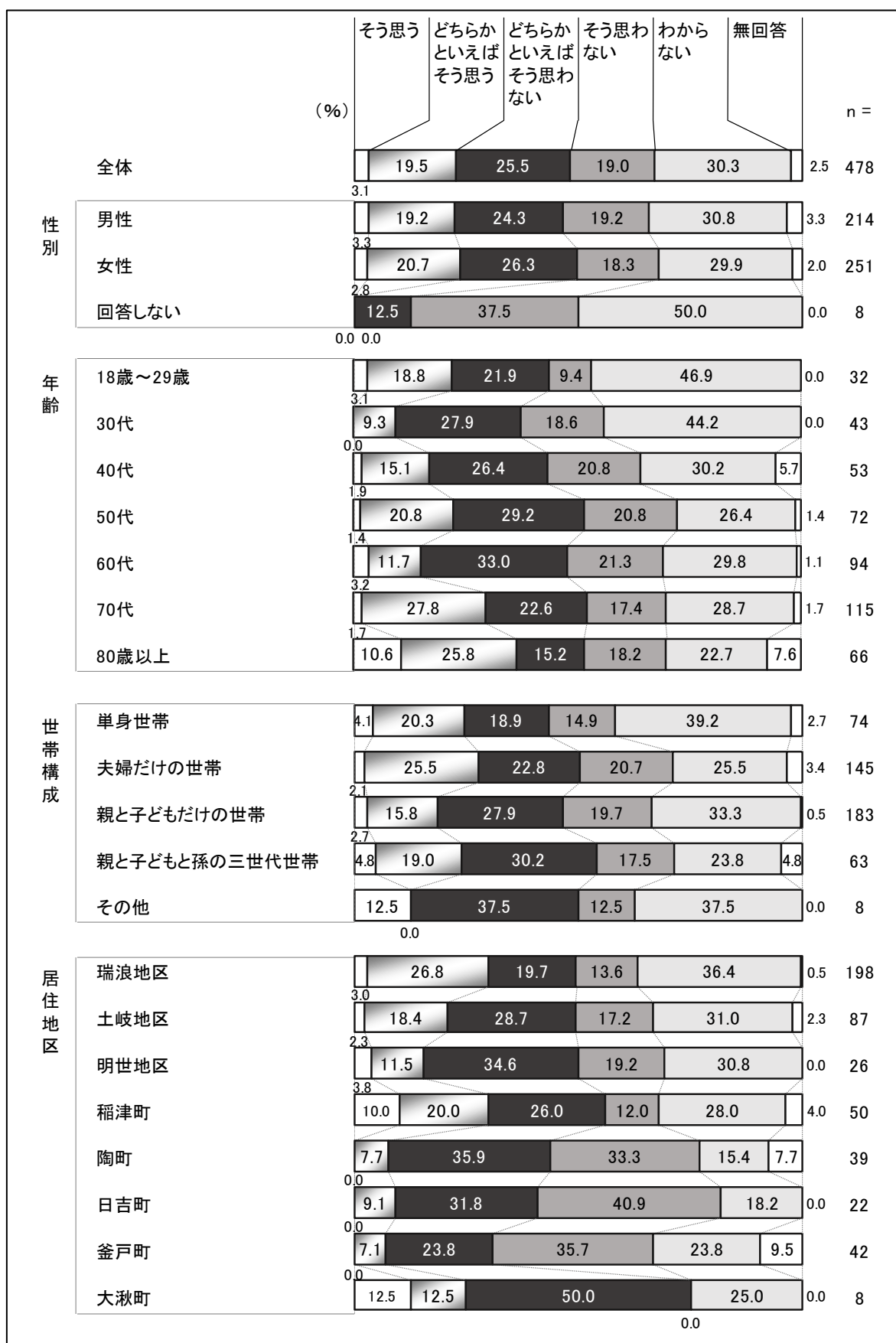
- “そう思う”は2割強を占める。

障がい児・者にとって暮らしやすいまちかたずねたところ、「そう思う」(3.1%)と「どちらかといえばそう思う」(19.5%)を合わせた“そう思う”が22.6%、一方、“そう思わない”（「どちらかといえばそう思わない」(25.5%)と「そう思わない」(19.0%)の合計）は、44.5%となっている。

属性別“そう思う”の割合をみると、年齢別では、80歳以上で3割台半ばと、他の年齢に比べて高くなっている。

居住地区別では、陶町、日吉町、釜戸町で“そう思う”が1割以下と、他の地区に比べて低くなっている。

図表 障がい者が暮らしやすいまちか



(3) 子育てしやすいまちか

問 14 あなたは、現在お住いの地域が子育てしやすいまちだと思いますか。

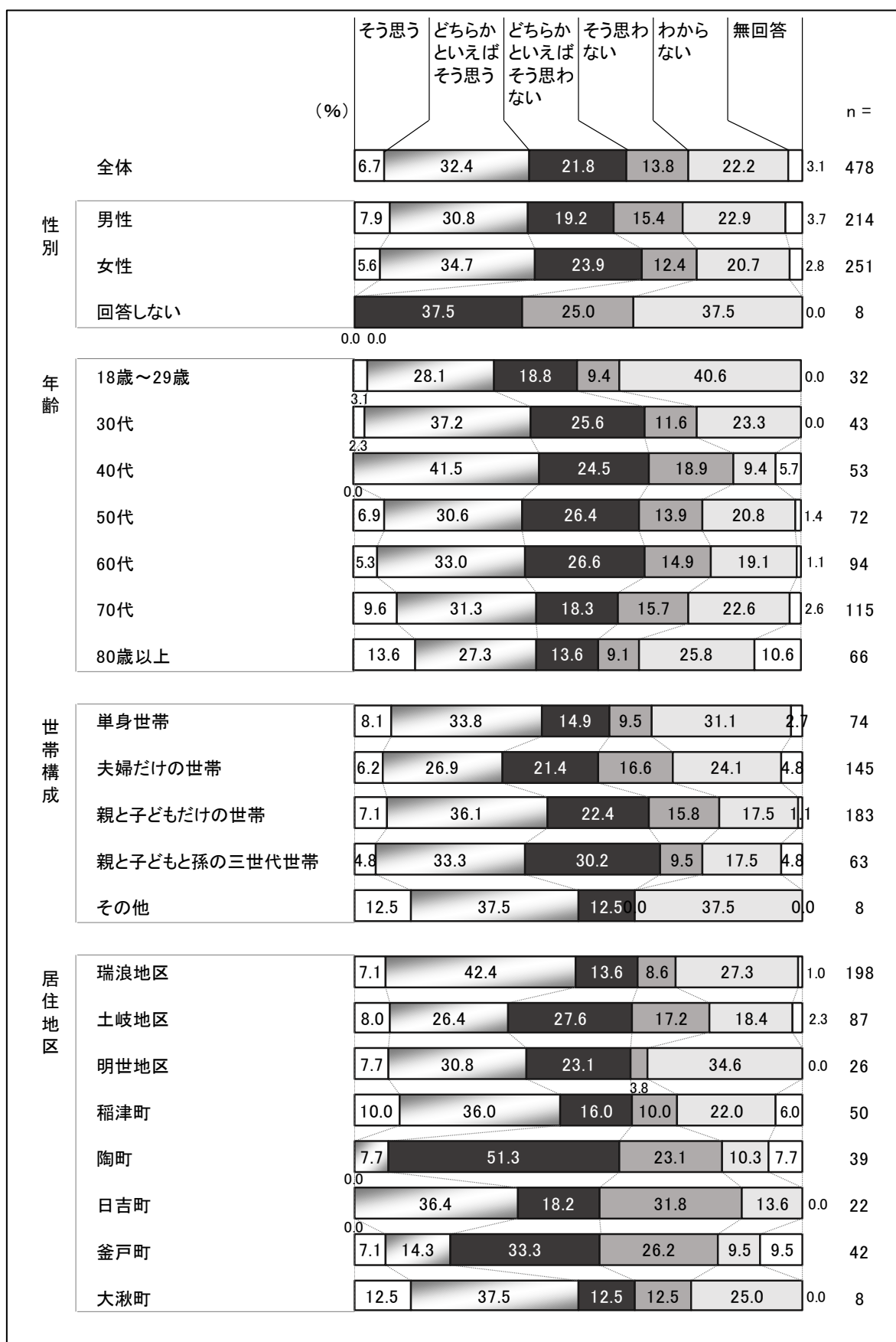


- “そう思う”は約4割を占める。

子育てしやすいまちかたずねたところ、「どちらかといえばそう思う」(32.4%)が最も高く、これに「そう思う」(6.7%)を合わせた“そう思う”は、39.1%となっている。一方、“そう思わない”（「どちらかといえばそう思わない」(21.8%)と「そう思わない」(13.8%)の合計）は、35.6%となっている。

属性別“そう思う”の割合をみると、居住地区別では、瑞浪地区、明世地区、稲津町、大湫町で“そう思う”が“そう思わない”を上回っている。一方、土岐地区、陶町、日吉町、釜戸町で“そう思わない”が“そう思う”を上回っている。

図表 子育てしやすいまちか



(4) 地域住民がお互いに支え助け合う関係が必要か

問 15 あなたは、地域で生じている様々な福祉分野の生活課題（高齢者、障がい児・者、生活困窮者、子育て、健康に関する問題など）に対し、地域住民がお互いに支え合い、助け合う関係が必要だと思いますか。

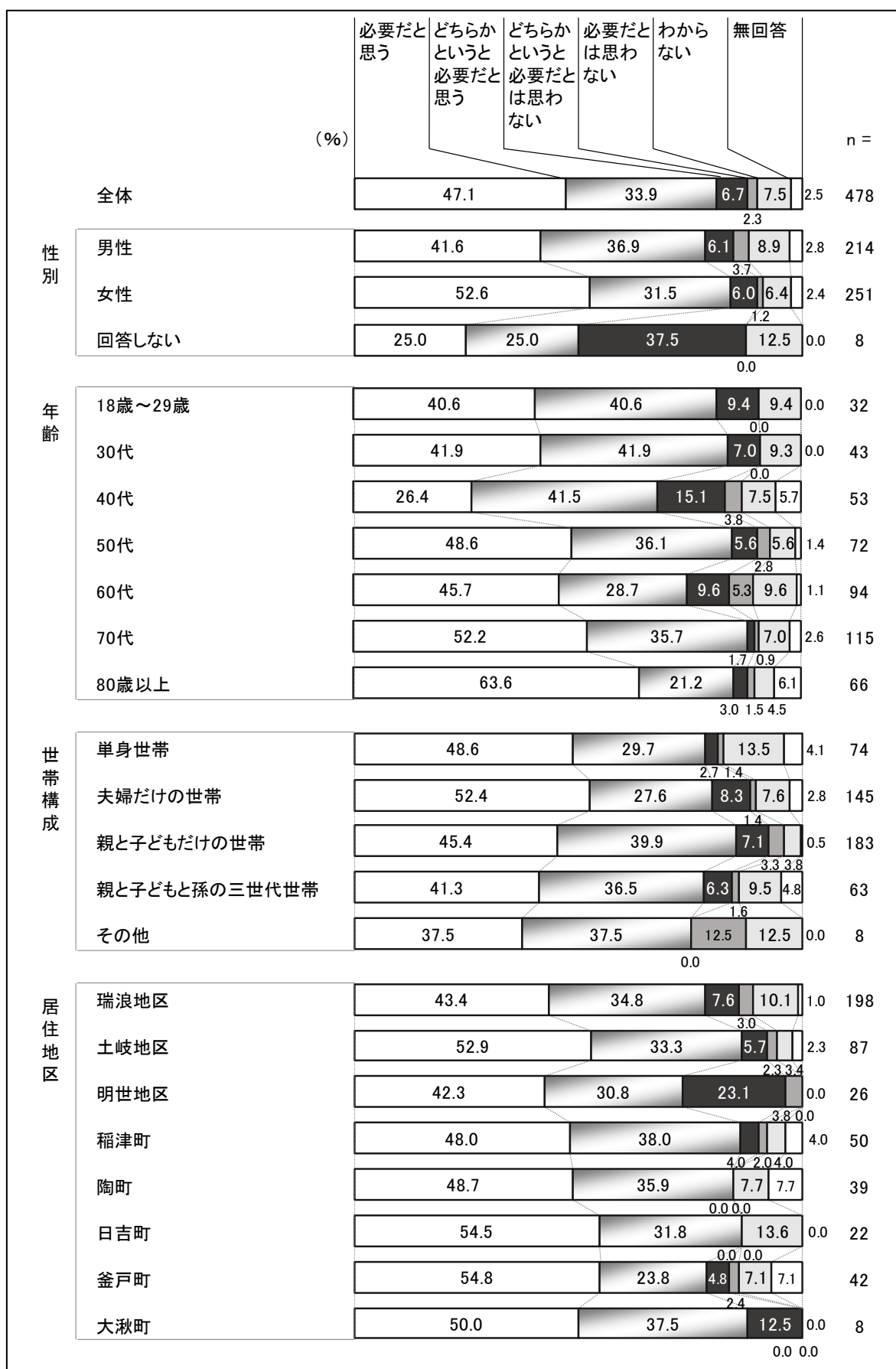


- “必要だと思う” は約8割を占める。

地域住民がお互いに支え助け合う関係が必要かどうかたずねたところ、「必要だと思う」（47.1%）が最も高く、これに「どちらかという必要だと思う」（33.9%）を合わせた“必要だと思う”が81.0%となっている。一方、“必要だとは思わない”（「どちらかという必要だとは思わない」（6.7%）と「必要だとは思わない」（2.3%）の合計）は9.0%となっている。

属性別で「必要だと思う」の割合をみると、年齢別では、70代、80歳以上で5割を超えている。

図表 地域住民がお互いに支え助け合う関係が必要か



(5-1) 高齢者に対して支援や協力ができること

問 16 あなたが、近所に住む「高齢者」に対して、支援や協力ができることは何ですか。
【複数回答】

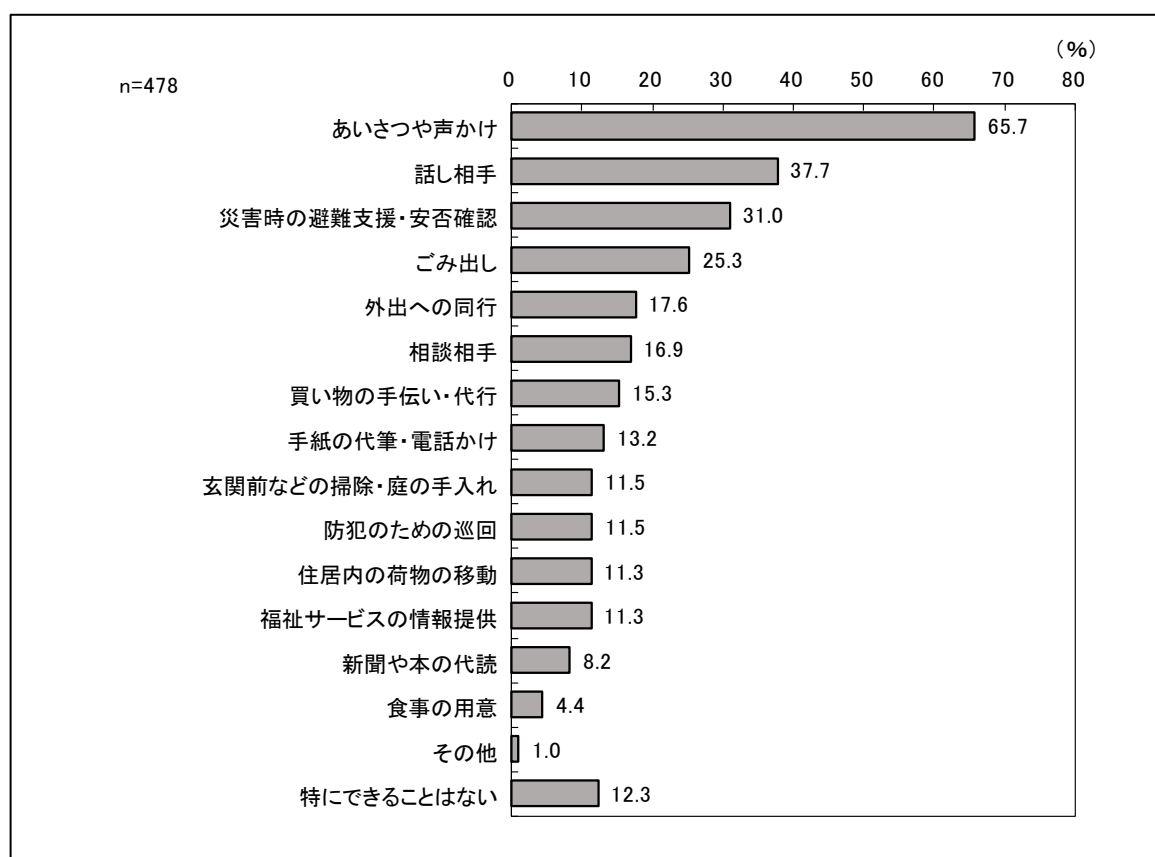


- 「あいさつや声かけ」が他を引き離して第1位。

近所に住む高齢者に対して支援や協力ができることをたずねたところ、「あいさつや声かけ」(65.7%)が第1位、次いで、「話し相手」(37.7%)、「災害時の避難支援・安否確認」(31.0%)となっている。

属性別でみると、いずれの層においても「あいさつや声かけ」が第1位となっている。

図表 高齢者に対して支援や協力ができること（全体／複数回答）



図表 高齢者に対して支援や協力ができること（全体、属性別／複数回答）

（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		あいさつや声かけ 65.7	話し相手 37.7	災害時の避難支援・安否確認 31.0
性別	男性	あいさつや声かけ 61.7	災害時の避難支援・安否確認 36.0	話し相手 31.8
	女性	あいさつや声かけ 69.7	話し相手 41.4	災害時の避難支援・安否確認 26.7
	回答しない	話し相手／あいさつや声かけ 62.5		買い物の手伝い・代行／防犯のための巡回 50.0
年齢	18歳～29歳	あいさつや声かけ 65.6	災害時の避難支援・安否確認 46.9	話し相手 37.5
	30代	あいさつや声かけ 74.4	話し相手 25.6	災害時の避難支援・安否確認 23.3
	40代	あいさつや声かけ 62.3	話し相手／災害時の避難支援・安否確認 34.0	
	50代	あいさつや声かけ 68.1	話し相手 37.5	災害時の避難支援・安否確認 33.3
	60代	あいさつや声かけ 74.5	災害時の避難支援・安否確認 39.4	話し相手 38.3
	70代	あいさつや声かけ 67.8	話し相手 47.0	ごみ出し 35.7
	80歳以上	あいさつや声かけ 45.5	話し相手 31.8	ごみ出し 21.2
世帯構成	単身世帯	あいさつや声かけ 45.9	話し相手 32.4	災害時の避難支援・安否確認／ 特にできることはない 18.9
	夫婦だけの世帯	あいさつや声かけ 70.3	話し相手 44.1	災害時の避難支援・安否確認 34.5
	親と子どもだけの世帯	あいさつや声かけ 68.3	話し相手 34.4	災害時の避難支援・安否確認 29.0
	親と子どもと孫の三世帯世帯	あいさつや声かけ 73.0	災害時の避難支援・安否確認 42.9	話し相手 34.9
	その他	あいさつや声かけ 75.0	相談相手／話し相手 50.0	災害時の避難支援・安否確認 37.5
居住地区	瑞浪地区	あいさつや声かけ 67.7	話し相手 37.4	災害時の避難支援・安否確認 31.3
	土岐地区	あいさつや声かけ 74.7	話し相手 35.6	災害時の避難支援・安否確認 32.2
	明世地区	あいさつや声かけ 73.1	話し相手 46.2	災害時の避難支援・安否確認 34.6
	稲津町	あいさつや声かけ 66.0	話し相手 52.0	ごみ出し／災害時の避難支援・ 安否確認 30.0
	陶町	あいさつや声かけ 48.7	話し相手 35.9	災害時の避難支援・安否確認 28.2
	日吉町	あいさつや声かけ 54.5	災害時の避難支援・安否確認 27.3	特にできることはない 22.7
	釜戸町	あいさつや声かけ 59.5	話し相手 35.7	災害時の避難支援・安否確認 33.3
	大湫町	あいさつや声かけ 62.5	話し相手 50.0	ごみ出し 37.5

(5-2) 障がい児・者に対して支援や協力ができること

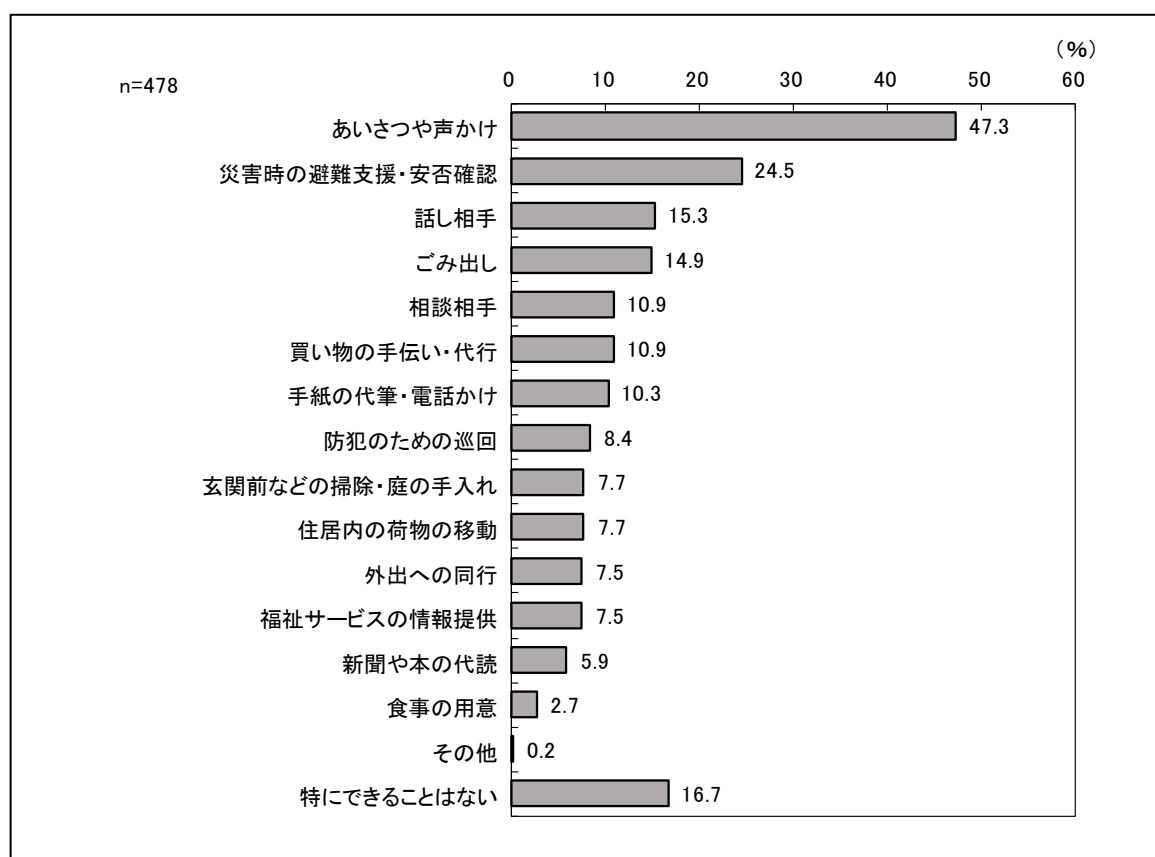
問 16 あなたが、近所に住む「障がい児・者」に対して、支援や協力ができることは何ですか。【複数回答】

- 「あいさつや声かけ」が他を引き離して第1位。

近所に住む障がい児・者に対して支援や協力ができることをたずねたところ、「あいさつや声かけ」(47.3%)が第1位、次いで、「災害時の避難支援・安否確認」(24.5%)、「話し相手」(15.3%)となっている。なお、「特にできることはない」は16.7%となっている。

属性別でみると、いずれの層においても「あいさつや声かけ」が第1位となっている。

図表 障がい児・者に対して支援や協力ができること（全体／複数回答）



図表 障がい児・者に対して支援や協力ができること（全体、属性別／複数回答）
（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		あいさつや声かけ 47.3	災害時の避難支援・安否確認 24.5	話し相手 15.3
性別	男性	あいさつや声かけ 42.1	災害時の避難支援・安否確認 27.6	ごみ出し 13.6
	女性	あいさつや声かけ 52.2	災害時の避難支援・安否確認 21.5	話し相手 17.5
	回答しない	あいさつや声かけ／災害時の避難支援・安否確認 37.5		手紙の代筆・電話かけ／ごみ出し／買い物の手伝い・代行／防犯のための巡回／福祉サービスの情報提供 25.0
年齢	18歳～29歳	あいさつや声かけ 59.4	災害時の避難支援・安否確認 37.5	手紙の代筆・電話かけ／話し相手 25.0
	30代	あいさつや声かけ 67.4	災害時の避難支援・安否確認 23.3	手紙の代筆・電話かけ／話し相手 14.0
	40代	あいさつや声かけ 56.6	災害時の避難支援・安否確認 34.0	話し相手 32.1
	50代	あいさつや声かけ 56.9	災害時の避難支援・安否確認 30.6	ごみ出し 20.8
	60代	あいさつや声かけ 58.5	災害時の避難支援・安否確認 27.7	ごみ出し 16.0
	70代	あいさつや声かけ 35.7	災害時の避難支援・安否確認 20.0	ごみ出し 18.3
	80歳以上	あいさつや声かけ 15.2	話し相手 9.1	手紙の代筆・電話かけ／相談相手／災害時の避難支援・安否確認 7.6
世帯構成	単身世帯	あいさつや声かけ 31.1	災害時の避難支援・安否確認 14.9	話し相手 12.2
	夫婦だけの世帯	あいさつや声かけ 47.6	災害時の避難支援・安否確認 25.5	ごみ出し 15.9
	親と子どもだけの世帯	あいさつや声かけ 51.4	災害時の避難支援・安否確認 25.1	話し相手 20.2
	親と子どもと孫の三世帯世帯	あいさつや声かけ 55.6	災害時の避難支援・安否確認 31.7	ごみ出し 22.2
	その他	あいさつや声かけ 50.0	相談相手／災害時の避難支援・安否確認 25.0	
居住地区	瑞浪地区	あいさつや声かけ 49.5	災害時の避難支援・安否確認 24.7	話し相手／ごみ出し 16.2
	土岐地区	あいさつや声かけ 51.7	災害時の避難支援・安否確認 28.7	話し相手 14.9
	明世地区	あいさつや声かけ 65.4	災害時の避難支援・安否確認 30.8	話し相手／買い物の手伝い・代行 26.9
	稲津町	あいさつや声かけ 52.0	災害時の避難支援・安否確認 28.0	ごみ出し 22.0
	陶町	あいさつや声かけ 30.8	話し相手／災害時の避難支援・安否確認 12.8	
	日吉町	あいさつや声かけ 36.4	災害時の避難支援・安否確認 27.3	話し相手／ごみ出し／防犯のための巡回 9.1
	釜戸町	あいさつや声かけ 35.7	災害時の避難支援・安否確認 16.7	話し相手 11.9
	大湫町	あいさつや声かけ 50.0	ごみ出し／災害時の避難支援・安否確認 25.0	

(5-3) 子育て世帯に対して支援や協力ができること

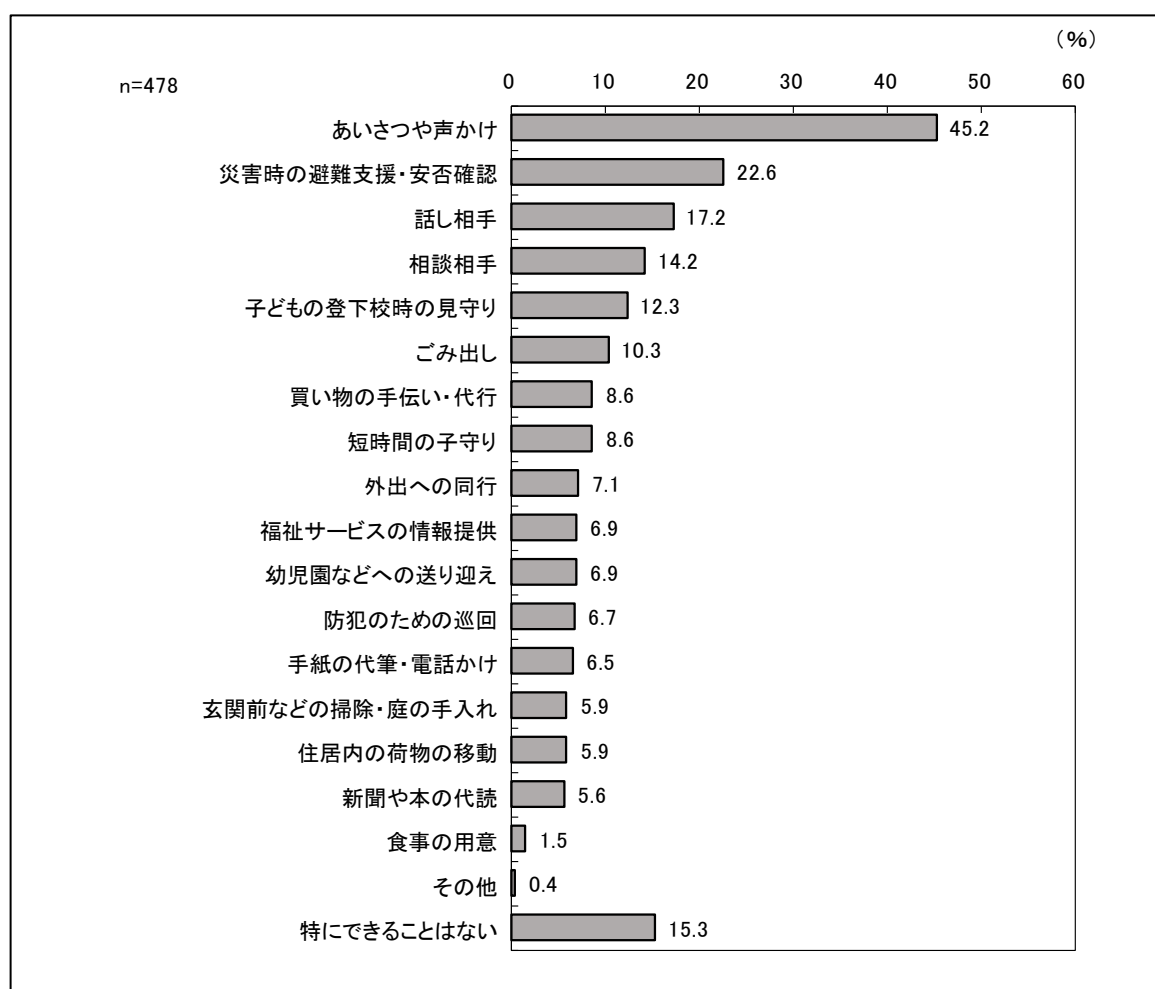
問 16 あなたが、近所に住む「子育て世帯」に対して、支援や協力ができることは何ですか。【複数回答】

- 「あいさつや声かけ」が他を引き離して第1位。

近所に住む子育て世帯に対して支援や協力ができることをたずねたところ、「あいさつや声かけ」(45.2%)が第1位、次いで、「災害時の避難支援・安否確認」(22.6%)、「話し相手」(17.2%)となっている。なお、「特にできることはない」は15.3%となっている。

属性別でみると、ほとんどの層において「あいさつや声かけ」が第1位となっている。

図表 子育て世帯に対して支援や協力ができること（全体／複数回答）



図表 子育て世帯に対して支援や協力ができること（全体、属性別／複数回答）
（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		あいさつや声かけ 45.2	災害時の避難支援・安否確認 22.6	話し相手 17.2
性別	男性	あいさつや声かけ 38.8	災害時の避難支援・安否確認 24.3	話し相手 12.1
	女性	あいさつや声かけ 50.2	話し相手／災害時の避難支援・安否確認	20.7
	回答しない	あいさつや声かけ 62.5	話し相手／相談相手／災害時の避難支援・安否確認	37.5
年齢	18歳～29歳	あいさつや声かけ 53.1	災害時の避難支援・安否確認 34.4	話し相手 25.0
	30代	あいさつや声かけ 62.8	話し相手 32.6	災害時の避難支援・安否確認 23.3
	40代	あいさつや声かけ 52.8	話し相手／災害時の避難支援・安否確認	30.2
	50代	あいさつや声かけ 56.9	災害時の避難支援・安否確認 25.0	話し相手 19.4
	60代	あいさつや声かけ 55.3	災害時の避難支援・安否確認 27.7	相談相手／子どもの登下校時の見守り 17.0
	70代	あいさつや声かけ 34.8	災害時の避難支援・安否確認 19.1	ごみ出し 15.7
	80歳以上	あいさつや声かけ 15.2	話し相手／相談相手	7.6
世帯構成	単身世帯	あいさつや声かけ 27.0	災害時の避難支援・安否確認 10.8	話し相手 9.5
	夫婦だけの世帯	あいさつや声かけ 46.2	災害時の避難支援・安否確認 24.1	話し相手 15.9
	親と子どもだけの世帯	あいさつや声かけ 50.8	災害時の避難支援・安否確認 23.5	話し相手 20.2
	親と子どもと孫の三世帯世帯	あいさつや声かけ 52.4	災害時の避難支援・安否確認 31.7	話し相手／子どもの登下校時の見守り 20.6
	その他	幼稚園などへの送り迎え 50.0	相談相手／子どもの登下校時の見守り／短時間の子守り	37.5
居住地区	瑞浪地区	あいさつや声かけ 48.5	災害時の避難支援・安否確認 22.7	話し相手 19.7
	土岐地区	あいさつや声かけ 47.1	災害時の避難支援・安否確認 26.4	話し相手 14.9
	明世地区	あいさつや声かけ 65.4	災害時の避難支援・安否確認 26.9	話し相手 23.1
	稲津町	あいさつや声かけ 48.0	子どもの登下校時の見守り 26.0	話し相手／災害時の避難支援・安否確認 22.0
	陶町	あいさつや声かけ 33.3	話し相手 15.4	相談相手／災害時の避難支援・安否確認／幼稚園などへの送り迎え 12.8
	日吉町	あいさつや声かけ 31.8	災害時の避難支援・安否確認 27.3	ごみ出し／幼稚園などへの送り迎え 9.1
	釜戸町	あいさつや声かけ 31.0	災害時の避難支援・安否確認 19.0	子どもの登下校時の見守り 14.3
	大湫町	あいさつや声かけ 50.0	話し相手／ごみ出し／災害時の避難支援・安否確認	25.0

(6) ボランティアや近隣住民に手助けしてほしいこと

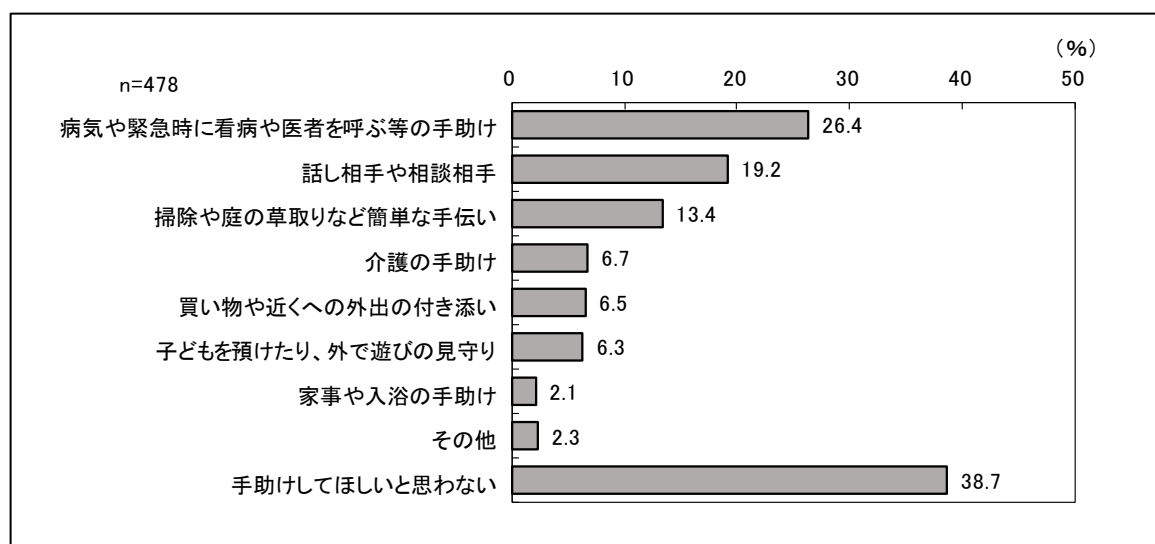
問 17 今後、近所付き合いの中で、ボランティアや近隣住民に「手助けしてほしい」と思うことはありますか。【複数回答】

- 「病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け」が第1位。

ボランティアや近隣住民に手助けしてほしいことは何かをたずねたところ、「病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け」(26.4%)が第1位、次いで、「話し相手や相談相手」(19.2%)、「掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い」(13.4%)となっている。なお、「手助けしてほしいと思わない」は38.7%となっている。

属性別でみると、年齢別では、18歳～29歳、50代、60代、80歳以上で「病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け」、30代、40代で「子どもを預けたり、外で遊びの見守り」、70代で「話し相手や相談相手」が第1位となっている。

図表 ボランティアや近隣住民に手助けしてほしいこと（全体／複数回答）



図表 ボランティアや近隣住民に手助けしてほしいこと（全体、属性別／複数回答）
（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 26.4	話し相手や相談相手 19.2	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 13.4
性別	男性	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 26.2	話し相手や相談相手 20.1	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 11.7
	女性	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 27.9	話し相手や相談相手 17.9	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 15.1
	回答しない	話し相手や相談相手／子どもを預けたり、外で遊びの見守り 25.0		掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 12.5
年齢	18歳～29歳	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 28.1	話し相手や相談相手 15.6	子どもを預けたり、外で遊びの見守り 9.4
	30代	子どもを預けたり、外で遊びの見守り 20.9	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 18.6	話し相手や相談相手 11.6
	40代	子どもを預けたり、外で遊びの見守り 18.9	話し相手や相談相手／病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 17.0	
	50代	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 31.9	話し相手や相談相手 11.1	買い物や近くへの外出の付き添い／掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 8.3
	60代	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 27.7	話し相手や相談相手 18.1	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 13.8
	70代	話し相手や相談相手 25.2	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 24.3	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 18.3
	80歳以上	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 34.8	話し相手や相談相手 28.8	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 18.2
世帯構成	単身世帯	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 36.5	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 17.6	話し相手や相談相手 16.2
	夫婦だけの世帯	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 26.9	話し相手や相談相手 22.8	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 13.8
	親と子どもだけの世帯	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 22.4	話し相手や相談相手 19.7	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 11.5
	親と子どもと孫の三世帯世帯	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 28.6	話し相手や相談相手 15.9	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い／介護の手助け 12.7
	その他	子どもを預けたり、外で遊びの見守り／掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 25.0		話し相手や相談相手／買い物や近くへの外出の付き添い／病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 12.5

図表 ボランティアや近隣住民に手助けしてほしいこと（全体、属性別／複数回答）
（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
居住地区	瑞浪地区	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 27.3	話し相手や相談相手 16.2	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 10.1
	土岐地区	話し相手や相談相手／病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 25.3		掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 14.9
	明世地区	話し相手や相談相手 26.9	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 23.1	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 11.5
	稲津町	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 24.0	話し相手や相談相手 22.0	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 18.0
	陶町	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 28.2	話し相手や相談相手／掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 17.9	
	日吉町	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 31.8	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 13.6	話し相手や相談相手 9.1
	釜戸町	病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 28.6	話し相手や相談相手 21.4	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い 16.7
	大湫町	掃除や庭の草取りなど簡単な手伝い／病気や緊急時に看病や医者を呼ぶ等の手助け 25.0		話し相手や相談相手 12.5

(7) 子育てしやすい地域づくりに大切なこと

問 18 あなたは、子育てがしやすい地域づくりのためにどのようなことが大切だと思いますか。【複数回答】

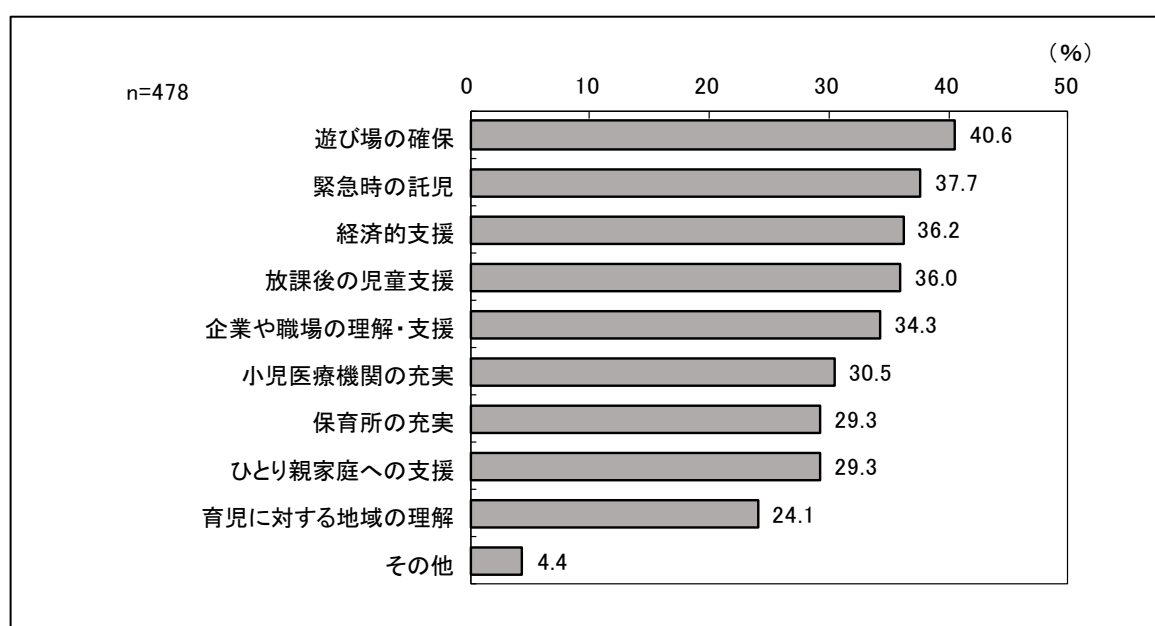
- 「遊び場の確保」が第1位、「緊急時の託児」、「経済的支援」、「放課後の児童支援」が続く。

子育てしやすい地域づくりのために大切なことは、「遊び場の確保」(40.6%)が第1位、次いで、「緊急時の託児」(37.7%)、「経済的支援」(36.2%)、「放課後の児童支援」(36.0%)となっている。

属性別でみると、性別では、男性で「経済的支援」、女性で「緊急時の託児」が第1位となっている。

年齢別では、40代で「経済的支援」、「放課後の児童支援」、「企業や職場の理解・支援」が同率第1位となっている。

図表 子育てしやすい地域づくりに大切なこと（全体／複数回答）



図表 子育てしやすい地域づくりに大切なこと（全体、属性別／複数回答）

（上位3位、単位：％）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		遊び場の確保 40.6	緊急時の託児 37.7	経済的支援 36.2
性別	男性	経済的支援 44.9	遊び場の確保 40.7	放課後の児童支援 30.4
	女性	緊急時の託児 45.0	放課後の児童支援／企業や職場の理解・支援 40.6	
	回答しない	緊急時の託児 62.5	遊び場の確保／経済的支援／放課後の児童支援 50.0	
年齢	18 歳～29 歳	経済的支援 71.9	企業や職場の理解・支援 56.3	小児医療機関の充実 53.1
	30 代	遊び場の確保／経済的支援 62.8		緊急時の託児 53.5
	40 代	経済的支援／放課後の児童支援／企業や職場の理解・支援 47.2		
	50 代	緊急時の託児 52.8	遊び場の確保 48.6	企業や職場の理解・支援 47.2
	60 代	放課後の児童支援 39.4	企業や職場の理解・支援 37.2	遊び場の確保 36.2
	70 代	遊び場の確保 36.5	放課後の児童支援 30.4	経済的支援 28.7
	80 歳以上	遊び場の確保 31.8	緊急時の託児 25.8	ひとり親家庭への支援 22.7
世帯構成	単身世帯	緊急時の託児 35.1	経済的支援／放課後の児童支援 29.7	
	夫婦だけの世帯	遊び場の確保 40.7	経済的支援 33.1	緊急時の託児／放課後の児童支援 32.4
	親と子どもだけの世帯	遊び場の確保 46.4	緊急時の託児／放課後の児童支援 43.7	
	親と子どもと孫の三世帯世帯	遊び場の確保 44.4	経済的支援 39.7	緊急時の託児 38.1
	その他	遊び場の確保／経済的支援／放課後の児童支援／保育所の充実／育児に対する地域の理解／ひとり親家庭への支援／小児医療機関の充実 25.0		
居住地区	瑞浪地区	遊び場の確保／緊急時の託児 42.4		経済的支援 36.9
	土岐地区	経済的支援 40.2	緊急時の託児 37.9	放課後の児童支援／ひとり親家庭への支援 36.8
	明世地区	企業や職場の理解・支援 57.7	遊び場の確保 53.8	放課後の児童支援 46.2
	稲津町	遊び場の確保 60.0	経済的支援 44.0	放課後の児童支援 38.0
	陶町	遊び場の確保／経済的支援／小児医療機関の充実 35.9		
	日吉町	放課後の児童支援 40.9	経済的支援／企業や職場の理解・支援 31.8	
	釜戸町	遊び場の確保／放課後の児童支援／企業や職場の理解・支援 35.7		
	大湫町	保育所の充実／小児医療機関の充実 50.0		遊び場の確保／緊急時の託児／経済的支援／放課後の児童支援／育児に対する地域の理解／ひとり親家庭への支援 37.5

(8) 福祉活動を推進するための市民と行政のあるべき関係

問 19 あなたは、地域での福祉活動を推進していくうえで、市民と行政との関係はどうあるべきだとお考えですか。

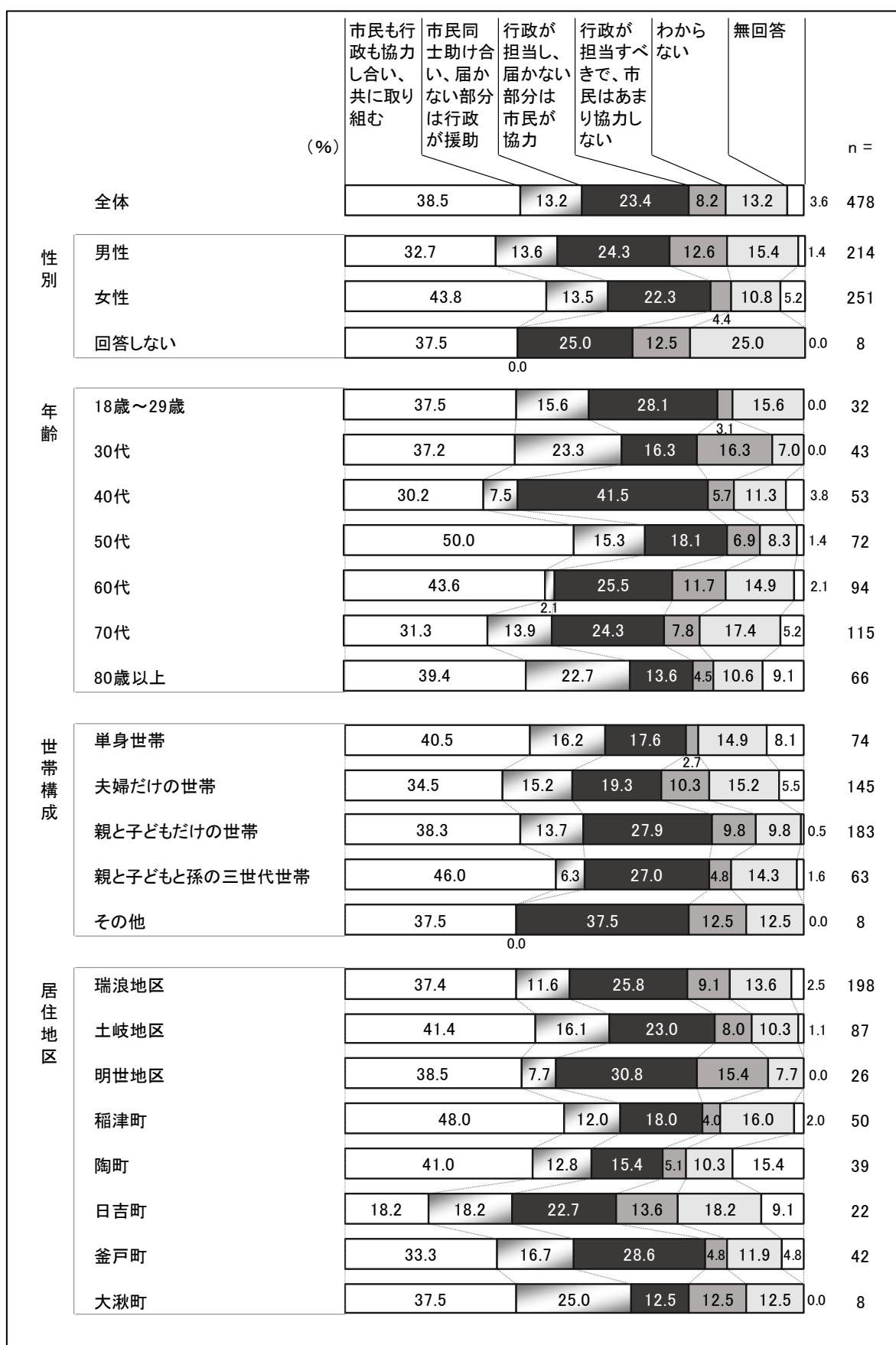


- 「市民も行政も協力し合い、共に取り組む」が4割弱を占める。

地域での福祉活動を推進していくうえで、市民と行政との関係はどうあるべきかたずねたところ、「市民も行政も協力し合い、共に取り組む」(38.5%)が最も高く、次いで、「行政が担当し、届かない部分は市民が協力」(23.4%)、「市民同士助け合い、届かない部分は行政が援助」(13.2%)となっている。

属性別でみると、ほとんどの層で「市民も行政も協力し合い、共に取り組む」が最も高くなっている。年齢別の40代、居住地区別の日吉町では、「行政が担当し、届かない部分は市民が協力」が最も高くなっている。

図表 福祉活動を推進するための市民と行政のあるべき関係



(9) 福祉のまちづくりのために市に取り組んでほしいこと

問 20 福祉のまちづくりのために市に取り組んでほしいことは何ですか。【複数回答】

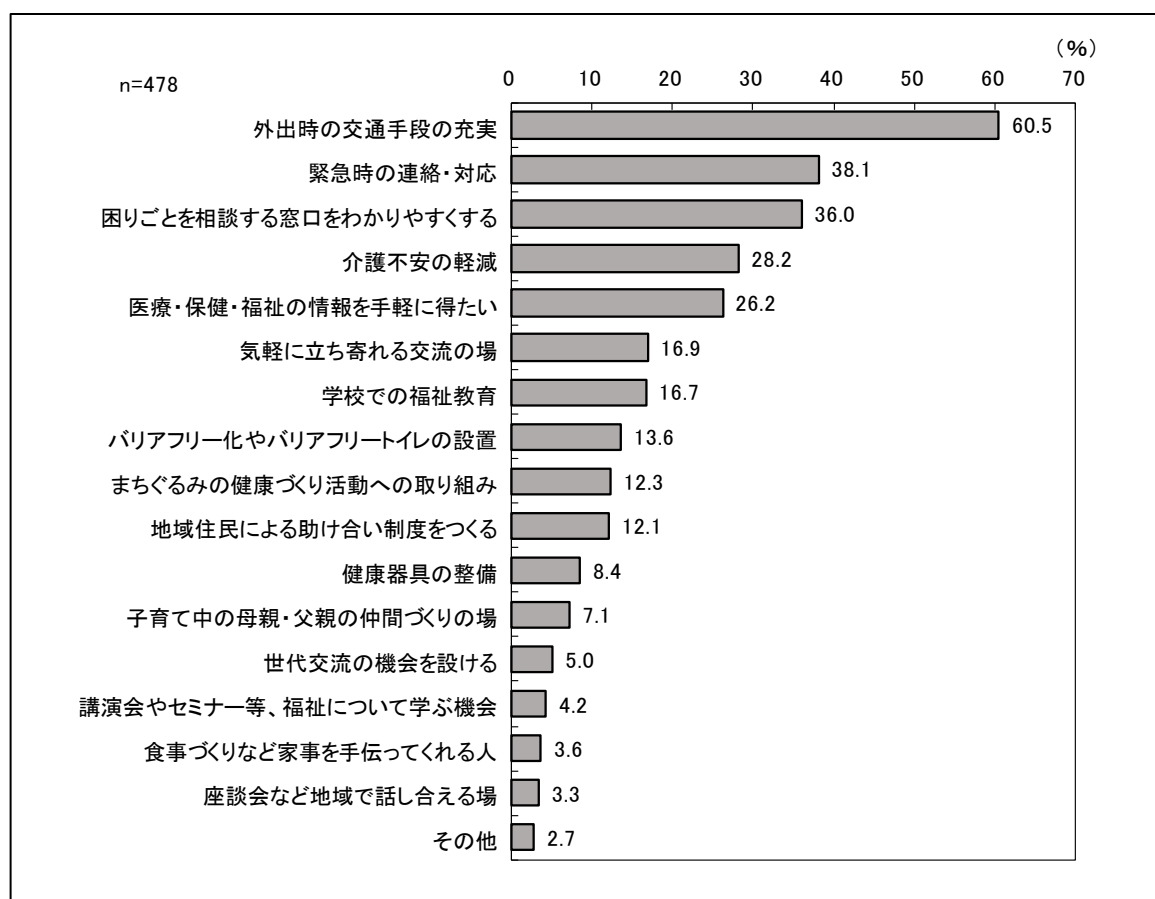


- 「外出時の交通手段の充実」が他を引き離して第1位。

福祉のまちづくりのために市に取り組んでほしいことは、「外出時の交通手段の充実」(60.5%)が第1位、次いで、「緊急時の連絡・対応」(38.1%)、「困りごとを相談する窓口をわかりやすくする」(36.0%)となっている。

属性別でみると、いずれの層においても「外出時の交通手段の充実」が第1位となっている。年齢別では、50代で「緊急時の連絡・対応」、「介護不安の軽減」が第2位となっている。

図表 福祉のまちづくりのために市に取り組んでほしいこと（全体／複数回答）



図表 福祉のまちづくりのために市に取り組んでほしいこと（全体、属性別／複数回答）
（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		外出時の交通手段の充実 60.5	緊急時の連絡・対応 38.1	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 36.0
性別	男性	外出時の交通手段の充実 54.2	緊急時の連絡・対応／困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 36.9	
	女性	外出時の交通手段の充実 65.7	緊急時の連絡・対応 38.6	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 35.5
	回答しない	外出時の交通手段の充実 62.5	緊急時の連絡・対応 50.0	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする／介護不安の軽減 37.5
年齢	18歳～29歳	外出時の交通手段の充実／緊急時の連絡・対応 59.4	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする／介護不安の軽減／バリアフリー化やバリアフリートイレの設置 37.5	
	30代	外出時の交通手段の充実 51.2	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 37.2	学校での福祉教育 30.2
	40代	外出時の交通手段の充実 56.6	緊急時の連絡・対応 39.6	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 37.7
	50代	外出時の交通手段の充実 61.1	緊急時の連絡・対応／介護不安の軽減 44.4	
	60代	外出時の交通手段の充実 62.8	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 43.6	緊急時の連絡・対応 38.3
	70代	外出時の交通手段の充実 61.7	緊急時の連絡・対応 33.0	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 26.1
	80歳以上	外出時の交通手段の充実 63.6	緊急時の連絡・対応／困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 34.8	
世帯構成	単身世帯	外出時の交通手段の充実 56.8	緊急時の連絡・対応 36.5	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 33.8
	夫婦だけの世帯	外出時の交通手段の充実 65.5	緊急時の連絡・対応 43.4	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 37.2
	親と子どもだけの世帯	外出時の交通手段の充実 60.1	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 37.7	緊急時の連絡・対応 36.6
	親と子どもと孫の三世帯世帯	外出時の交通手段の充実 54.0	介護不安の軽減 39.7	緊急時の連絡・対応／困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 34.9
	その他	外出時の交通手段の充実 62.5	緊急時の連絡・対応／困りごとを相談する窓口をわかりやすくする／学校での福祉教育／気軽に立ち寄れる交流の場／バリアフリー化やバリアフリートイレの設置 25.0	
居住地区	瑞浪地区	外出時の交通手段の充実 54.0	緊急時の連絡・対応 38.9	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 36.9
	土岐地区	外出時の交通手段の充実 63.2	緊急時の連絡・対応 46.0	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 41.4
	明世地区	外出時の交通手段の充実 57.7	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 46.2	緊急時の連絡・対応／介護不安の軽減 38.5
	稲津町	外出時の交通手段の充実 54.0	緊急時の連絡・対応 40.0	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 36.0
	陶町	外出時の交通手段の充実 76.9	緊急時の連絡・対応 38.5	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 23.1
	日吉町	外出時の交通手段の充実 68.2	緊急時の連絡・対応／困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 31.8	
	釜戸町	外出時の交通手段の充実 73.8	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 33.3	介護不安の軽減 26.2
	大湫町	外出時の交通手段の充実 75.0	医療・保健・福祉の情報を手軽に得たい 50.0	困りごとを相談する窓口をわかりやすくする 37.5

4 ボランティア活動について

(1) 福祉ボランティア活動や助け合い活動の状況

問 21 あなたは、福祉ボランティア活動や助け合い活動を行ったことがありますか。

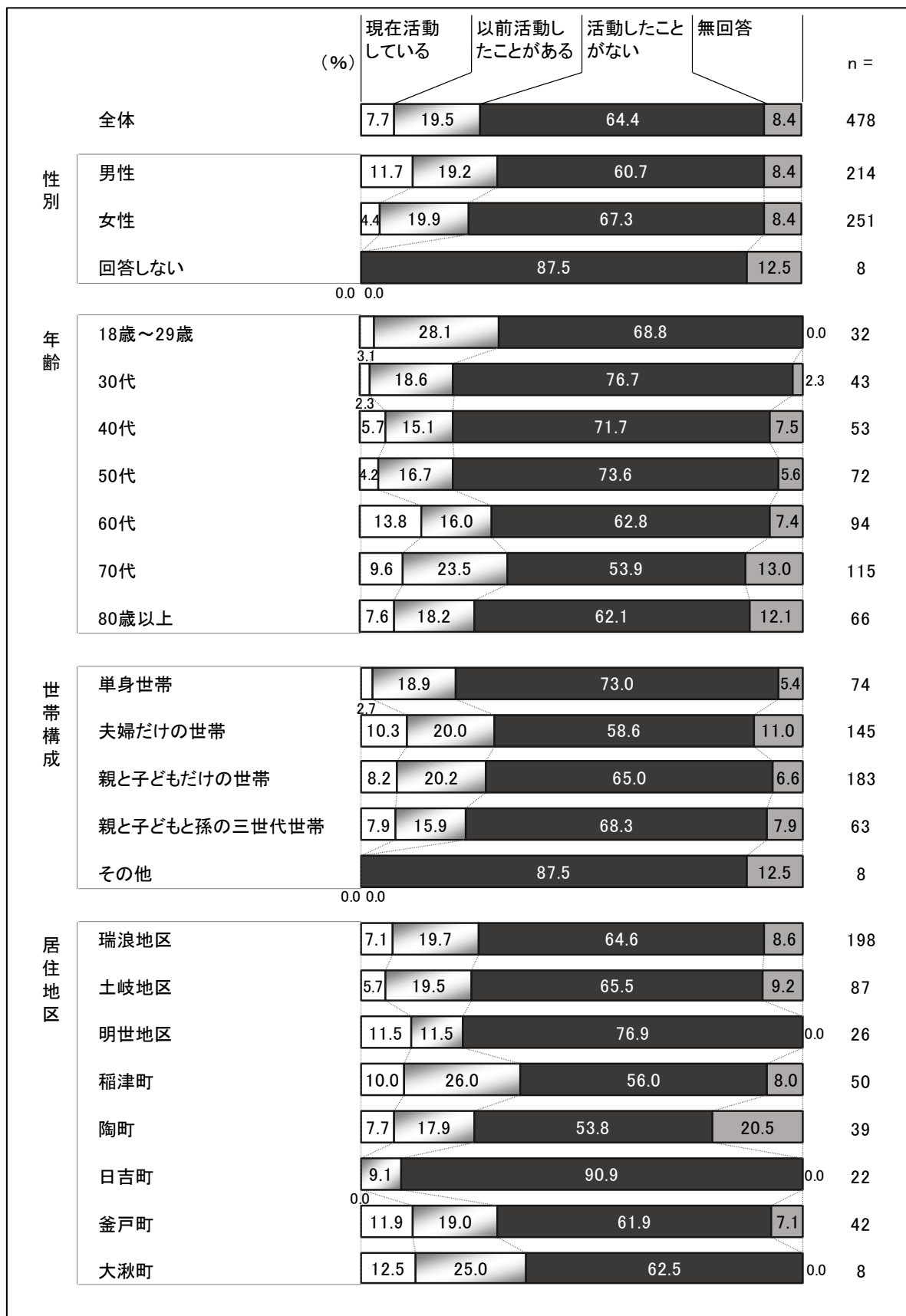


- 「活動したことがない」が6割台半ばを占める。

福祉ボランティア活動や助け合い活動の参加経験をたずねたところ、「活動したことがない」(64.4%)が最も高く、次いで、「以前活動したことがある」(19.5%)、「現在活動している」(7.7%)となっている。

属性別で「現在活動している」の割合をみると、性別では男性が女性よりも高く、年齢別では、60代が他の年代に比べて高くなっている。

図表 福祉ボランティア活動や助け合い活動の状況



(2) 現在取り組んでいる活動の内容

【問 21 で「1. 現在活動している」と回答した方のみ】

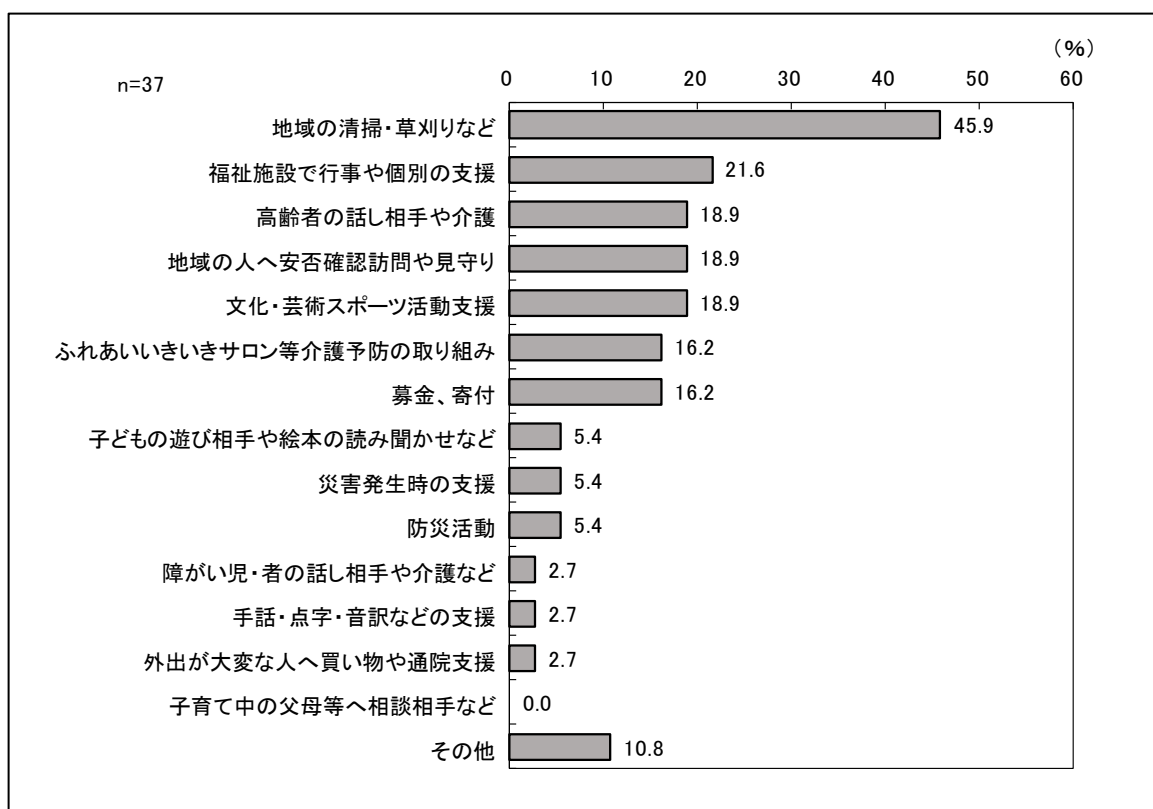
問 21-1 あなたが現在取り組んでいる福祉ボランティア活動や助け合い活動の具体的な内容は次のどれですか。【複数回答】



- 「地域の清掃・草刈りなど」が他を引き離して第1位。

問 21 で「現在活動している」と答えた方（37 名・全体の 7.7%）に、現在取り組んでいる活動の具体的な内容をたずねたところ、「地域の清掃・草刈りなど」（45.9%）が第1位、次いで、「福祉施設で行事や個別の支援」（21.6%）、「高齢者の話し相手や介護」「地域の人へ安否確認訪問や見守り」「文化・芸術スポーツ活動支援」（同率 18.9%）となっている。

図表 現在取り組んでいる活動の内容（全体／複数回答）



(3) 活動の輪を広げるために特に重要なこと

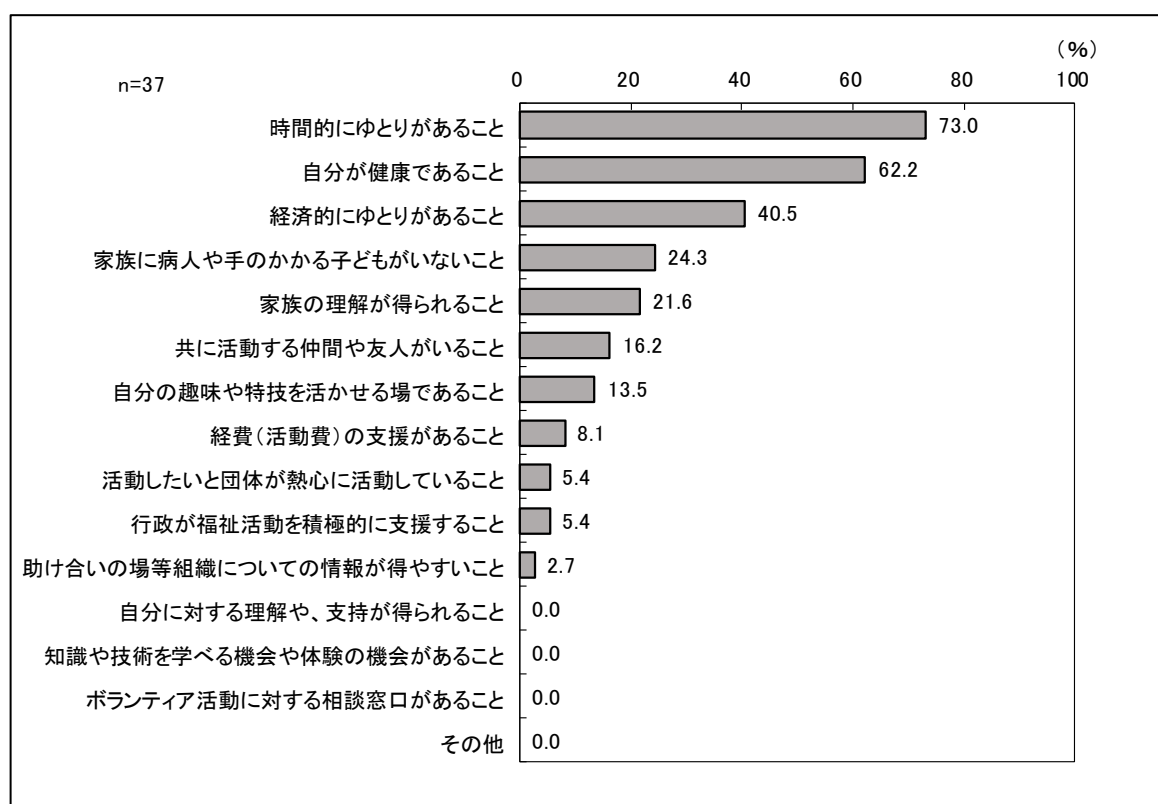
問 21-2 あなたは、福祉ボランティア活動の輪を広げるために、今後どのようなことが特に重要だと考えますか。【複数回答】



- 「時間的にゆとりがあること」及び「自分が健康であること」が2大要件。

活動の輪を広げるために特に重要なことは、「時間的にゆとりがあること」(73.0%)が第1位、次いで、「自分が健康であること」(62.2%)、「経済的にゆとりがあること」(40.5%)となっている。

図表 活動の輪を広げるために特に重要なこと（全体／複数回答）



(4) どのような条件や環境であれば活動したいか

【問 21 で「以前活動したことがある」、「活動したことがない」と回答した方のみ】

問 21-3 どのような条件や環境であれば、問 21-1 のような活動をしたいと思いますか。

【複数回答】

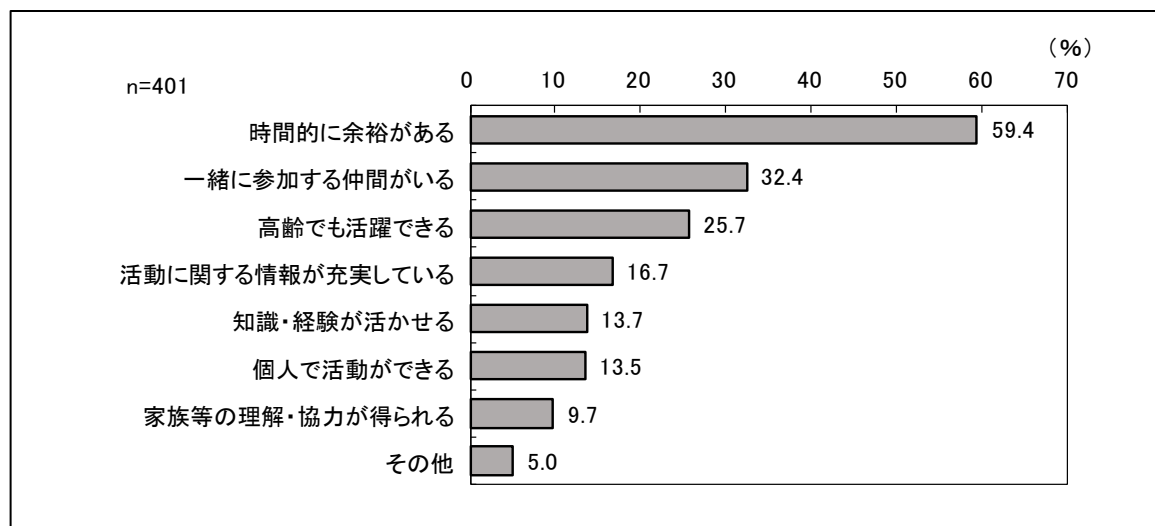


- 「時間的に余裕がある」が他を引き離して第 1 位。

問 21 で「以前活動したことがある」、「活動したことがない」と答えた方（401 名・全体の 83.9%）に、どのような条件や環境であれば活動したいと思うかたずねたところ、「時間的に余裕がある」（59.4%）が第 1 位、次いで、「一緒に参加する仲間がいる」（32.4%）、「高齢でも活躍できる」（25.7%）となっている。

属性別でみると、ほとんどの層で「時間的に余裕がある」が第 1 位となっている。（年齢別の 70 代、80 歳以上では「高齢でも活躍できる」が第 1 位）

図表 どのような条件や環境であれば活動したいか（全体／複数回答）



図表 どのような条件や環境であれば活動したいか（全体、属性別／複数回答）
（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		時間的に余裕がある 59.4	一緒に参加する仲間がいる 32.4	高齢でも活躍できる 25.7
性別	男性	時間的に余裕がある 57.3	一緒に参加する仲間がいる 29.8	高齢でも活躍できる 28.1
	女性	時間的に余裕がある 60.3	一緒に参加する仲間がいる 35.2	高齢でも活躍できる 24.2
	回答しない	時間的に余裕がある 85.7	活動に関する情報が充実している 42.9	一緒に参加する仲間がいる／高齢でも活躍できる／個人で活動ができる 28.6
年齢	18歳～29歳	時間的に余裕がある 87.1	一緒に参加する仲間がいる 48.4	活動に関する情報が充実している／個人で活動ができる 25.8
	30代	時間的に余裕がある 75.6	一緒に参加する仲間がいる 41.5	活動に関する情報が充実している 22.0
	40代	時間的に余裕がある 78.3	一緒に参加する仲間がいる 47.8	活動に関する情報が充実している 23.9
	50代	時間的に余裕がある 81.5	一緒に参加する仲間がいる 20.0	知識・経験が活かせる 18.5
	60代	時間的に余裕がある 63.5	一緒に参加する仲間がいる 31.1	高齢でも活躍できる 27.0
	70代	高齢でも活躍できる 46.1	時間的に余裕がある 36.0	一緒に参加する仲間がいる 31.5
	80歳以上	高齢でも活躍できる 43.4	一緒に参加する仲間がいる 22.6	時間的に余裕がある 20.8
世帯構成	単身世帯	時間的に余裕がある 41.2	高齢でも活躍できる 27.9	一緒に参加する仲間がいる 25.0
	夫婦だけの世帯	時間的に余裕がある 54.4	一緒に参加する仲間がいる／高齢でも活躍できる 31.6	
	親と子どもだけの世帯	時間的に余裕がある 71.8	一緒に参加する仲間がいる 33.3	高齢でも活躍できる 19.9
	親と子どもと孫の三世帯世帯	時間的に余裕がある 56.6	一緒に参加する仲間がいる 43.4	高齢でも活躍できる 28.3
	その他	時間的に余裕がある 71.4	活動に関する情報が充実している／一緒に参加する仲間がいる／知識・経験が活かせる／高齢でも活躍できる 28.6	
居住地区	瑞浪地区	時間的に余裕がある 63.5	一緒に参加する仲間がいる 30.5	高齢でも活躍できる 22.2
	土岐地区	時間的に余裕がある 55.4	高齢でも活躍できる 33.8	一緒に参加する仲間がいる 29.7
	明世地区	時間的に余裕がある 73.9	活動に関する情報が充実している 34.8	一緒に参加する仲間がいる 26.1
	稲津町	時間的に余裕がある 51.2	一緒に参加する仲間がいる 43.9	高齢でも活躍できる 31.7
	陶町	時間的に余裕がある 60.7	一緒に参加する仲間がいる 42.9	高齢でも活躍できる 35.7
	日吉町	時間的に余裕がある 50.0	一緒に参加する仲間がいる 40.9	高齢でも活躍できる 36.4
	釜戸町	時間的に余裕がある 47.1	一緒に参加する仲間がいる 29.4	高齢でも活躍できる 26.5
	大湫町	時間的に余裕がある 85.7	一緒に参加する仲間がいる／知識・経験が活かせる 28.6	

(5) 福祉ボランティア活動への興味や参加意向

問 22 あなたは、福祉ボランティア活動に興味や参加の意向がありますか。

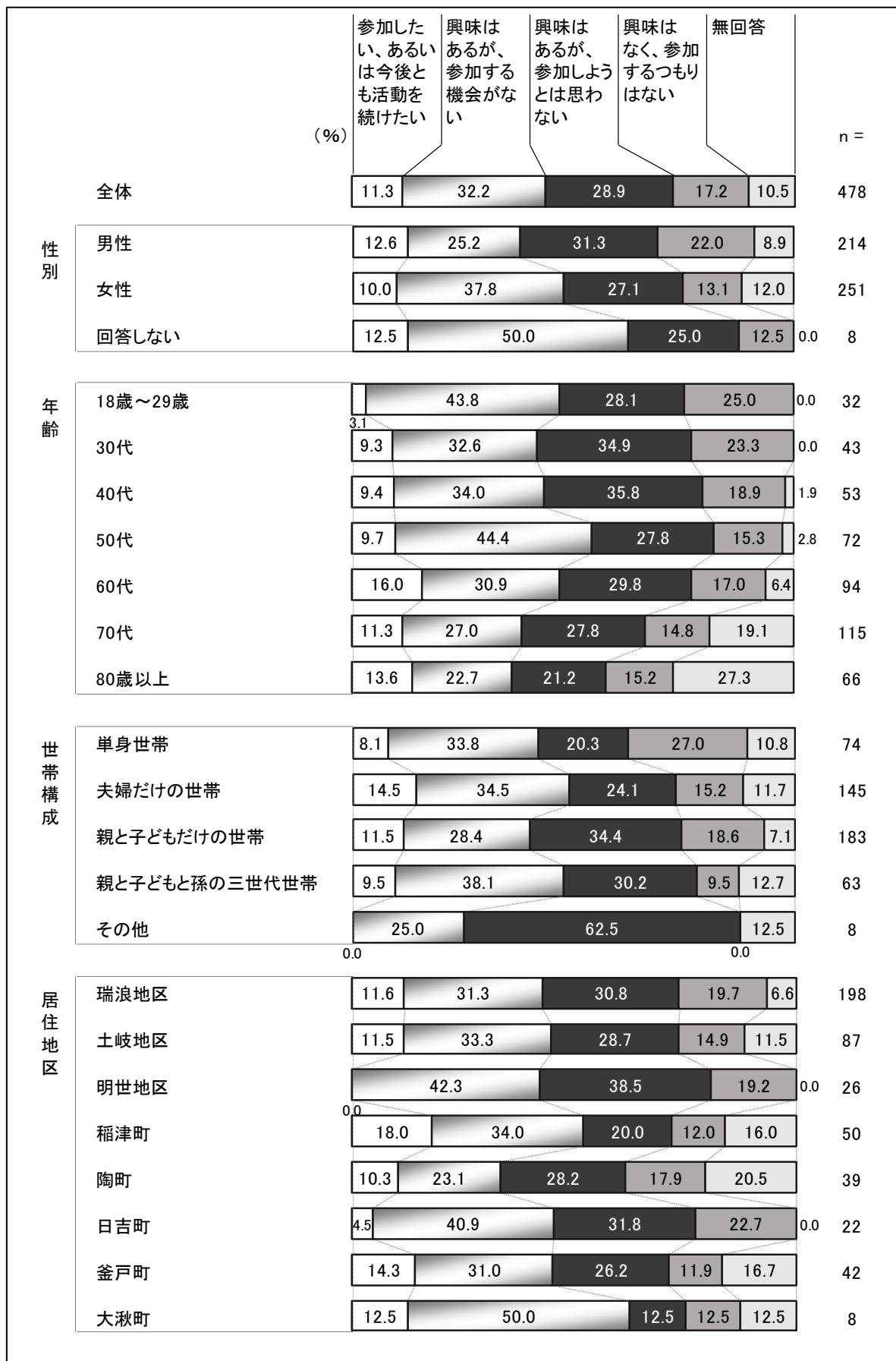


- 「興味はあるが参加する機会がない」が3割強を占める。

福祉ボランティア活動への興味や参加意向をたずねたところ、「興味はあるが、参加する機会がない」(32.2%)が最も高く、次いで、「興味はあるが、参加しようとは思わない」(28.9%)、「興味はなく、参加するつもりはない」(17.2%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、18歳～29歳、50代で「興味はあるが、参加する機会がない」の割合が4割を超えている。

図表 福祉ボランティア活動への興味や参加意向



(6) ボランティア活動に参加するうえで支障になること

問 23 あなたがボランティア活動に参加するうえで、支障になることがありますか。
【複数回答】

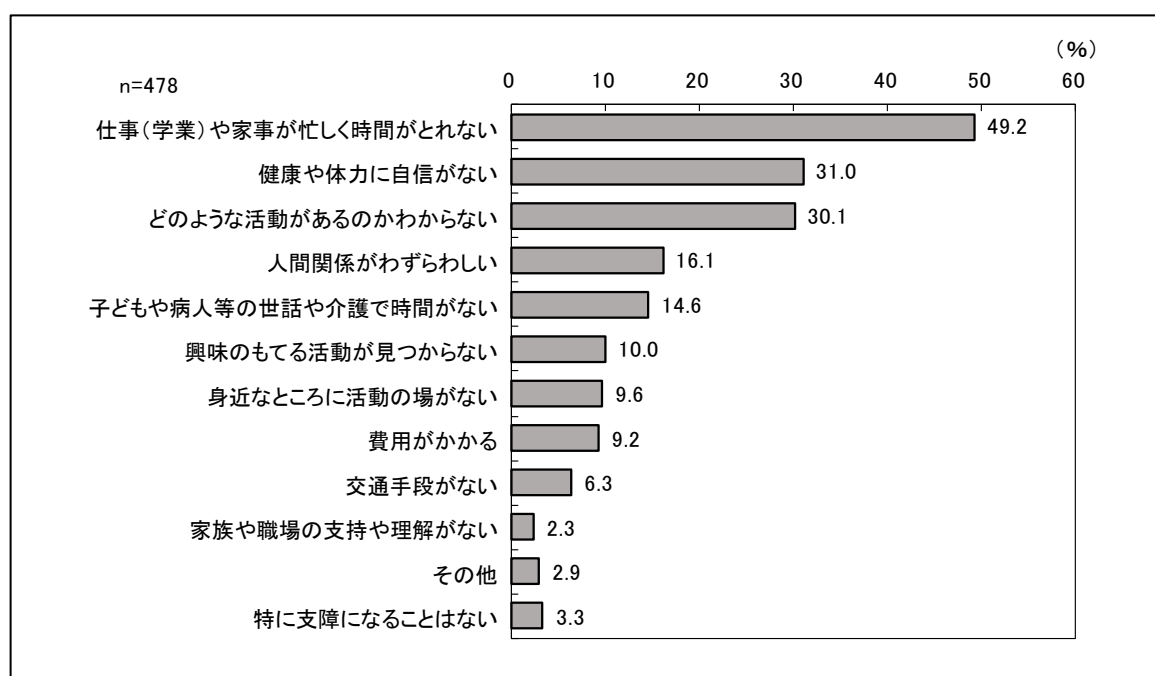


- 「仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない」が他を引き離して第1位。

ボランティア活動に参加するうえで支障になることは、「仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない」（49.2%）が第1位、次いで、「健康や体力に自信がない」（31.0%）、「どのような活動があるのかわからない」（30.1%）となっている。

属性別でみると、ほとんどの層で「仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない」が第1位となっている。（年齢別の70代、80歳以上では「健康や体力に自信がない」が第1位。）

図表 ボランティア活動に参加するうえで支障になること（全体／複数回答）



図表 ボランティア活動に参加するうえで支障になること（全体、属性別／複数回答）
（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 49.2	健康や体力に自信がない 31.0	どのような活動があるのかわからない 30.1
性別	男性	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 48.1	どのような活動があるのかわからない 32.2	健康や体力に自信がない 26.2
	女性	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 49.4	健康や体力に自信がない 34.7	どのような活動があるのかわからない 28.3
	回答しない	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 75.0	どのような活動があるのかわからない 50.0	健康や体力に自信がない 37.5
年齢	18歳～29歳	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 87.5	どのような活動があるのかわからない 56.3	身近なところに活動の場がない／費用がかかる 28.1
	30代	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 79.1	子どもや病人等の世話や介護で時間がない 46.5	どのような活動があるのかわからない 39.5
	40代	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 75.5	どのような活動があるのかわからない 28.3	子どもや病人等の世話や介護で時間がない 26.4
	50代	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 80.6	どのような活動があるのかわからない 38.9	人間関係がわずらわしい 23.6
	60代	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 52.1	どのような活動があるのかわからない 26.6	健康や体力に自信がない 25.5
	70代	健康や体力に自信がない 51.3	どのような活動があるのかわからない 26.1	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 18.3
	80歳以上	健康や体力に自信がない 48.5	どのような活動があるのかわからない 16.7	交通手段がない 15.2
世帯構成	単身世帯	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 35.1	健康や体力に自信がない 33.8	どのような活動があるのかわからない 24.3
	夫婦だけの世帯	健康や体力に自信がない 40.7	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 40.0	どのような活動があるのかわからない 29.0
	親と子どもだけの世帯	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 61.2	どのような活動があるのかわからない 32.2	子どもや病人等の世話や介護で時間がない 23.0
	親と子どもと孫の三世帯世帯	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 55.6	どのような活動があるのかわからない 38.1	健康や体力に自信がない 28.6
	その他	健康や体力に自信がない 62.5	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 37.5	子どもや病人等の世話や介護で時間がない／身近なところに活動の場がない／人間関係がわずらわしい／費用がかかる 25.0
居住地区	瑞浪地区	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 55.1	健康や体力に自信がない 31.3	どのような活動があるのかわからない 30.8
	土岐地区	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 49.4	どのような活動があるのかわからない 29.9	健康や体力に自信がない 28.7
	明世地区	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 69.2	どのような活動があるのかわからない 46.2	費用がかかる 34.6
	稲津町	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 44.0	どのような活動があるのかわからない 32.0	健康や体力に自信がない 20.0
	陶町	健康や体力に自信がない 35.9	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 30.8	どのような活動があるのかわからない 20.5
	日吉町	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 40.9	健康や体力に自信がない 36.4	どのような活動があるのかわからない 27.3
	釜戸町	健康や体力に自信がない 42.9	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 38.1	どのような活動があるのかわからない 26.2
	大湫町	仕事（学業）や家事が忙しく時間がとれない 62.5	どのような活動があるのかわからない 50.0	子どもや病人等の世話や介護で時間がない 25.0

5 保健・福祉に関する情報の入手について

(1) 保健・福祉情報を必要とした時があったか

問 24 あなたはこれまで、保健・福祉サービスなどの情報を必要としたことがありましたか。

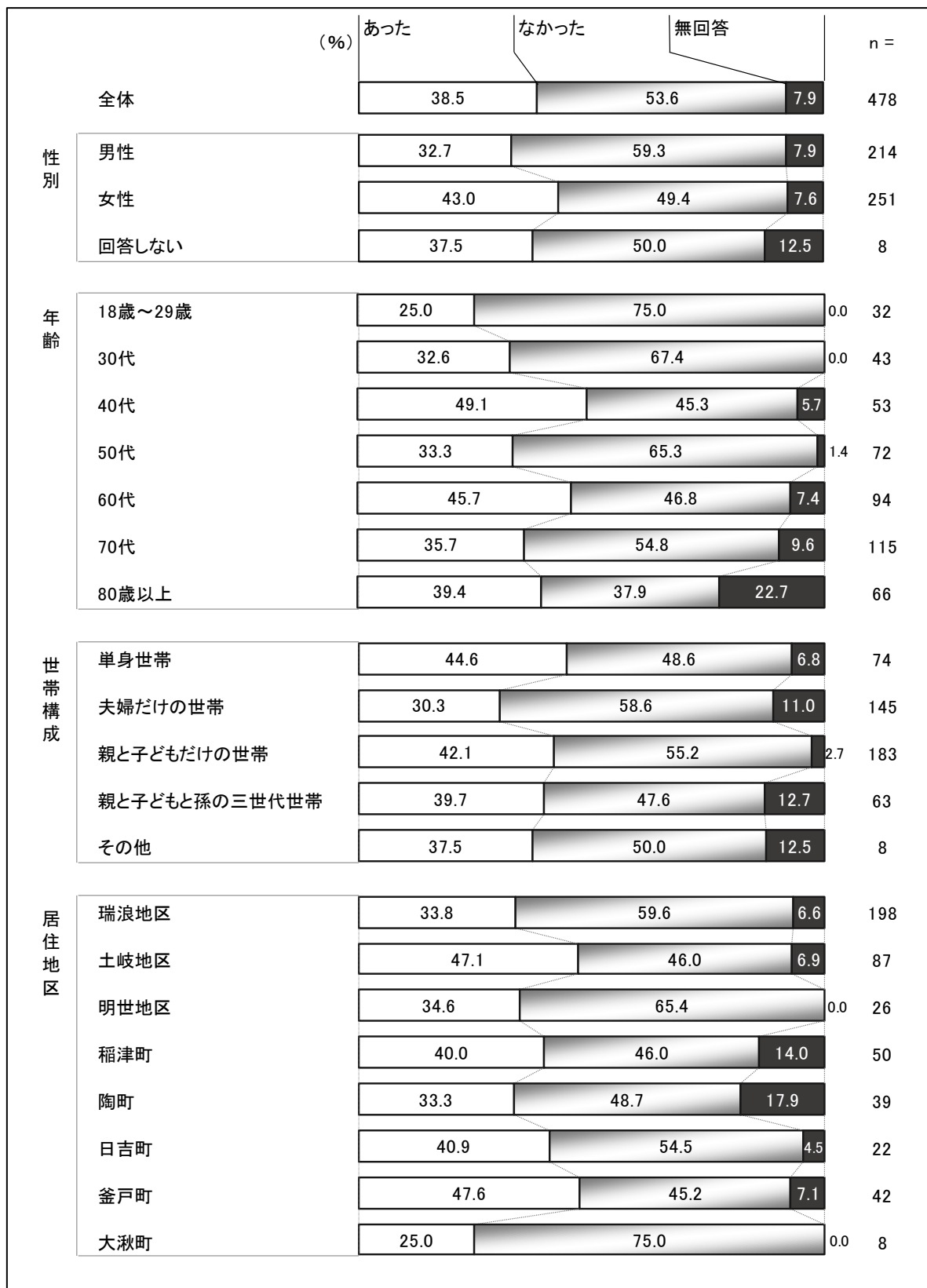


- 「なかった」が5割強を占める。

保健・福祉サービスなどの情報を必要とした時があったかどうかたずねたところ、「なかった」が53.6%、一方、「あった」が38.5%となっている。

属性別で「あった」の割合をみると、性別では、女性が男性より高く、年齢別では、40代で約5割と高くなっている。

図表 保健・福祉情報を必要とした時があったか



(2) 必要な情報を得ることができたか

【問 24 で「あった」と回答した方のみ】

問 24-1 あなたは、必要な情報を得ることができましたか。

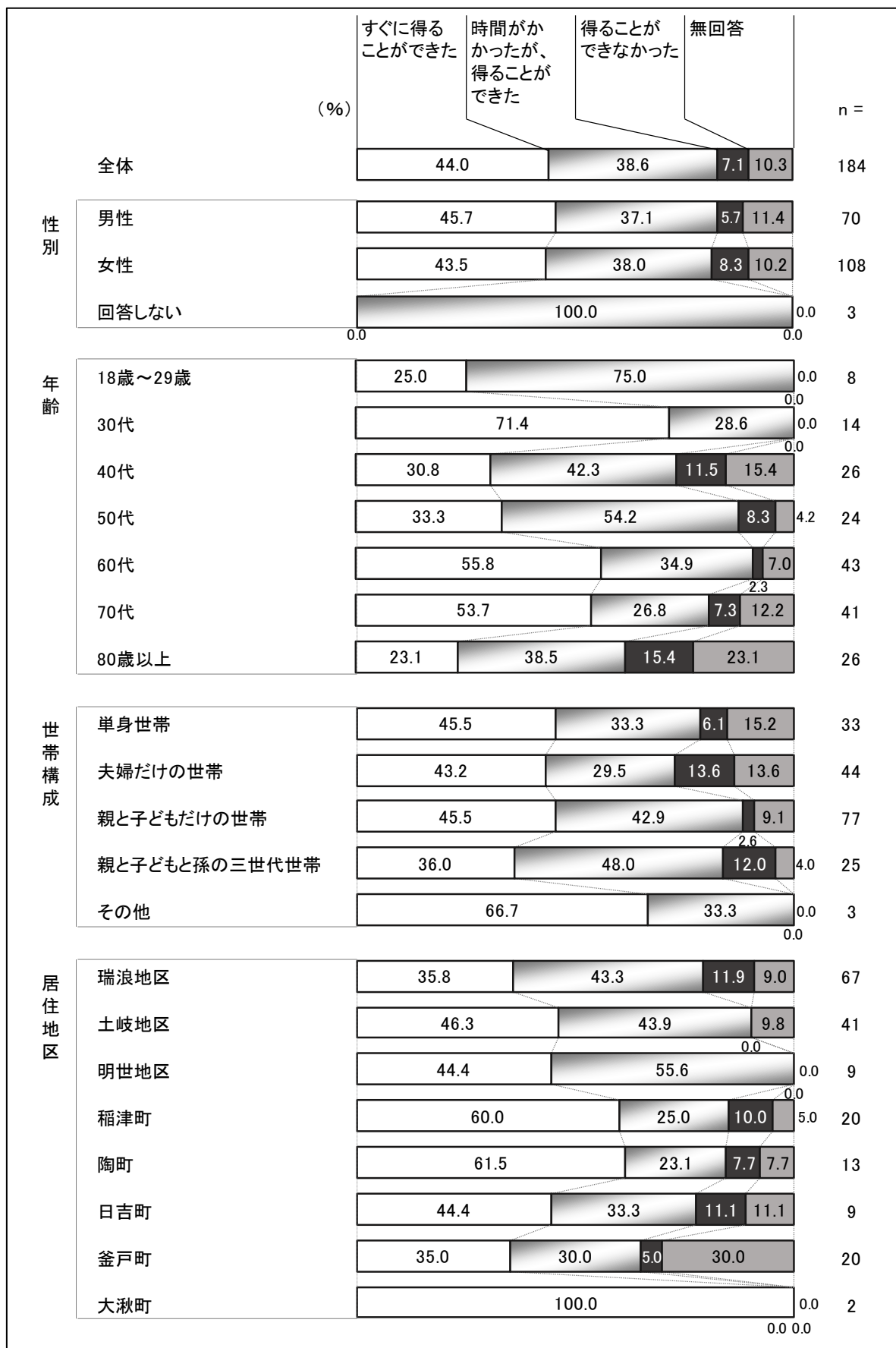


- 「すぐに得ることができた」が4割台半ばを占める。

問 24 で「あった」と答えた方（184 名・全体の 38.5％）に、必要な情報を得ることができたかどうかたずねたところ、「すぐに得ることができた」（44.0％）が最も高く、次いで、「時間がかかったが、得ることができた」（38.6％）、「得ることができなかった」（7.1％）となっている。

属性別でみると、年齢別では、30 代で「すぐに得ることができた」の割合が約 7 割と、とくに高くなっている。居住地区別では、稲津町、陶町で「すぐに得ることができた」の割合が約 6 割となっている。

図表 必要な情報を得ることができたか



(3) 必要とした情報の入手先

【問 24 で「あった」と回答した方のみ】

問 24-2 あなたは、必要とした情報をどこで得ることができましたか（得ようとしたか）。【複数回答】

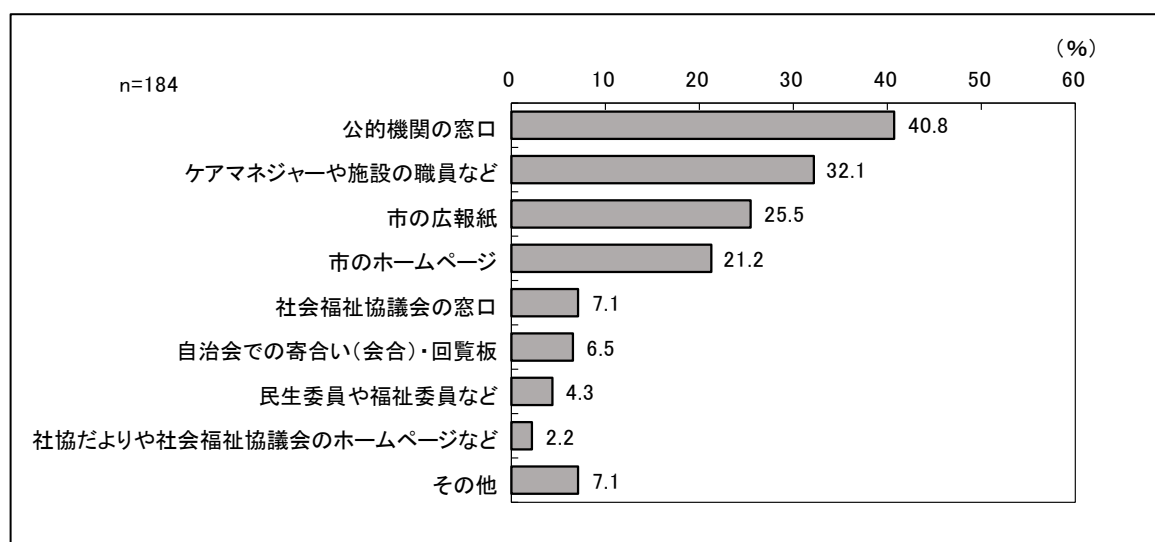


● 「公的機関の窓口」が第 1 位。

問 24 で「あった」と答えた方（184 名・全体の 38.5%）に、情報の入手先をたずねたところ、「公的機関の窓口」（40.8%）が第 1 位、次いで、「ケアマネジャーや施設の職員など」（32.1%）、「市の広報紙」（25.5%）となっている。

属性別でみると、年齢別では、18 歳～29 歳、30 代で「市のホームページ」、40 代、60 代、70 代で「公的機関の窓口」、50 代、80 歳以上で「市の広報紙」が第 1 位となっている。（60 代は「ケアマネジャーや施設の職員など」も同率第 1 位。）

図表 必要とした情報の入手先（全体／複数回答）



図表 必要とした情報の入手先（全体、属性別／複数回答）

（上位 3 位、単位：％）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		公的機関の窓口 40.8	ケアマネジャーや施設の職員など 32.1	市の広報紙 25.5
性別	男性	公的機関の窓口 34.3	ケアマネジャーや施設の職員など 30.0	市の広報紙 22.9
	女性	公的機関の窓口 44.4	ケアマネジャーや施設の職員など 34.3	市の広報紙 25.9
	回答しない	市の広報紙 66.7	公的機関の窓口／市のホームページ 33.3	
年齢	18 歳～29 歳	市のホームページ 62.5	公的機関の窓口／社会福祉協議会の窓口 25.0	
	30 代	市のホームページ 71.4	公的機関の窓口／市の広報紙 42.9	
	40 代	公的機関の窓口 42.3	市のホームページ 38.5	市の広報紙 26.9
	50 代	市の広報紙 33.3	公的機関の窓口／ケアマネジャーや施設の職員など 25.0	
	60 代	公的機関の窓口／ケアマネジャーや施設の職員など 51.2		市の広報紙 18.6
	70 代	公的機関の窓口 43.9	ケアマネジャーや施設の職員など 36.6	市の広報紙 17.1
	80 歳以上	市の広報紙 38.5	公的機関の窓口／ケアマネジャーや施設の職員など 30.8	
世帯構成	単身世帯	ケアマネジャーや施設の職員など 54.5	公的機関の窓口 48.5	市の広報紙 18.2
	夫婦だけの世帯	公的機関の窓口 36.4	市の広報紙／ケアマネジャーや施設の職員など 25.0	
	親と子どもだけの世帯	公的機関の窓口 39.0	市の広報紙 33.8	市のホームページ 28.6
	親と子どもと孫の三世帯世帯	公的機関の窓口 44.0	ケアマネジャーや施設の職員など 32.0	市のホームページ 16.0
	その他	市のホームページ 66.7	市の広報紙／ケアマネジャーや施設の職員など 33.3	
居住地区	瑞浪地区	公的機関の窓口 35.8	ケアマネジャーや施設の職員など 28.4	市の広報紙 22.4
	土岐地区	公的機関の窓口 43.9	ケアマネジャーや施設の職員など 34.1	市の広報紙 31.7
	明世地区	公的機関の窓口 66.7	市のホームページ 55.6	市の広報紙 44.4
	稲津町	公的機関の窓口 40.0	市のホームページ／ケアマネジャーや施設の職員など 30.0	
	陶町	公的機関の窓口 38.5	市の広報紙／ケアマネジャーや施設の職員など 30.8	
	日吉町	ケアマネジャーや施設の職員など 33.3	公的機関の窓口／市のホームページ／社会福祉協議会の窓口／自治会での寄合い（会合）・回覧板 11.1	
	釜戸町	公的機関の窓口 50.0	ケアマネジャーや施設の職員など 40.0	市のホームページ 30.0
	大湫町	公的機関の窓口／市の広報紙／ケアマネジャーや施設の職員など 50.0		

(4) 今後保健・福祉情報をどのように得たいか

問 25 あなたは、今後保健・福祉に関する情報をどのような方法で得たいですか。
【複数回答】

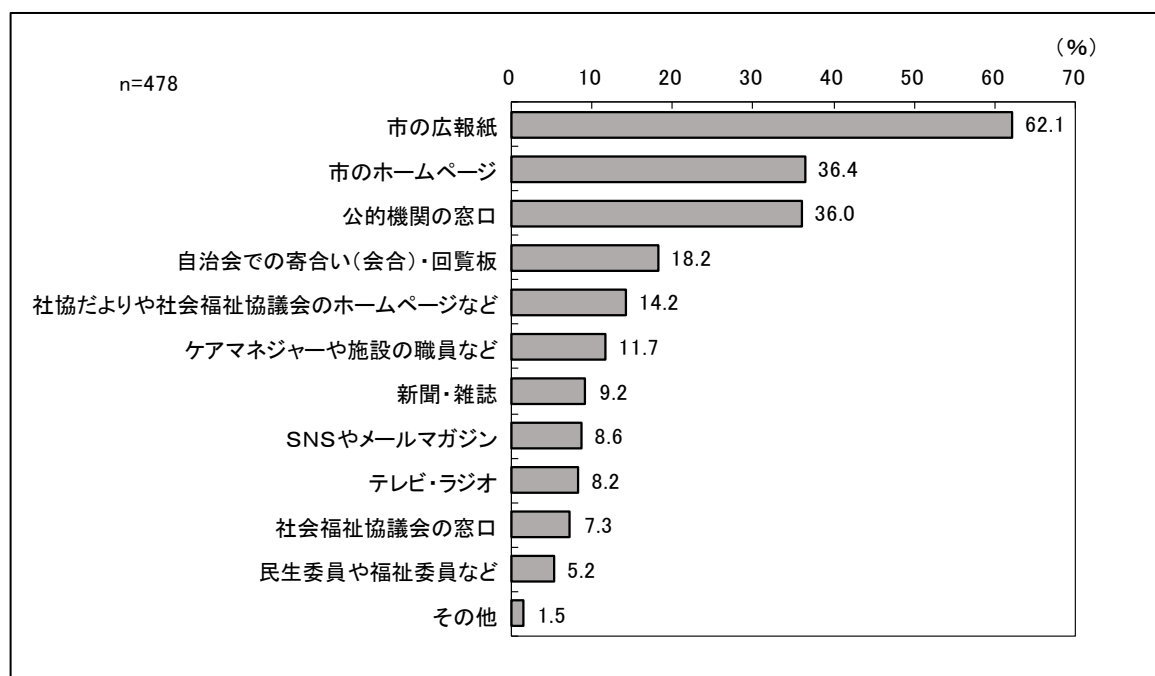


- 「市の広報紙」が他を引き離して第1位。

今後保健・福祉情報をどのように得たいかたずねたところ、「市の広報紙」(62.1%)が第1位、次いで、「市のホームページ」(36.4%)、「公的機関の窓口」(36.0%)となっている。

属性別でみると、ほとんどの層で「市の広報紙」が第1位となっている。(年齢別の18歳～29歳、30代は「市のホームページ」が第1位。)

図表 今後保健・福祉情報をどのように得たいか（全体／複数回答）



図表 今後保健・福祉情報をどのように得たいか（全体、属性別／複数回答）

（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		市の広報紙 62.1	市のホームページ 36.4	公的機関の窓口 36.0
性別	男性	市の広報紙 61.2	公的機関の窓口 37.4	市のホームページ 36.9
	女性	市の広報紙 62.5	公的機関の窓口／市のホームページ 35.1	
	回答しない	市の広報紙／市のホームページ 62.5		公的機関の窓口 25.0
年齢	18歳～29歳	市のホームページ 46.9	市の広報紙 40.6	公的機関の窓口 34.4
	30代	市のホームページ 65.1	市の広報紙 46.5	公的機関の窓口／SNSやメールマガジン 23.3
	40代	市の広報紙 73.6	市のホームページ 67.9	公的機関の窓口 41.5
	50代	市の広報紙 61.1	市のホームページ 43.1	公的機関の窓口 29.2
	60代	市の広報紙 60.6	公的機関の窓口 48.9	市のホームページ 38.3
	70代	市の広報紙 64.3	公的機関の窓口 33.0	自治会での寄合い（会合）・回覧板 20.0
	80歳以上	市の広報紙 72.7	公的機関の窓口 31.8	自治会での寄合い（会合）・回覧板 28.8
世帯構成	単身世帯	市の広報紙 54.1	公的機関の窓口 36.5	市のホームページ 27.0
	夫婦だけの世帯	市の広報紙 66.2	公的機関の窓口 31.7	市のホームページ 27.6
	親と子どもだけの世帯	市の広報紙 62.3	市のホームページ 47.0	公的機関の窓口 39.9
	親と子どもと孫の三世帯世帯	市の広報紙 63.5	市のホームページ 33.3	公的機関の窓口 28.6
	その他	市の広報紙／市のホームページ 62.5		公的機関の窓口 50.0
居住地区	瑞浪地区	市の広報紙 58.1	市のホームページ 39.4	公的機関の窓口 34.3
	土岐地区	市の広報紙 57.5	市のホームページ 35.6	公的機関の窓口 33.3
	明世地区	市の広報紙 69.2	市のホームページ 53.8	公的機関の窓口 38.5
	稲津町	市の広報紙 70.0	公的機関の窓口 42.0	市のホームページ 40.0
	陶町	市の広報紙 71.8	公的機関の窓口 35.9	自治会での寄合い（会合）・回覧板 30.8
	日吉町	市の広報紙 63.6	公的機関の窓口 50.0	市のホームページ／自治会での寄合い（会合）・回覧板 27.3
	釜戸町	市の広報紙 66.7	公的機関の窓口 33.3	市のホームページ／自治会での寄合い（会合）・回覧板 26.2
	大湫町	市の広報紙 62.5	市のホームページ 37.5	公的機関の窓口／社協だよりや社会福祉協議会のホームページなど 25.0

6 相談について

(1) 暮らしの中での悩みや不安

問 26 あなたは、暮らしの中で、どのような悩みや不安を感じていますか。【複数回答】

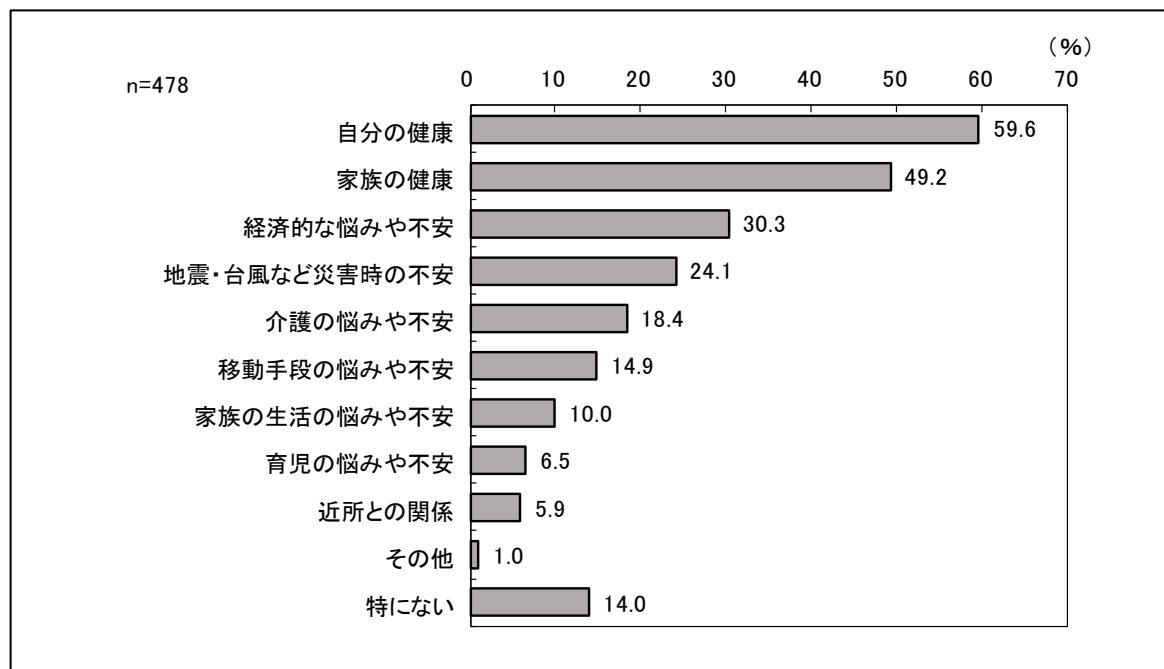


- 「自分の健康」が第1位。

暮らしの中での悩みや不安については、「自分の健康」(59.6%)が第1位、次いで、「家族の健康」(49.2%)、「経済的な悩みや不安」(30.3%)となっている。

属性別でみると、ほとんどの層で「自分の健康」が第1位、「家族の健康」が第2位と続いている。(世帯構成別の単身世帯は、「経済的な悩みや不安」が第2位。)

図表 暮らしの中での悩みや不安（全体／複数回答）



図表 暮らしの中での悩みや不安（全体、属性別／複数回答）

（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		自分の健康 59.6	家族の健康 49.2	経済的な悩みや不安 30.3
性別	男性	自分の健康 57.0	家族の健康 48.1	経済的な悩みや不安 33.6
	女性	自分の健康 61.8	家族の健康 50.2	地震・台風など災害時の不安 29.9
	回答しない	自分の健康 62.5	家族の健康 50.0	介護の悩みや不安／家族の生活の悩みや不安／経済的な悩みや不安／近所との関係 37.5
年齢	18歳～29歳	自分の健康 56.3	家族の健康／経済的な悩みや不安 43.8	
	30代	自分の健康 48.8	家族の健康 46.5	経済的な悩みや不安 44.2
	40代	自分の健康 52.8	家族の健康 47.2	経済的な悩みや不安 41.5
	50代	自分の健康 56.9	家族の健康 51.4	経済的な悩みや不安 36.1
	60代	自分の健康 60.6	家族の健康 55.3	介護の悩みや不安／経済的な悩みや不安 24.5
	70代	自分の健康 63.5	家族の健康 46.1	経済的な悩みや不安 26.1
	80歳以上	自分の健康 68.2	家族の健康 50.0	地震・台風など災害時の不安 30.3
世帯構成	単身世帯	自分の健康 73.0	経済的な悩みや不安 36.5	地震・台風など災害時の不安 24.3
	夫婦だけの世帯	自分の健康 60.7	家族の健康 57.2	経済的な悩みや不安 26.2
	親と子どもだけの世帯	自分の健康 52.5	家族の健康 50.8	経済的な悩みや不安 30.6
	親と子どもと孫の三世帯世帯	自分の健康 60.3	家族の健康 58.7	介護の悩みや不安／経済的な悩みや不安 33.3
	その他	自分の健康／家族の健康 75.0		経済的な悩みや不安／地震・台風など災害時の不安 25.0
居住地区	瑞浪地区	自分の健康 60.6	家族の健康 50.5	経済的な悩みや不安 29.8
	土岐地区	自分の健康 51.7	家族の健康 47.1	経済的な悩みや不安 28.7
	明世地区	家族の健康 53.8	自分の健康 50.0	経済的な悩みや不安 46.2
	稲津町	自分の健康 56.0	家族の健康 46.0	経済的な悩みや不安 28.0
	陶町	自分の健康 64.1	家族の健康 43.6	地震・台風など災害時の不安 28.2
	日吉町	自分の健康 63.6	家族の健康 59.1	経済的な悩みや不安 45.5
	釜戸町	自分の健康 73.8	家族の健康 50.0	経済的な悩みや不安 28.6
	大湫町	自分の健康／家族の健康／経済的な悩みや不安 50.0		

(2) 暮らしの問題で困ったときの相談相手

問 27 あなたは暮らしの問題で困ったときに、誰に相談しますか。【複数回答】

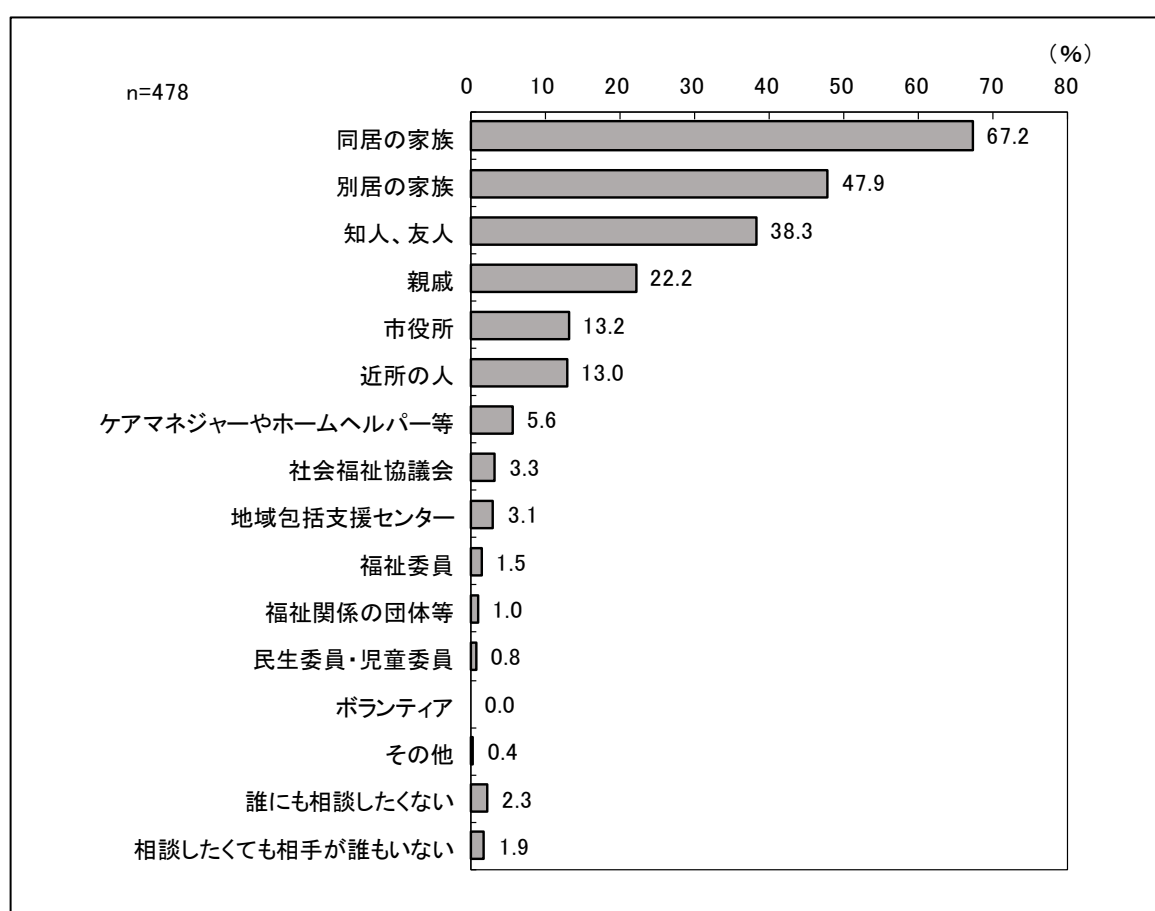


- 「同居の家族」が他を引き離して第1位。

暮らしの問題で困ったときの相談相手は、「同居の家族」(67.2%)が第1位、次いで、「別居の家族」(47.9%)、「知人、友人」(38.3%)となっている。

属性別でみると、ほとんどの層で「同居の家族」が第1位となっている。(年齢別の80歳以上、世帯構成別の単身世帯は、「別居の家族」が第1位)

図表 暮らしの問題で困ったときの相談相手（全体／複数回答）



図表 暮らしの問題で困ったときの相談相手（全体、属性別／複数回答）

（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		同居の家族 67.2	別居の家族 47.9	知人、友人 38.3
性別	男性	同居の家族 69.2	別居の家族 36.0	知人、友人 35.0
	女性	同居の家族 65.7	別居の家族 57.0	知人、友人 41.0
	回答しない	同居の家族／別居の家族 75.0		知人、友人 50.0
年齢	18歳～29歳	同居の家族 65.6	知人、友人 59.4	別居の家族 34.4
	30代	同居の家族 81.4	別居の家族 60.5	知人、友人 58.1
	40代	同居の家族 66.0	知人、友人 54.7	別居の家族 50.9
	50代	同居の家族 75.0	別居の家族 48.6	知人、友人 36.1
	60代	同居の家族 70.2	別居の家族 45.7	知人、友人 37.2
	70代	同居の家族 62.6	別居の家族 40.0	知人、友人 30.4
	80歳以上	別居の家族 59.1	同居の家族 54.5	親戚 27.3
世帯構成	単身世帯	別居の家族 58.1	知人、友人 36.5	親戚 16.2
	夫婦だけの世帯	同居の家族 70.3	別居の家族 57.2	知人、友人 33.1
	親と子どもだけの世帯	同居の家族 83.6	別居の家族 42.1	知人、友人 38.8
	親と子どもと孫の三世帯世帯	同居の家族 82.5	知人、友人 49.2	別居の家族 25.4
	その他	同居の家族／別居の家族 75.0		知人、友人 50.0
居住地区	瑞浪地区	同居の家族 62.1	別居の家族 47.0	知人、友人 40.9
	土岐地区	同居の家族 73.6	別居の家族 43.7	知人、友人 35.6
	明世地区	同居の家族 84.6	別居の家族 57.7	知人、友人 42.3
	稲津町	同居の家族 72.0	知人、友人 52.0	別居の家族 44.0
	陶町	同居の家族 64.1	別居の家族 51.3	知人、友人 28.2
	日吉町	同居の家族 68.2	別居の家族 54.5	親戚 31.8
	釜戸町	同居の家族 66.7	別居の家族 52.4	知人、友人 38.1
	大湫町	同居の家族 75.0	別居の家族 37.5	親戚 25.0

(3) 福祉・保健・年金などに関する窓口の利用

問 28 あなたは、市の窓口のうち、福祉・保健・年金などに関する窓口を利用したことがありますか。



- 「利用したことがある」が5割弱を占める。

福祉・保健・年金などに関する窓口の利用経験をたずねたところ、「利用したことがある」が47.9%、「利用したことがない」が46.7%となっている。

属性別で「利用したことがある」の割合をみると、年齢別の50代以下で5割以下となっており、「利用したことがない」の割合より下回る一方、60代以上で5割を超えており、「利用したことがない」の割合より上回っている。

図表 福祉・保健・年金などに関する窓口の利用

		(%)	利用したことがある	利用したことがない	無回答	n =
性別	全体		47.9	46.7	5.4	478
	男性		47.2	47.7	5.1	214
	女性		48.6	46.2	5.2	251
	回答しない		37.5	50.0	12.5	8
年齢	18歳～29歳		37.5	62.5	0.0	32
	30代		27.9	72.1	0.0	43
	40代		45.3	47.2	7.5	53
	50代		31.9	65.3	2.8	72
	60代		64.9	31.9	3.2	94
	70代		52.2	41.7	6.1	115
	80歳以上		53.0	33.3	13.6	66
世帯構成	単身世帯		50.0	40.5	9.5	74
	夫婦だけの世帯		44.1	51.7	4.1	145
	親と子どもだけの世帯		48.1	48.6	3.3	183
	親と子どもと孫の三世帯世帯		50.8	41.3	7.9	63
	その他		62.5	37.5	0.0	8
居住地区	瑞浪地区		43.9	51.5	4.5	198
	土岐地区		55.2	40.2	4.6	87
	明世地区		46.2	53.8	0.0	26
	稲津町		52.0	42.0	6.0	50
	陶町		41.0	41.0	17.9	39
	日吉町		40.9	54.5	4.5	22
	釜戸町		57.1	38.1	4.8	42
	大湫町		37.5	62.5	0.0	8

(4) 市の窓口は利用しやすかったか

【問 28 で「利用したことがある」と回答した方のみ】

問 28-1 市の窓口は利用しやすかったですか。

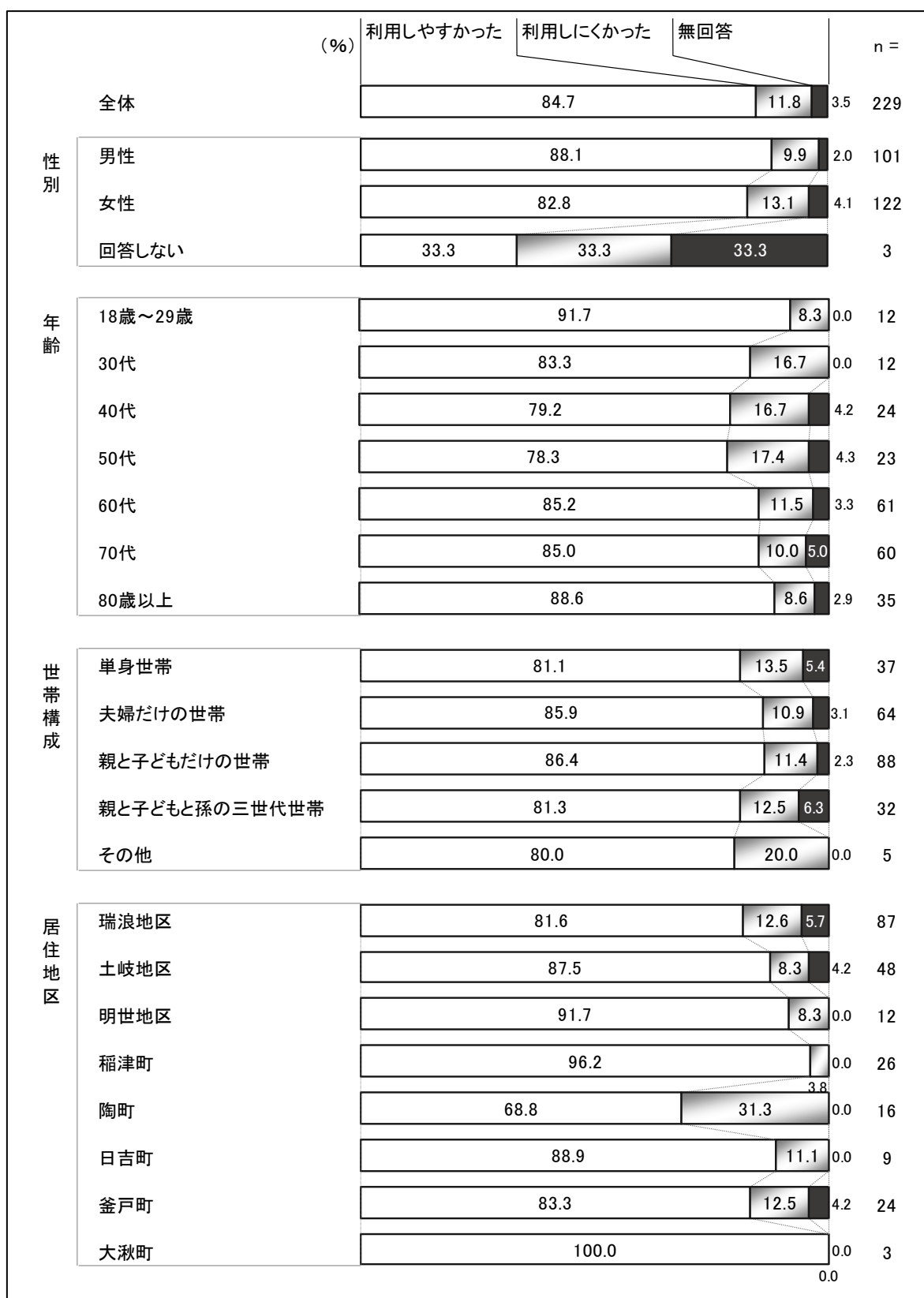


- 「利用しやすかった」が8割台半ばを占める。

問 28 で「利用したことがある」と答えた方（229 名・全体の 47.9%）に、市の窓口は利用しやすかったかどうかたずねたところ、「利用しやすかった」が 84.7%、一方、「利用しにくかった」が 11.8%となっている。

属性別でみると、居住地区別では、陶町で「利用しやすかった」の割合が7割弱と、他の居住地区に比べて低くなっている。

図表 市の窓口は利用しやすかったか



(5) 福祉の相談窓口充実のために重要なこと

問 29 あなたは、福祉の相談窓口充実のために、今後どのようなことが特に重要だと思いますか。【複数回答】

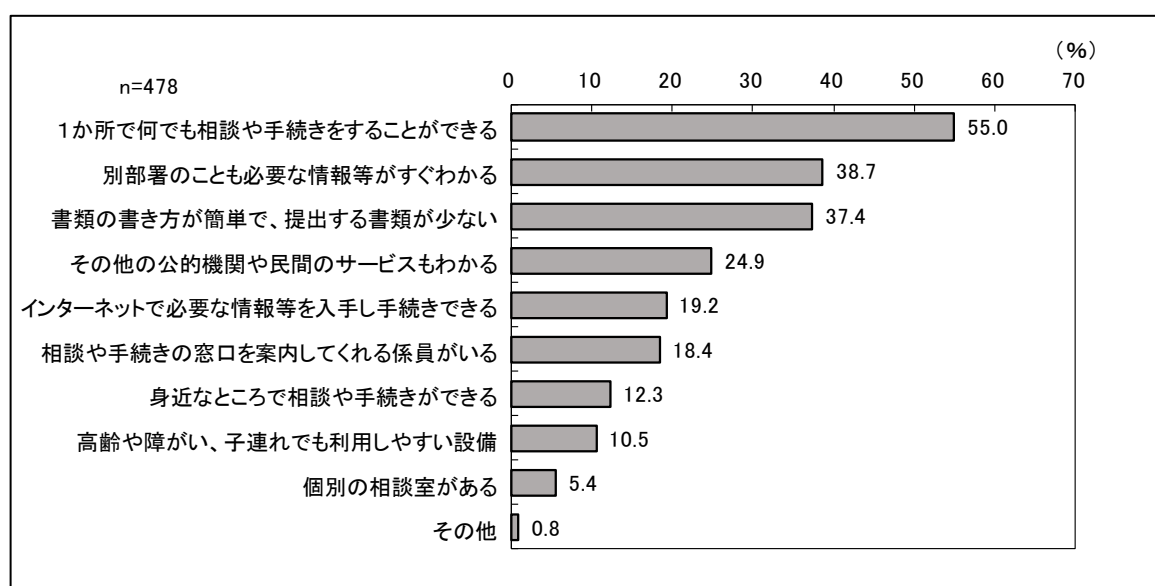


- 「1 か所で何でも相談や手続きをすることができる」が第1位。

福祉の相談窓口充実のために、今後どのようなことが特に重要であるかたずねたところ、「1 か所で何でも相談や手続きをすることができる」(55.0%) が第1位、次いで、「別部署のことも必要な情報等がすぐわかる」(38.7%)、「書類の書き方が簡単で、提出する書類が少ない」(37.4%) となっている。

属性別でみると、ほとんどの層で「1 か所で何でも相談や手続きをすることができる」が第1位となっている。(年齢別の18歳～29歳は、「書類の書き方が簡単で、提出する書類が少ない」が第1位。)

図表 福祉の相談窓口充実のために重要なこと（全体／複数回答）



図表 福祉の相談窓口充実のために重要なこと（全体、属性別／複数回答）
（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		1 か所で何でも相談や手続きを することができる 55.0	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 38.7	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 37.4
性別	男性	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 49.1	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 36.4	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 37.8
	女性	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 59.4	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 41.0	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 50.0
	回答しない	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 62.5	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない／インターネット で必要な情報等を入手し手続きできる 50.0	
年齢	18 歳～29 歳	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 46.9	インターネットで必要な情報等 を入手し手続きできる 40.6	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 34.4
	30 代	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 53.5	インターネットで必要な情報等 を入手し手続きできる 44.2	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 39.5
	40 代	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 60.4	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 37.7	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 35.8
	50 代	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 55.6	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 45.8	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 33.3
	60 代	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 54.3	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 51.1	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 36.2
	70 代	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 57.4	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 40.0	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 34.8
	80 歳以上	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 59.1	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 33.3	相談や手続きの窓口を案内して くれる係員がいる 30.3
世帯構成	単身世帯	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 48.6	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 40.5	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 37.8
	夫婦だけの世帯	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 55.2	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 37.2	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 31.7
	親と子どもだけの 世帯	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 55.2	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 39.3	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 36.6
	親と子どもと孫の 三世帯世帯	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 61.9	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 49.2	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 42.9
	その他	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる／1 か所で何でも相 談や手続きをすることができる 50.0	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 37.5	その他の公的機関や民間のサー ビスもわかる 37.5
居住地区	瑞浪地区	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 51.5	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 38.4	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 34.3
	土岐地区	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 52.9	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 41.4	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 34.5
	明世地区	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 61.5	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 50.0	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 38.5
	稲津町	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 56.0	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 42.0	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 34.0
	陶町	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 48.7	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 41.0	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 35.9
	日吉町	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 72.7	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 50.0	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 31.8
	釜戸町	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 66.7	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる 45.2	書類の書き方が簡単で、提出す る書類が少ない 40.5
	大湫町	1 か所で何でも相談や手続きを することができる 75.0	別部署のことも必要な情報等が すぐわかる／書類の書き方が簡単で、提出 する書類が少ない／インターネットで必要な情報等を入手し手続きできる 25.0	

7 人権・権利擁護について

(1) 虐待等を知った場合の通報義務について

問 30 あなたは、児童や高齢者や障がい児・者への虐待、家庭内暴力を知った場合に、市など公的機関に速やかに通報する義務が市民にあることをご存知でしたか。

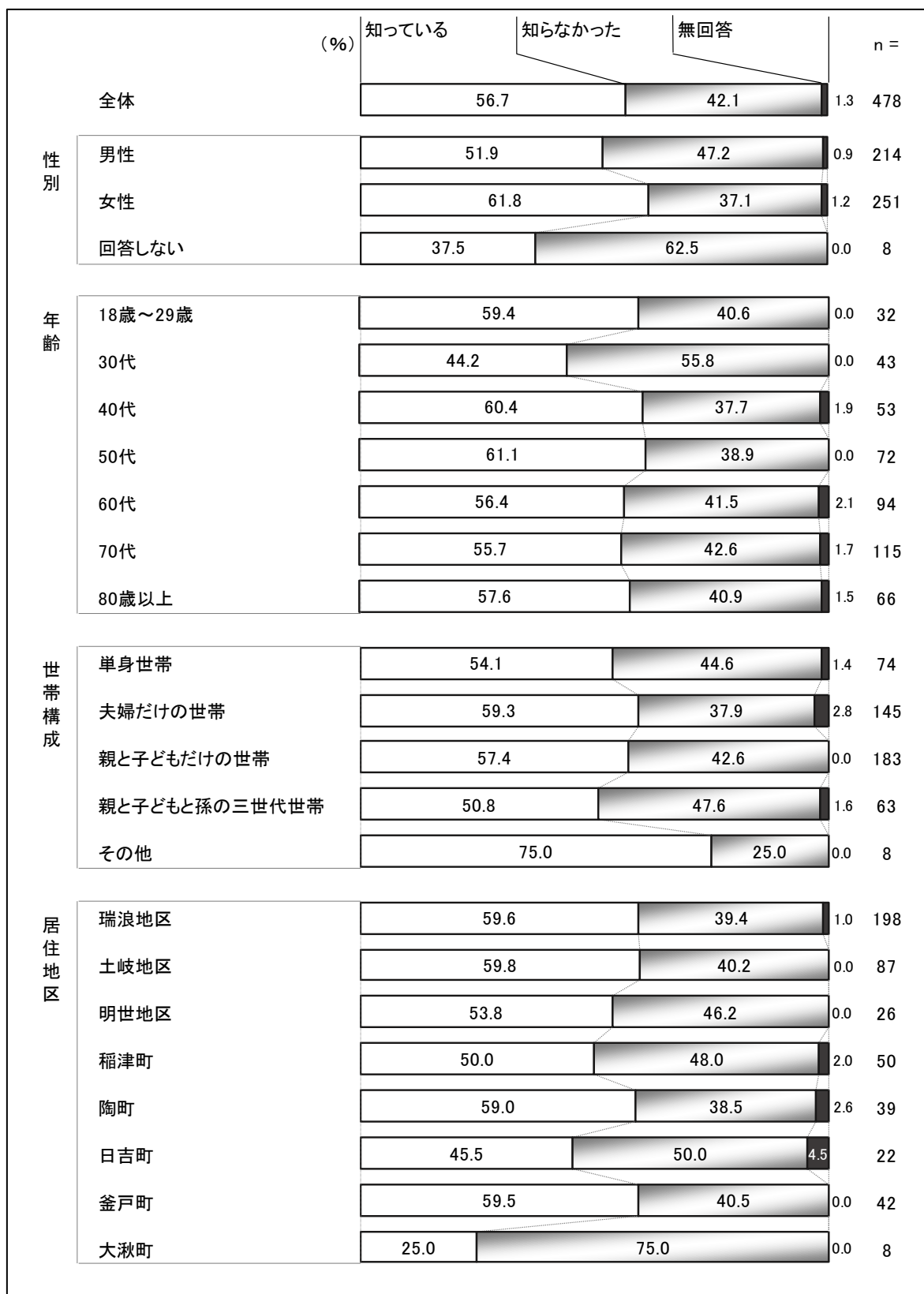


- 「知っている」が5割台半ばを占める。

虐待等を知った場合の通報義務について、「知っている」が56.7%、一方、「知らなかった」が42.1%となっている。

属性別で「知っている」の割合をみると、年齢別の30代では4割台半ばにとどまり、「知らなかった」の割合より下回る。

図表 虐待等を知った場合の通報義務について



(2) 虐待等を知った場合の相談窓口について

問 31 あなたは、児童や高齢者や障がい児・者への虐待や家庭内暴力又はその恐れがあることを知った場合に、相談する窓口を知っていますか。

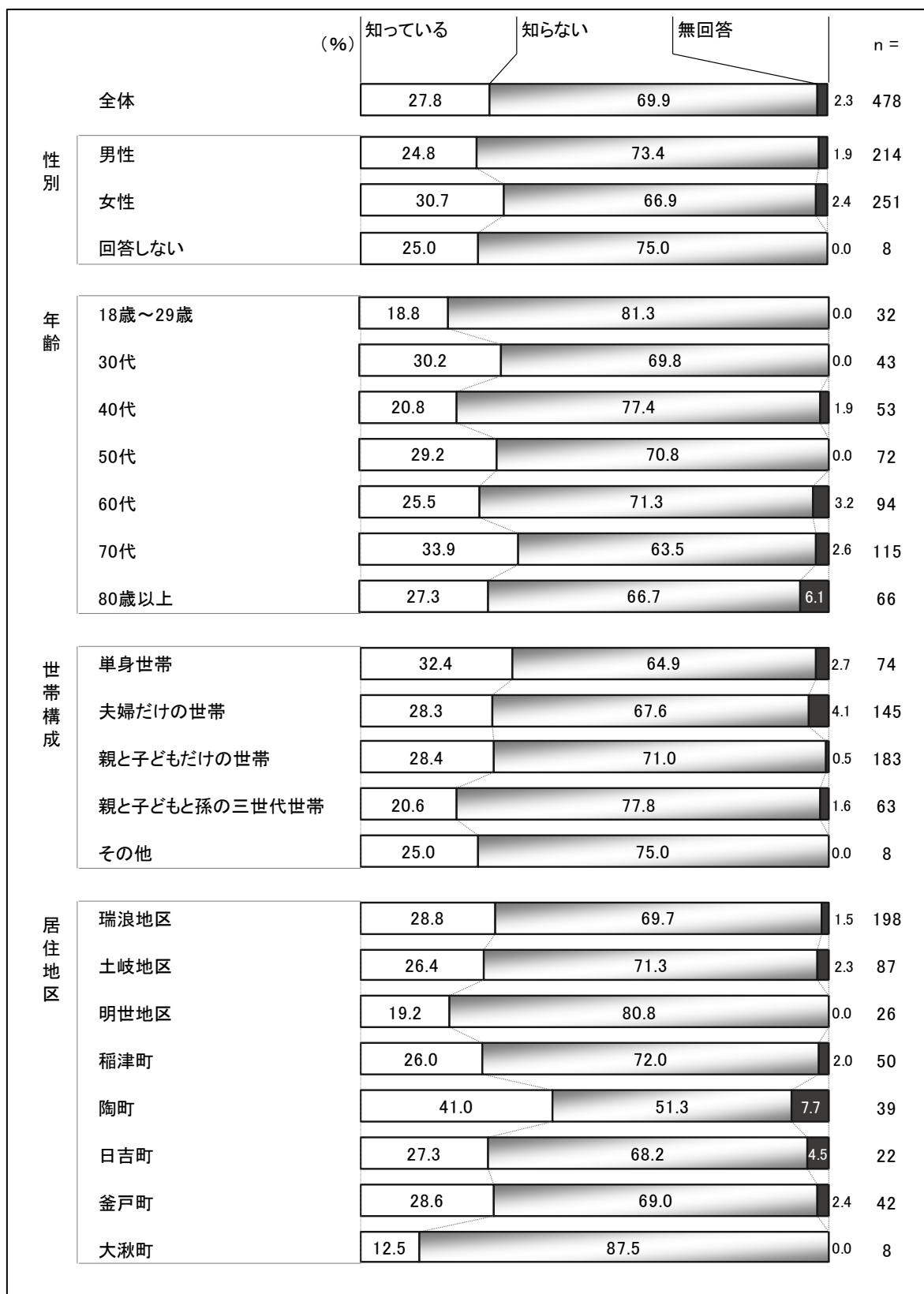


- 「知っている」が3割弱にとどまる。

虐待等を知った場合の相談窓口について、「知っている」が27.8%、一方、「知らなかった」が69.9%となっている。

属性別で「知っている」の割合をみると、年齢別の30代、70代では3割を超え、他の年齢に比べて高くなっている。

図表 虐待等を知った場合の相談窓口について



(3) 成年後見制度について

問 32 あなたは、成年後見制度について、どの程度ご存知ですか。

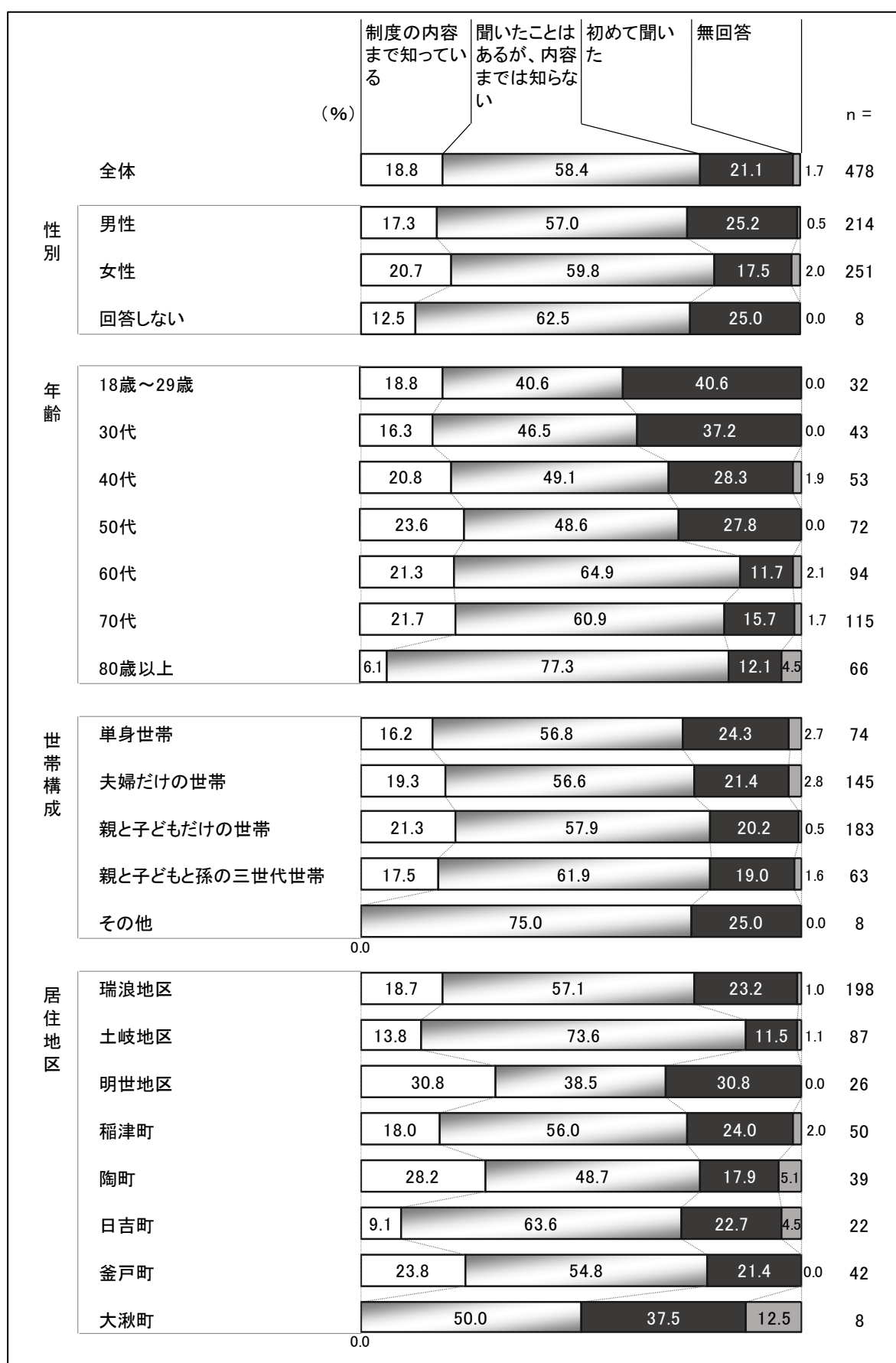


- 「聞いたことはあるが内容までは知らない」が6割弱を占める。

成年後見制度について、「聞いたことはあるが内容までは知らない」(58.4%)が最も高く、次いで、「初めて聞いた」(21.1%)「制度の内容まで知っている」(18.8%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、年齢が高くなるにつれて「初めて聞いた」の割合が低くなっており、とくに60代以上での認知度が高い傾向がみられる。

図表 成年後見制度について



(4) 日常生活自立支援事業について

問 33 あなたは、日常生活自立支援事業について、どの程度ご存知ですか。

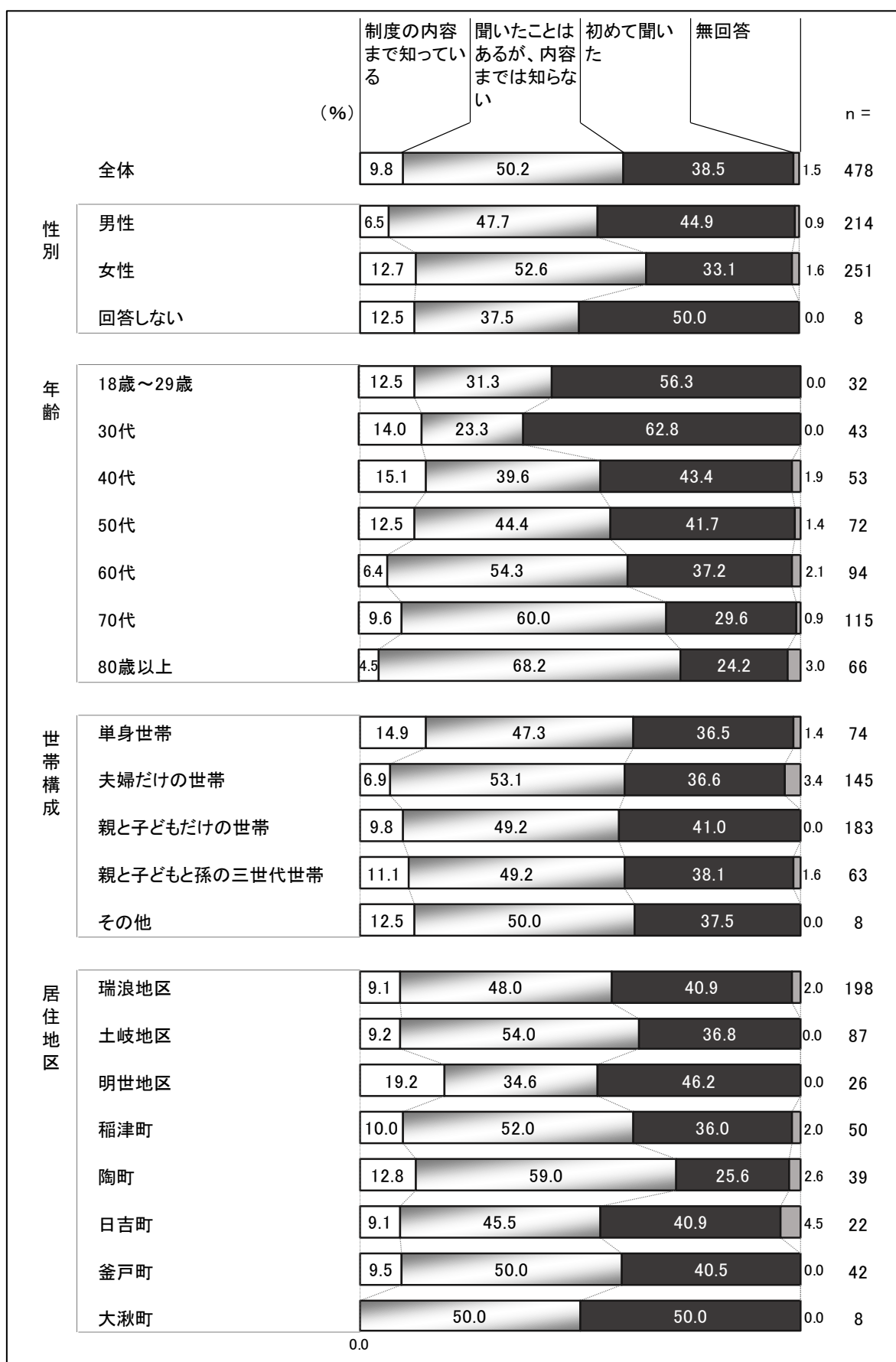


- 「聞いたことはあるが内容までは知らない」が約5割を占める。

日常生活自立支援事業について、「聞いたことはあるが内容までは知らない」(50.2%)が最も高く、次いで、「初めて聞いた」(38.5%)、「制度の内容まで知っている」(9.8%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、年齢が高くなるにつれて「初めて聞いた」の割合が低くなっており、とくに70代以上での認知度が高い傾向がみられる。

図表 日常生活自立支援事業について



8 外出の状況について

(1) 社会からの孤立感について

問 34 あなたは、社会からの孤立感を感じていますか。

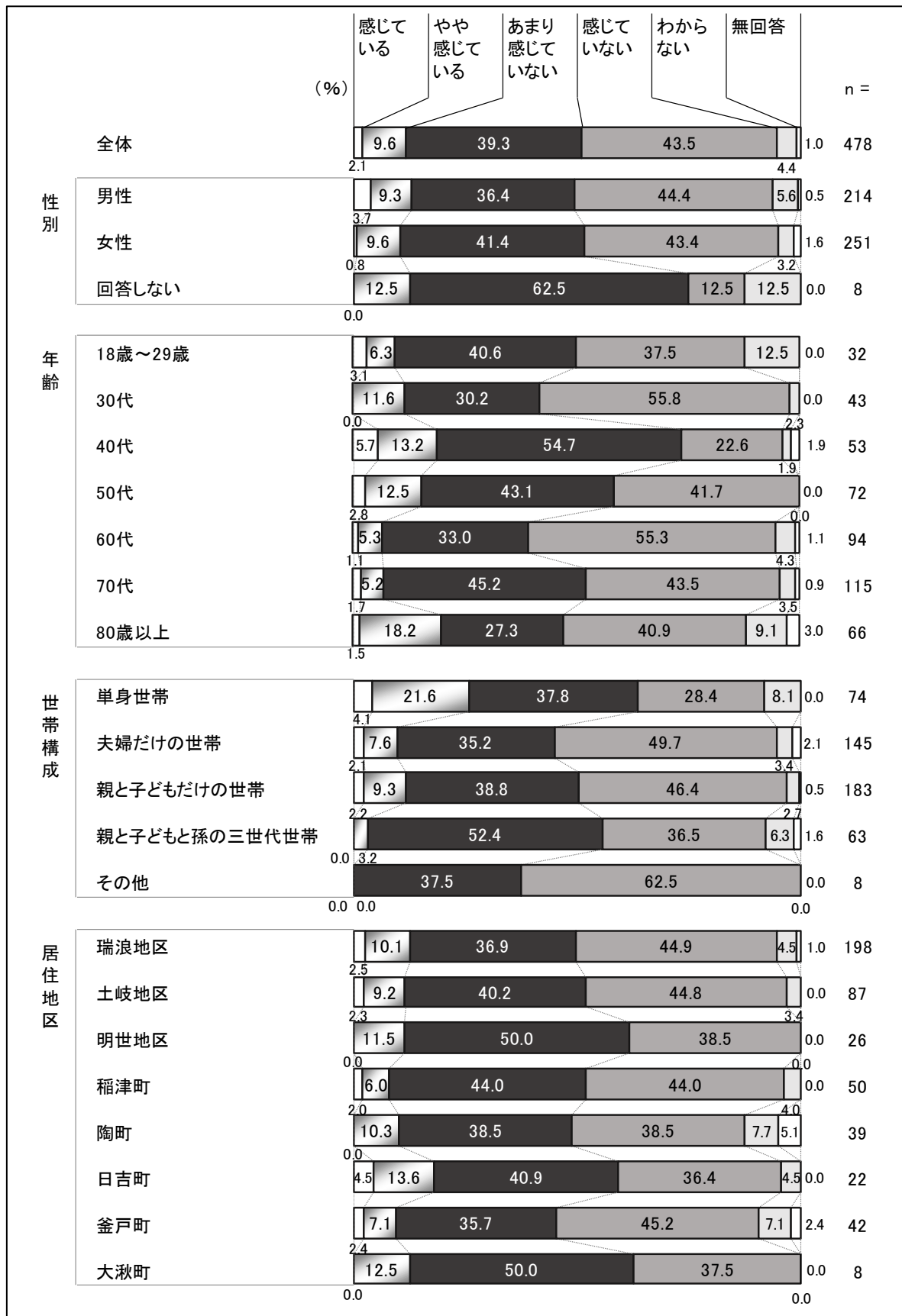


- “感じている”が1割強、“感じていない”が8割強を占める。

社会からの孤立感を感じているかたずねたところ、「感じていない」(43.5%)が最も高く、これに「あまり感じていない」(39.3%)を合わせた“感じていない”は、82.8%となっている。一方、“感じている”(「感じている」(2.1%)と「やや感じている」(9.6%)の合計)は、11.7%となっている。

属性別で“感じている”の割合をみると、年齢別の40代、80歳以上で2割弱、世帯構成別の単身世帯で2割台半ばと比較的高くなっている。

図表 社会からの孤立感について



(2) ふだんの外出状況について

問 35 ふだんの外出状況であてはまるものはどれですか。

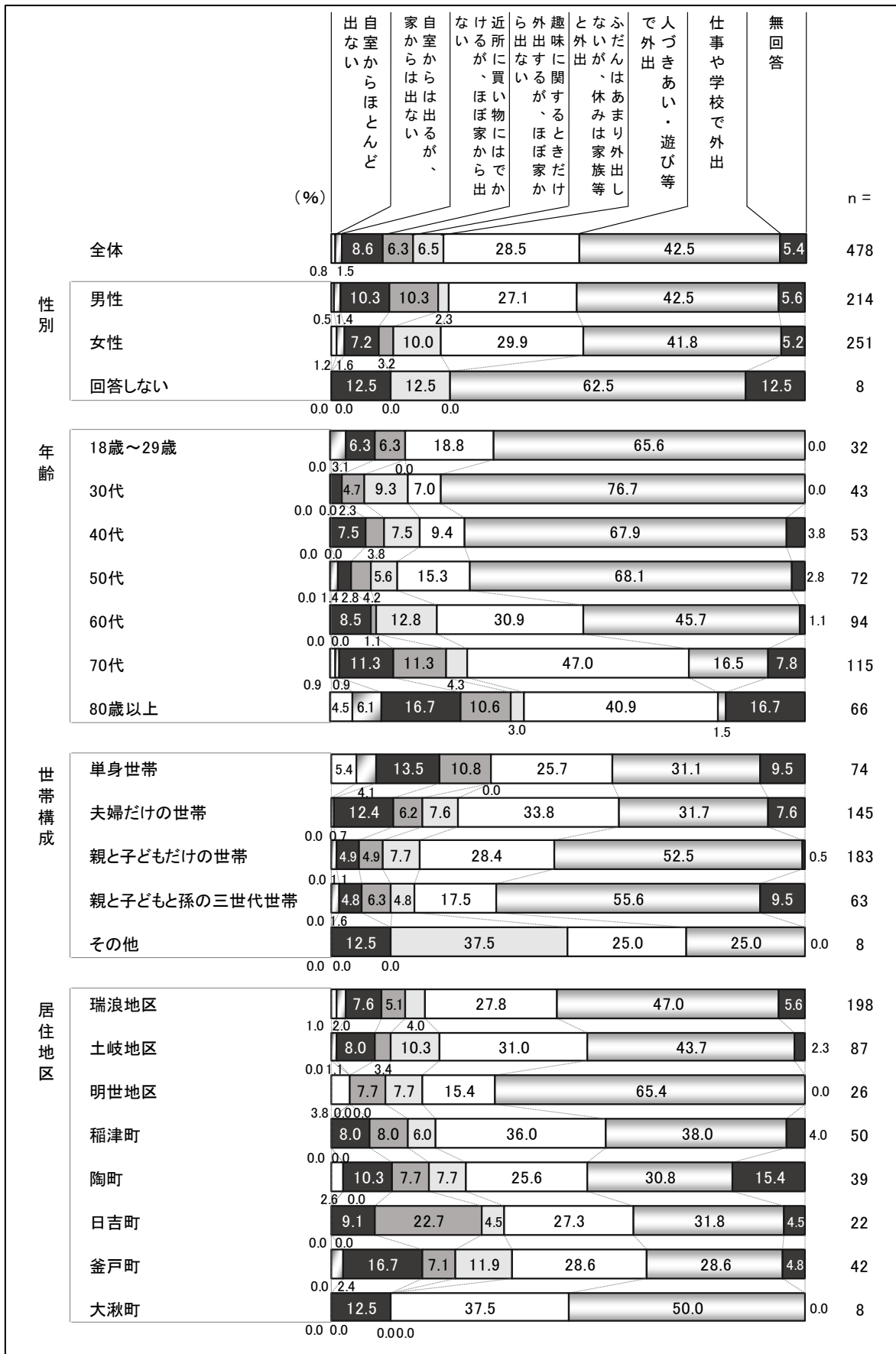


- 「仕事や学校で外出」が4割強を占める。

ふだんの外出状況については、「仕事や学校で外出」(42.5%)が最も高く、次いで、「人づきあい・遊び等で外出」(28.5%)、「近所に買い物にはでかけるが、ほぼ家から出ない」(8.6%)となっている。

属性別でみると、年齢別の60代、70代、80歳以上では「人づきあい・遊び等で外出」の率が他の年齢に比べて高くなっている。

図表 ふだんの外出状況について



(3) その状態はどれくらい続いているか

【問 35 で「自室からほとんど出ない」～「自分の趣味に関する用事るときだけ外出するが、それ以外はほとんど家から出ない」と回答した方のみ】

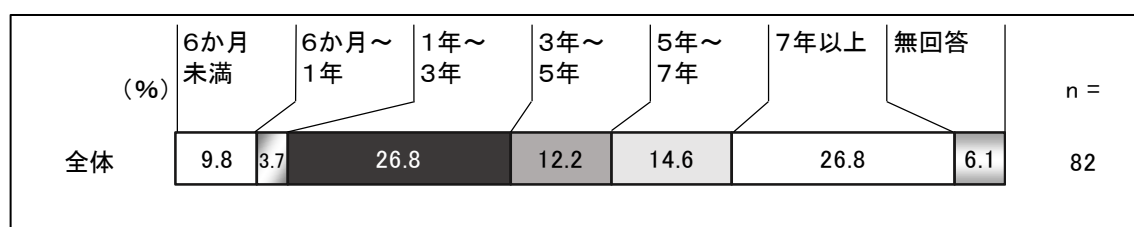
問 35-1 その状態はどれくらい続いていますか。



- 「1年～3年」、「7年以上」が2割台半ばを占める。

問 35 で「自室からほとんど出ない」～「自分の趣味に関する用事るときだけ外出するが、それ以外はほとんど家から出ない」と答えた方（82 名・全体の 17.2%）に、その状態がどれくらい続いているかたずねたところ、「1年～3年」「7年以上」（同率 26.8%）が最も高く、次いで、「5年～7年」（14.6%）となっている。

図表 その状態はどれくらい続いているか



(4) 現在の状態になったきっかけ

【問 35 で「自室からほとんど出ない」～「自分の趣味に関する用事るときだけ外出するが、それ以外はほとんど家から出ない」と回答した方のみ】

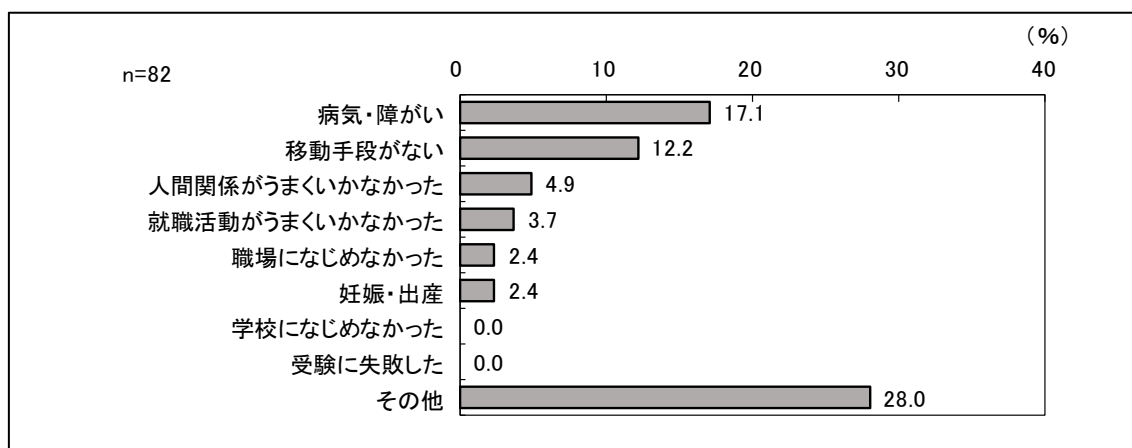
問 32-2 現在の状態になったきっかけは何ですか。【複数回答】



- 「病気・障がい」が2割弱を占める。

現在の状態になったきっかけは、「病気・障がい」（17.1%）が最も高く、次いで、「移動手段がない」（12.2%）、「人間関係がうまくいかなかった」（4.9%）となっている。

図表 現在の状態になったきっかけ



(5) 現在の状態について誰かに相談したか

【問 35 で「自室からほとんど出ない」～「自分の趣味に関する用事するときだけ外出するが、それ以外はほとんど家から出ない」と回答した方のみ】

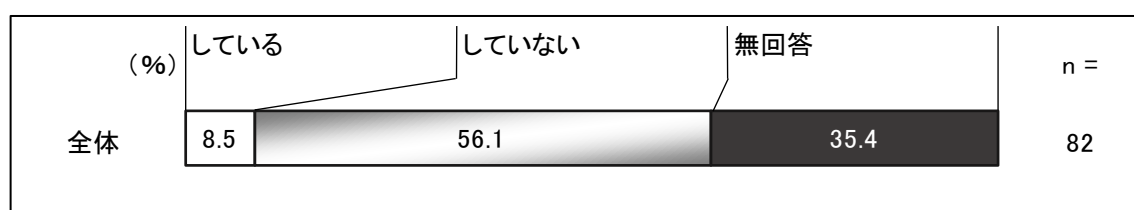
問 35-3 現在の状態について、誰かに相談していますか。



- 「していない」が5割台半ばを占める。

現在の状態について誰かに相談したかどうかたずねたところ、「していない」が56.1%、一方、「している」が8.5%となっている。

図表 現在の状態について誰かに相談したか



(6) 誰かに相談したいか

【問 35-3 で「していない」と回答した方のみ】

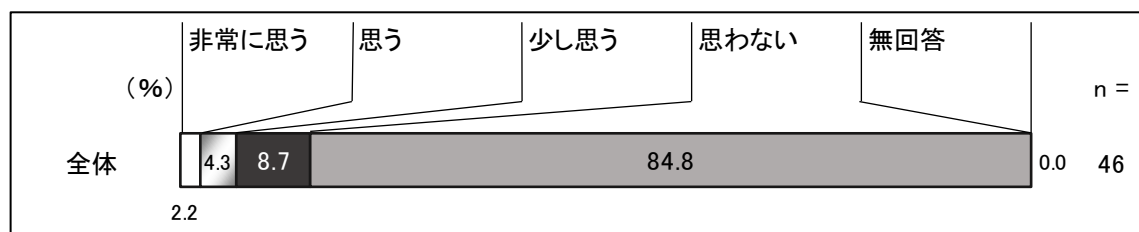
問 35-4 現在の状態について、誰かに相談したいと思いますか。



- 「思わない」が8割台半ばを占める。

問 35-3 で「していない」と答えた方（46名・56.1%）に、誰かに相談したいかどうかたずねたところ、「思わない」が84.8%、一方、「思う」（「非常に思う」（2.2%）、「思う」（4.3%）、「少し思う」（8.7%）の合計）は、15.2%となっている。

図表 誰かに相談したいか



(7) どのような人・機関なら相談したいか

【問 35-4 で「非常に思う」、「思う」、「少し思う」と回答した方のみ】

問 35-5 現在の状態について、どのような人・機関なら、相談したいと思いますか。

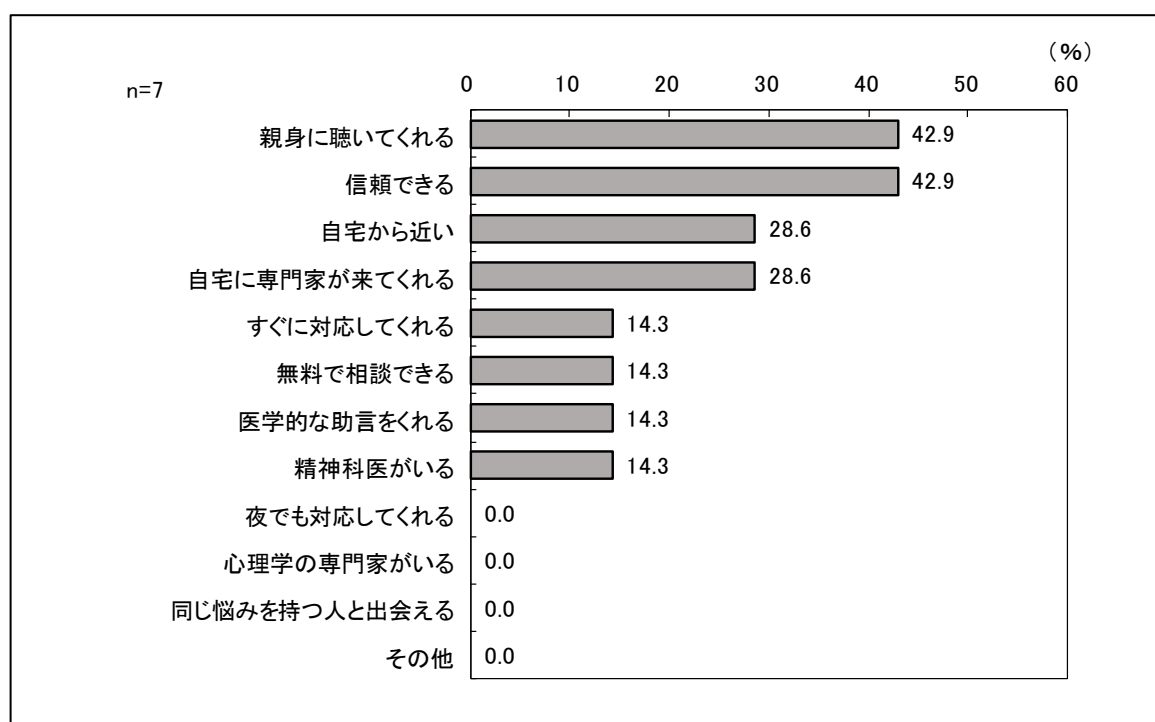
【複数回答】



- 「親身に聴いてくれる」及び「信頼できる」が2大要望。

問 35-4 で「非常に思う」、「思う」、「少し思う」と答えた方（7名・15.2%）に、どのような人・機関なら相談したいかたずねたところ、「親身に聴いてくれる」「信頼できる」（同率 42.9%）が第1位、次いで、「自宅から近い」「自宅に専門家が来てくれる」（同率 28.6%）となっている。

図表 どのような人・機関なら相談したいか（全体／複数回答）



(8) 相談したくないと思う理由

【問 35-4 で「思わない」と回答した方のみ】

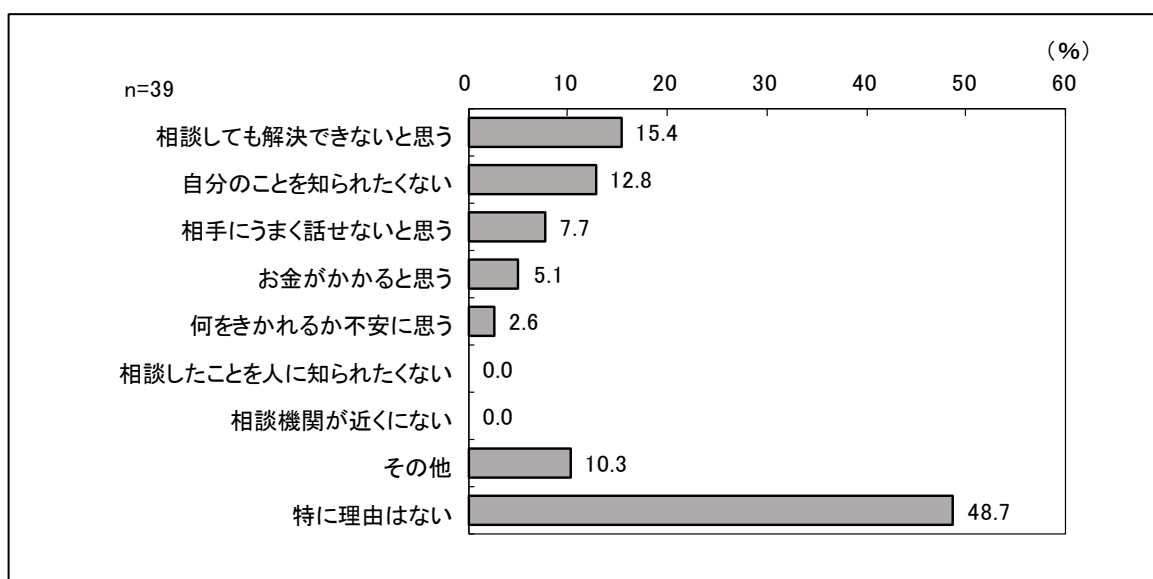
問 35-6 相談したくないと思う理由は何ですか。【複数回答】



- 「相談しても解決できないと思う」が第1位。

問 35-4 で「思わない」と答えた方（39 名・84.8%）に、相談したくないと思う理由をたずねたところ、「相談しても解決できないと思う」（15.4%）が第1位、次いで、「自分のことを知られたくない」（12.8%）となっている。なお、「特に理由はない」は48.7%となっている。

図表 相談したくないと思う理由（全体／複数回答）



9 いのちの支え合いについて

(1) 地域の見守り体制について

問 36 あなたは、お住いの地域の見守り体制ができていますか。



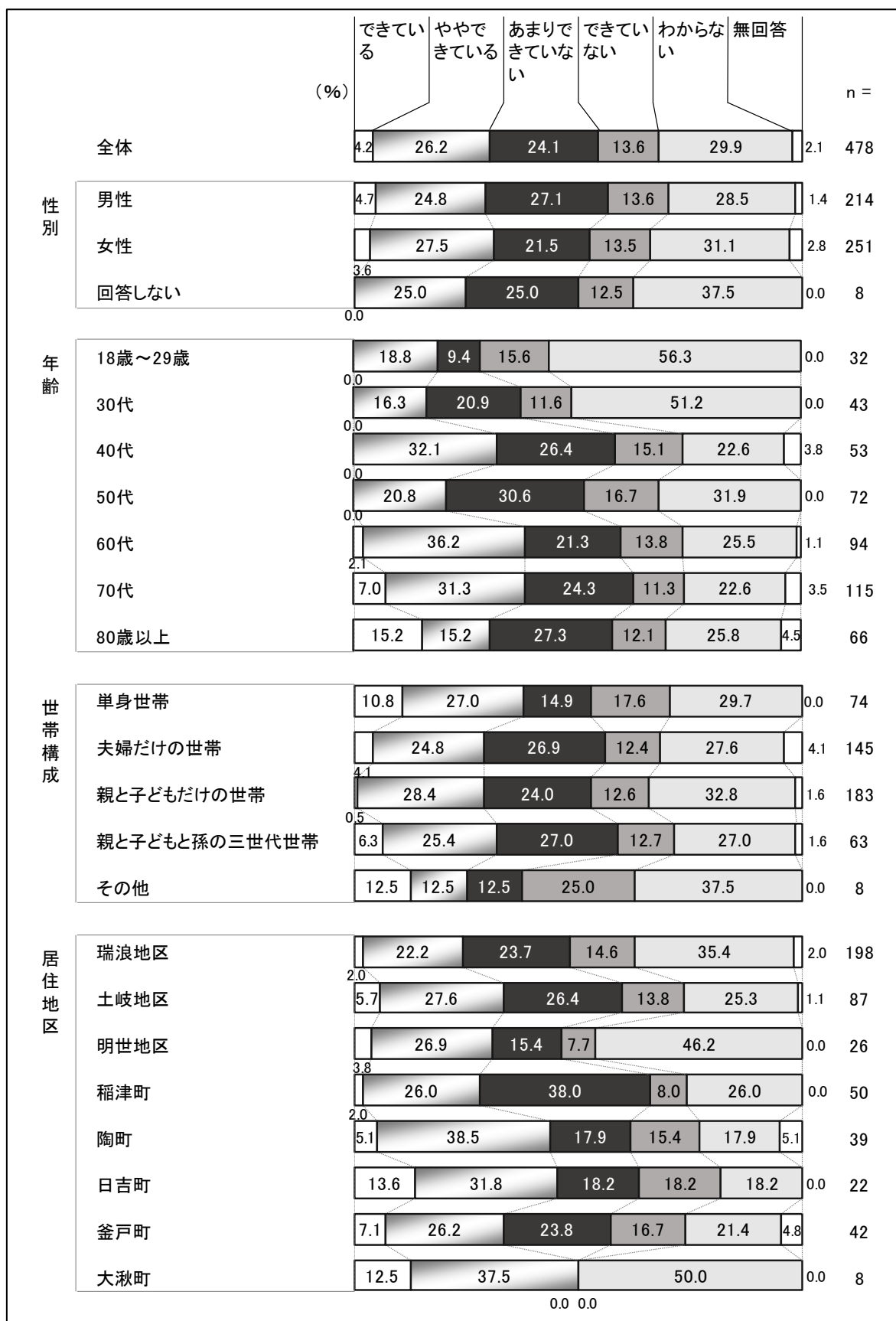
- “できている” が約3割を占める。

地域の見守り体制ができていないかたずねたところ、「できている」(4.2%)と「ややできている」を合わせた“できている”が30.4%、一方、“できていない”(「あまりできていない」(24.1%)と「できていない」(13.6%)の合計)は、37.7%となっている。

属性別で“できている”の割合をみると、年齢別の60代、70代で4割弱と他の年齢層に比べて高くなっている。

居住地区別では、明世地区、陶町、日吉町、大湫町で“できている”の割合が“できていない”の割合を上回っている。

図表 地域の見守り体制について



(2) 孤立死について

問 37 あなたは、「孤立死」について見聞きしたことがありますか。

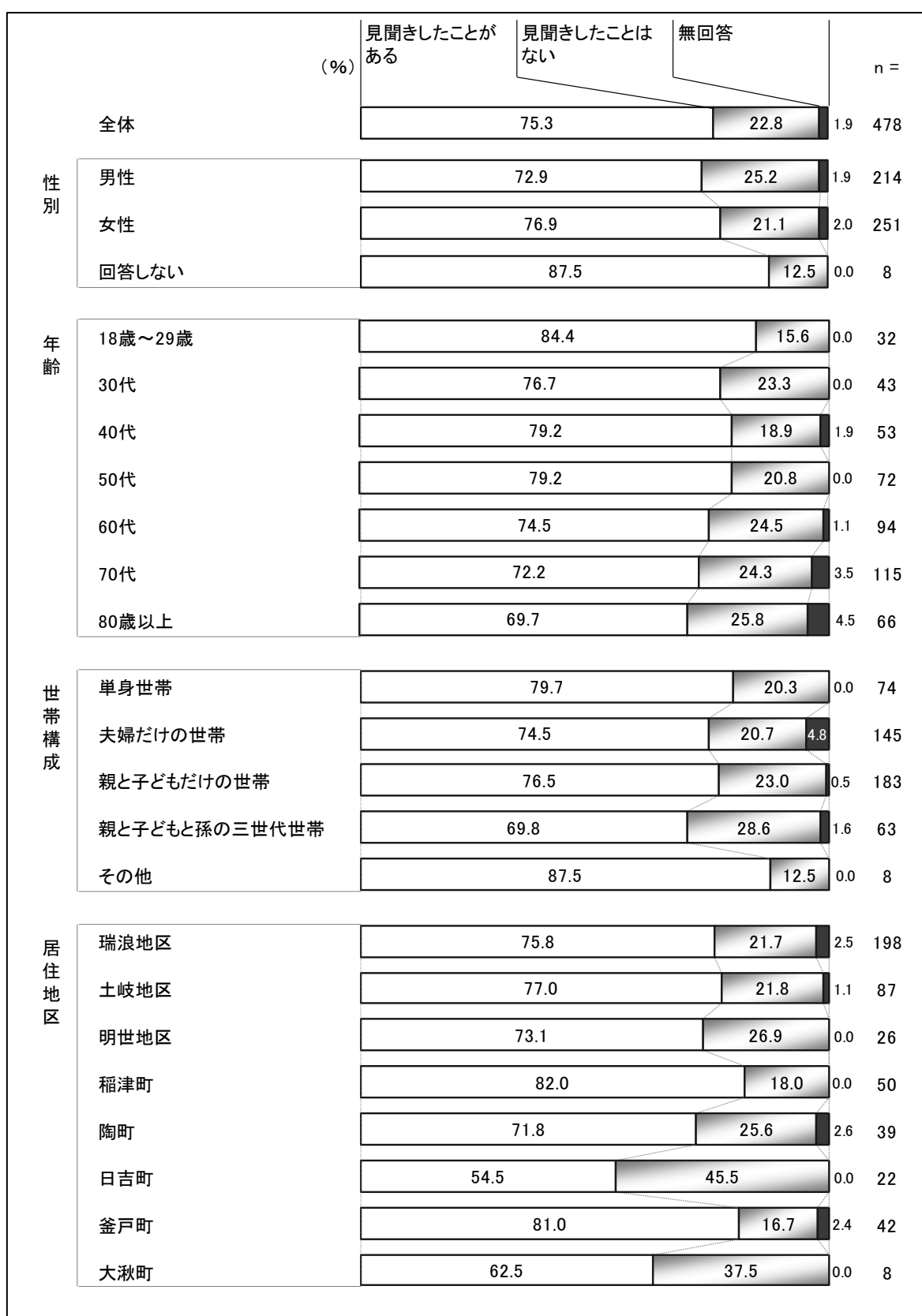


- 「見聞きしたことがある」が7割台半ばを占める。

孤立死について、「見聞きしたことがある」が75.3%、一方、「見聞きしたことはない」が22.8%となっている。

属性別でみると、年齢別では、年齢が高くなるにつれて「見聞きしたことがある」の割合が若干低くなる傾向がみられる。

図表 孤立死について



(3) 地域の中で安心して暮らすために必要なこと

問 38 あなたは、地域の中で安心して暮らすためにどのようなことが必要だと思いますか。
【複数回答】

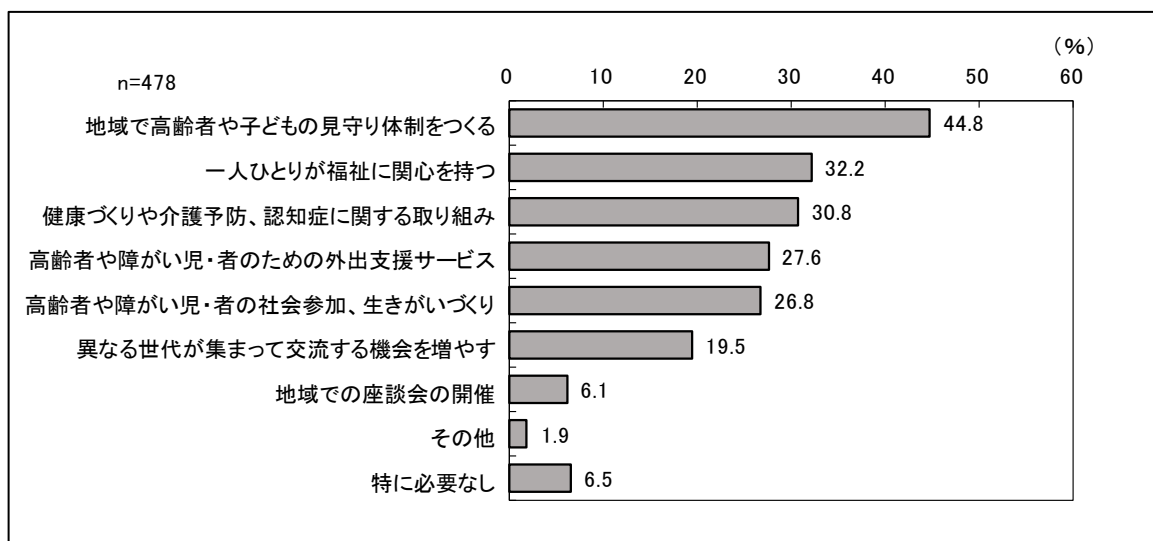


- 「地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる」が第1位、「一人ひとりが福祉に関心を持つ」、「健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み」が続く。

地域で安心して暮らすために必要なことについては、「地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる」(44.8%)が第1位、次いで、「一人ひとりが福祉に関心を持つ」(32.2%)、「健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み」(30.8%)となっている。

属性別でみると、ほとんどの層で「地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる」が第1位となっている。(世帯構成別のその他は「一人ひとりが福祉に関心を持つ」、居住地区別の大湫町は「高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス」が第1位。)

図表 地域の中で安心して暮らすために必要なこと（全体／複数回答）



図表 地域の中で安心して暮らすために必要なこと（全体、属性別／複数回答）
（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 44.8	一人ひとりが福祉に関心を持つ 32.2	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 30.8
性別	男性	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 41.6	一人ひとりが福祉に関心を持つ 29.4	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 29.0
	女性	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 47.4	一人ひとりが福祉に関心を持つ 35.1	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 32.3
	回答しない	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 50.0	高齢者や障がい児・者の社会参加、生きがいつくり 37.5	高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス／健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み／一人ひとりが福祉に関心を持つ 25.0
年齢	18歳～29歳	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 53.1	一人ひとりが福祉に関心を持つ 40.6	高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス／高齢者や障がい児・者の社会参加、生きがいつくり／健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 28.1
	30代	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 46.5	高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス／高齢者や障がい児・者の社会参加、生きがいつくり 27.9	
	40代	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 45.3	高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス／高齢者や障がい児・者の社会参加、生きがいつくり 37.7	
	50代	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 47.2	一人ひとりが福祉に関心を持つ 40.3	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 33.3
	60代	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 46.8	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 34.0	高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス／高齢者や障がい児・者の社会参加、生きがいつくり 27.7
	70代	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 43.5	一人ひとりが福祉に関心を持つ 34.8	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 27.0
	80歳以上	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 36.4	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 34.8	一人ひとりが福祉に関心を持つ 33.3
世帯構成	単身世帯	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 48.6	一人ひとりが福祉に関心を持つ 32.4	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 29.7
	夫婦だけの世帯	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 42.1	一人ひとりが福祉に関心を持つ 31.7	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 29.0
	親と子どもだけの世帯	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 45.4	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 37.2	高齢者や障がい児・者の社会参加、生きがいつくり 31.1
	親と子どもと孫の三世帯世帯	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 47.6	一人ひとりが福祉に関心を持つ 36.5	高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス 30.2
	その他	一人ひとりが福祉に関心を持つ 50.0	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる／高齢者や障がい児・者の社会参加、生きがいつくり 37.5	

図表 地域の中で安心して暮らすために必要なこと（全体、属性別／複数回答）
（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
居住地区	瑞浪地区	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 46.0	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 31.3	一人ひとりが福祉に関心を持つ 30.3
	土岐地区	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 47.1	高齢者や障がい児・者の社会参加、生きがいづくり 34.5	高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス／一人ひとりが福祉に関心を持つ 33.3
	明世地区	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる／一人ひとりが福祉に関心を持つ 50.0		異なる世代が集まって交流する機会を増やす／高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス／健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 23.1
	稲津町	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 46.0	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み 42.0	高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス 36.0
	陶町	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 41.0	一人ひとりが福祉に関心を持つ 33.3	高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス／高齢者や障がい児・者の社会参加、生きがいづくり 23.1
	日吉町	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 45.5	健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み／一人ひとりが福祉に関心を持つ 31.8	
	釜戸町	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる 40.5	一人ひとりが福祉に関心を持つ 33.3	高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス／高齢者や障がい児・者の社会参加、生きがいづくり 31.0
	大湫町	高齢者や障がい児・者のための外出支援サービス 75.0	一人ひとりが福祉に関心を持つ 50.0	地域で高齢者や子どもの見守り体制をつくる／健康づくりや介護予防、認知症に関する取り組み／地域での座談会の開催 25.0

(4) 多様性の受容について

問 39 あなたは、性別・世代・国籍・障がいなどを超えて、自分とは異なる様々な特徴を持つ人を受け入れて、自然に接することができますか。

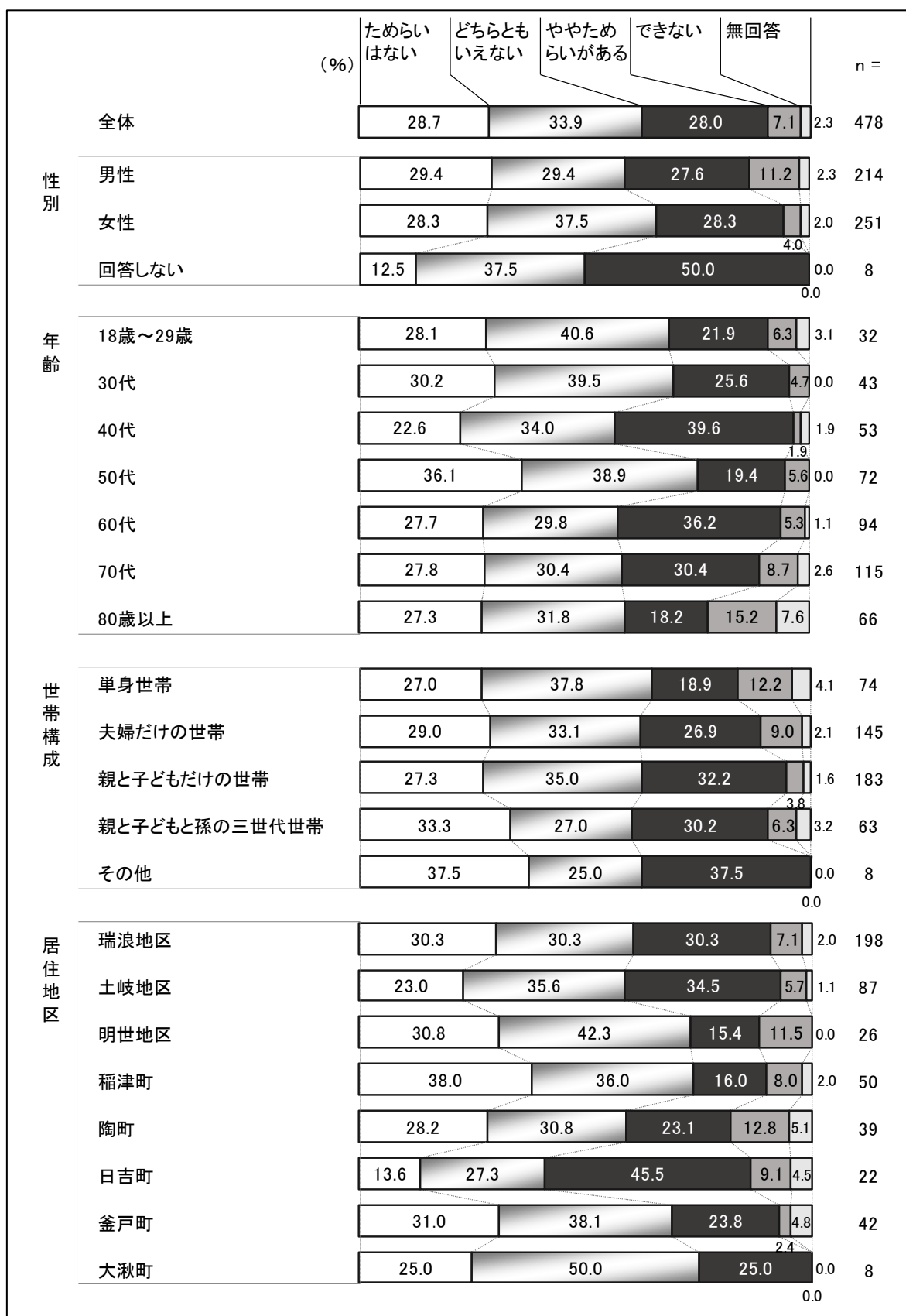


- 「ためらいはない」は3割弱を占める。

性別・世代・国籍・障がいなどを超えて、自分とは異なる様々な特徴を持つ人を受け入れて、自然に接することができるかどうかたずねたところ、「どちらともいえない」(33.9%)が最も高く、次いで、「ためらいはない」(28.7%)、「ややためらいがある」(28.0%)となっている。

属性別でみると、年齢別では50代で「ためらいはない」の割合が3割台半ばと他の年齢層に比べて高くなっている。一方、40代で「ややためらいがある」の割合が約4割と他の年齢層に比べて高くなっている。

図表 多様性の受容について



10 瑞浪市社会福祉協議会について

(1) 社会福祉協議会の認知状況

問 40 あなたは、社会福祉協議会を知っていますか。

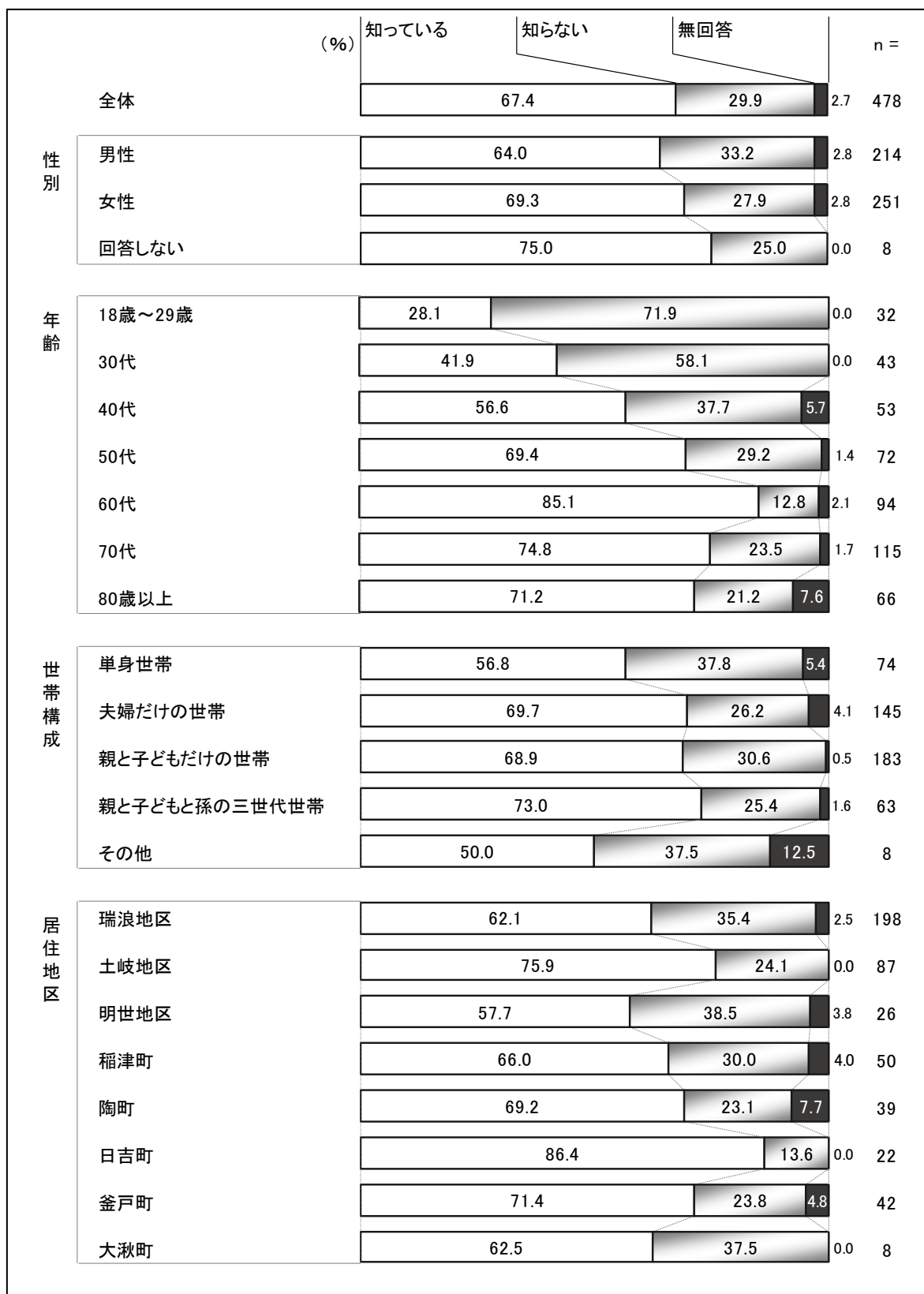


- 「知っている」が7割弱を占める。

社会福祉協議会の認知状況は、「知っている」が67.4%、一方、「知らない」が29.9%となっている。

属性別で「知っている」の割合をみると、年齢別の60代以上では7割を超えるのに対し、18～29歳では約3割にとどまるなど、若年層の認知度が低い傾向がみられる。

図表 社会福祉協議会の認知状況



(2) 知っている社会福祉協議会の活動

【問 40 で「知っている」と回答した方のみ】

問 40-1 あなたが知っている瑞浪市社会福祉協議会の活動は次のうちのどれですか。【複数回答】

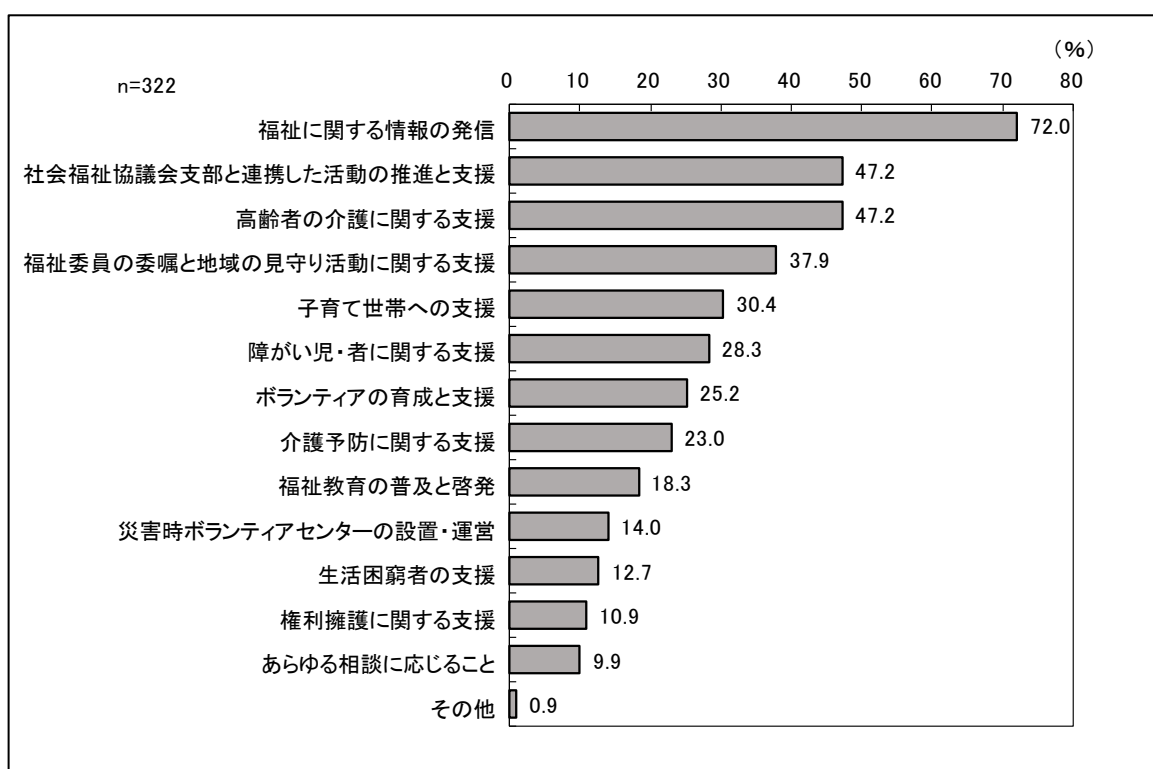


- 「福祉に関する情報の発信」が他を引き離して第 1 位。

問 40 で「知っている」と答えた方（322 名・全体の 67.4%）に、社会福祉協議会の活動のうち知っている活動をたずねたところ、「福祉に関する情報の発信」（72.0%）が第 1 位、次いで、「社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援」「高齢者の介護に関する支援」（同率 47.2%）、「福祉委員の委嘱と地域の見守り活動に関する支援」（37.9%）となっている。

属性別でみると、年齢別では、18～29 歳で「社会福祉協議会支部と連携した地域福祉活動の推進と支援」、30 代で「子育て世帯への支援」、40 代以上で「社協だよりなど福祉に関する情報の発信」がそれぞれ第 1 位となっている。

図表 知っている社会福祉協議会の活動（全体／複数回答）



図表 知っている社会福祉協議会の活動（全体、属性別／複数回答）

（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		福祉に関する情報の発信 72.0	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援／高齢者の介護に関する支援 47.2	
性別	男性	福祉に関する情報の発信 69.3	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 51.1	高齢者の介護に関する支援 46.0
	女性	福祉に関する情報の発信 76.4	高齢者の介護に関する支援 49.4	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 41.4
	回答しない	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 83.3	福祉に関する情報の発信／高齢者の介護に関する支援／障がい児・者に関する支援 33.3	
年齢	18歳～29歳	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 66.7	ボランティアの育成と支援／福祉教育の普及と啓発／子育て世帯への支援 55.6	
	30代	子育て世帯への支援 66.7	福祉に関する情報の発信 44.4	障がい児・者に関する支援 38.9
	40代	福祉に関する情報の発信 63.3	子育て世帯への支援 40.0	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援／ボランティアの育成と支援／高齢者の介護に関する支援 36.7
	50代	福祉に関する情報の発信 70.0	高齢者の介護に関する支援 56.0	子育て世帯への支援 50.0
	60代	福祉に関する情報の発信 77.5	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 42.5	高齢者の介護に関する支援 41.3
	70代	福祉に関する情報の発信 81.4	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 52.3	高齢者の介護に関する支援 50.0
	80歳以上	福祉に関する情報の発信 70.2	高齢者の介護に関する支援 59.6	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 51.1
世帯構成	単身世帯	福祉に関する情報の発信 66.7	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 47.6	高齢者の介護に関する支援 45.2
	夫婦だけの世帯	福祉に関する情報の発信 75.2	高齢者の介護に関する支援 49.5	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 48.5
	親と子どもだけの世帯	福祉に関する情報の発信 72.2	高齢者の介護に関する支援 50.0	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 49.2
	親と子どもと孫の三世帯世帯	福祉に関する情報の発信 67.4	福祉委員の委嘱と地域の見守り活動に関する支援 43.5	高齢者の介護に関する支援 39.1
	その他	福祉に関する情報の発信 100.0	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 75.0	福祉委員の委嘱と地域の見守り活動に関する支援／ボランティアの育成と支援／高齢者の介護に関する支援／子育て世帯への支援 25.0

図表 知っている社会福祉協議会の活動（全体、属性別／複数回答）

（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
居住地区	瑞浪地区	福祉に関する情報の発信 75.6	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 49.6	高齢者の介護に関する支援 47.2
	土岐地区	福祉に関する情報の発信 71.2	高齢者の介護に関する支援 51.5	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 39.4
	明世地区	福祉に関する情報の発信 86.7	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 60.0	高齢者の介護に関する支援／子育て世帯への支援 33.3
	稲津町	福祉に関する情報の発信 75.8	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援／福祉委員の委嘱と地域の見守り活動に関する支援 48.5	
	陶町	福祉に関する情報の発信 70.4	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 55.6	福祉委員の委嘱と地域の見守り活動に関する支援 44.4
	日吉町	高齢者の介護に関する支援 68.4	福祉に関する情報の発信 63.2	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 42.1
	釜戸町	福祉に関する情報の発信／高齢者の介護に関する支援 60.0		介護予防に関する支援／障がい児・者に関する支援 40.0
	大湫町	社会福祉協議会支部と連携した活動の推進と支援 80.0	福祉に関する情報の発信 60.0	福祉委員の委嘱と地域の見守り活動に関する支援／災害時ボランティアセンターの設置・運営 40.0

(3) 社会福祉協議会の利用状況

問 41 あなたは、社会福祉協議会を利用したことがありますか。



- 「利用したことがない」が約7割を占める。

社会福祉協議会の利用状況は、「利用したことがない」が70.5%、一方、「利用したことがある」が24.3%となっている。

属性別で「利用したことがある」の割合をみると、年齢別の60代では4割弱と他の年齢層に比べて高くなっている。

図表 社会福祉協議会の利用状況

		(%)	利用したことがある	利用したことがない	無回答	n =
性別	全体		24.3	70.5	5.2	478
	男性		22.0	72.9	5.1	214
	女性		25.5	68.9	5.6	251
	回答しない		12.5	87.5	0.0	8
年齢	18歳～29歳		6.3	93.8	0.0	32
	30代		20.9	79.1	0.0	43
	40代		17.0	77.4	5.7	53
	50代		15.3	81.9	2.8	72
	60代		37.2	60.6	2.1	94
	70代		28.7	65.2	6.1	115
	80歳以上		22.7	60.6	16.7	66
世帯構成	単身世帯		21.6	70.3	8.1	74
	夫婦だけの世帯		20.7	73.8	5.5	145
	親と子どもだけの世帯		26.2	70.5	3.3	183
	親と子どもと孫の三世帯世帯		28.6	63.5	7.9	63
	その他		25.0	75.0	0.0	8
居住地区	瑞浪地区		23.2	70.7	6.1	198
	土岐地区		25.3	73.6	1.1	87
	明世地区		19.2	76.9	3.8	26
	稲津町		22.0	72.0	6.0	50
	陶町		23.1	66.7	10.3	39
	日吉町		31.8	68.2	0.0	22
	釜戸町		23.8	71.4	4.8	42
	大湫町		50.0	37.5	12.5	8

(4) どのようなことで利用したか

【問 41 で「利用したことがある」と回答した方のみ】

問 41-1 どのようなことで利用されましたか。【複数回答】

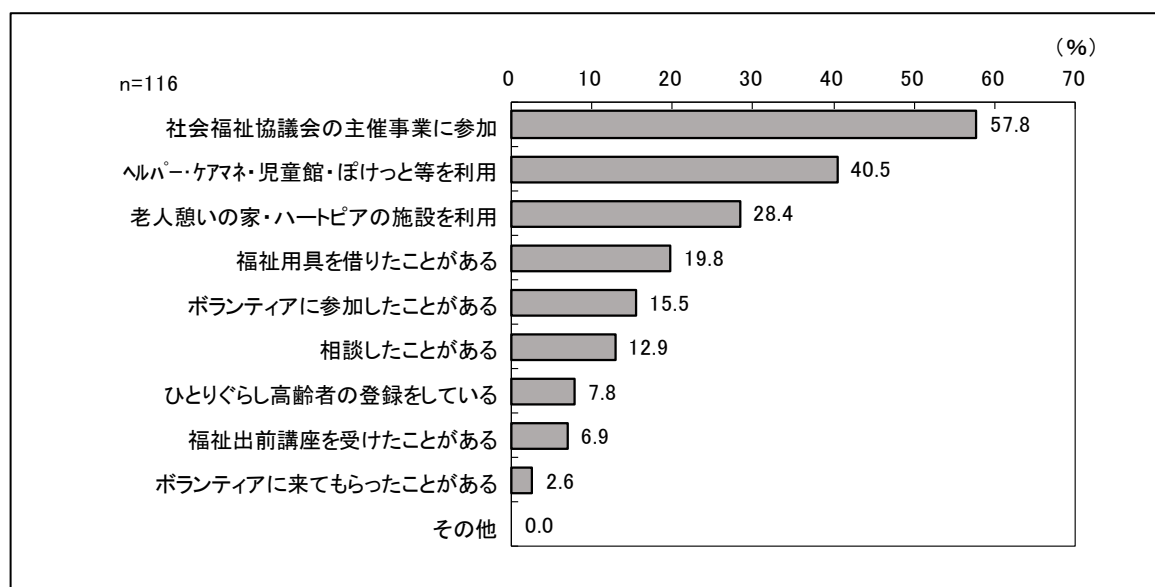


- 「社会福祉協議会の主催事業に参加」が第 1 位。

問 41 で「利用したことがある」と答えた方（116 名・全体の 24.3%）に、どのようなことで利用したかたずねたところ、「社会福祉協議会の主催事業に参加」（57.8%）が第 1 位、次いで、「ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぼけっと等を利用」（40.5%）、「老人憩いの家・ハートピアの施設を利用」（28.4%）となっている。

属性別でみると、ほとんどの層で「社会福祉協議会の主催事業に参加」が第 1 位となっている。（年齢別の 18 歳～29 歳では「老人憩いの家・ハートピアの施設を利用」、年齢別の 40 代、50 代、居住地区別の日吉町では「ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぼけっと等を利用」が第 1 位）

図表 どのようなことで利用したか（全体／複数回答）



図表 どのようなことで利用したか（全体、属性別／複数回答）

（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		社会福祉協議会の主催事業に参加 57.8	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 40.5	老人憩いの家・ハートピアの施設を利用 28.4
性別	男性	社会福祉協議会の主催事業に参加 61.7	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 29.8	老人憩いの家・ハートピアの施設を利用 27.7
	女性	社会福祉協議会の主催事業に参加 56.3	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 46.9	老人憩いの家・ハートピアの施設を利用 31.3
	回答しない	社会福祉協議会の主催事業に参加／ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 100.0		
年齢	18歳～29歳	老人憩いの家・ハートピアの施設を利用 100.0	社会福祉協議会の主催事業に参加／ボランティアに参加したことがある 50.0	
	30代	社会福祉協議会の主催事業に参加 77.8	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 44.4	老人憩いの家・ハートピアの施設を利用 22.2
	40代	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 66.7	社会福祉協議会の主催事業に参加 44.4	相談したことがある 22.2
	50代	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 54.5	社会福祉協議会の主催事業に参加 45.5	老人憩いの家・ハートピアの施設を利用／相談したことがある／ボランティアに参加したことがある 18.2
	60代	社会福祉協議会の主催事業に参加 57.1	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 45.7	福祉用具を借りたことがある 25.7
	70代	社会福祉協議会の主催事業に参加 66.7	老人憩いの家・ハートピアの施設を利用 42.4	ボランティアに参加したことがある 33.3
	80歳以上	社会福祉協議会の主催事業に参加 53.3	福祉用具を借りたことがある 40.0	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 33.3
世帯構成	単身世帯	社会福祉協議会の主催事業に参加 50.0	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 43.8	ひとり暮らし高齢者の登録をしている 31.3
	夫婦だけの世帯	社会福祉協議会の主催事業に参加 60.0	老人憩いの家・ハートピアの施設を利用 40.0	ボランティアに参加したことがある 30.0
	親と子どもだけの世帯	社会福祉協議会の主催事業に参加 64.6	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 41.7	老人憩いの家・ハートピアの施設を利用 29.2
	親と子どもと孫の三世帯世帯	社会福祉協議会の主催事業に参加／ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 50.0	福祉用具を借りたことがある 27.8	
	その他	社会福祉協議会の主催事業に参加／ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用／老人憩いの家・ハートピアの施設を利用／相談したことがある 50.0		

図表 どのようなことで利用したか（全体、属性別／複数回答）

（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
居住地区	瑞浪地区	社会福祉協議会の主催事業に参加 63.0	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 39.1	老人憩いの家・ハートピアの施設を利用 30.4
	土岐地区	社会福祉協議会の主催事業に参加 63.6	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用／老人憩いの家・ハートピアの施設を利用 40.9	
	明世地区	社会福祉協議会の主催事業に参加／ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 40.0		老人憩いの家・ハートピアの施設を利用／相談した／福祉用具を借りたことがあることがある 20.0
	稲津町	社会福祉協議会の主催事業に参加 54.5	老人憩いの家・ハートピアの施設を利用 45.5	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用／福祉用具を借りたことがあることがある 36.4
	陶町	社会福祉協議会の主催事業に参加 66.7	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 44.4	福祉出前講座を受けたことがある 22.2
	日吉町	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 57.1	相談したことがある 42.9	社会福祉協議会の主催事業に参加／老人憩いの家・ハートピアの施設を利用／ひとりぐらし高齢者の登録をしている／福祉用具を借りたことがある／ボランティアに参加したことがある 14.3
	釜戸町	社会福祉協議会の主催事業に参加 50.0	ヘルパー・ケアマネ・児童館・ぽけっと等を利用 40.0	福祉用具を借りたことがあることがある 20.0
	大湫町	社会福祉協議会の主催事業に参加 100.0	老人憩いの家・ハートピアの施設を利用 50.0	福祉用具を借りたことがあることがある 25.0

(5) 社会福祉協議会に期待すること

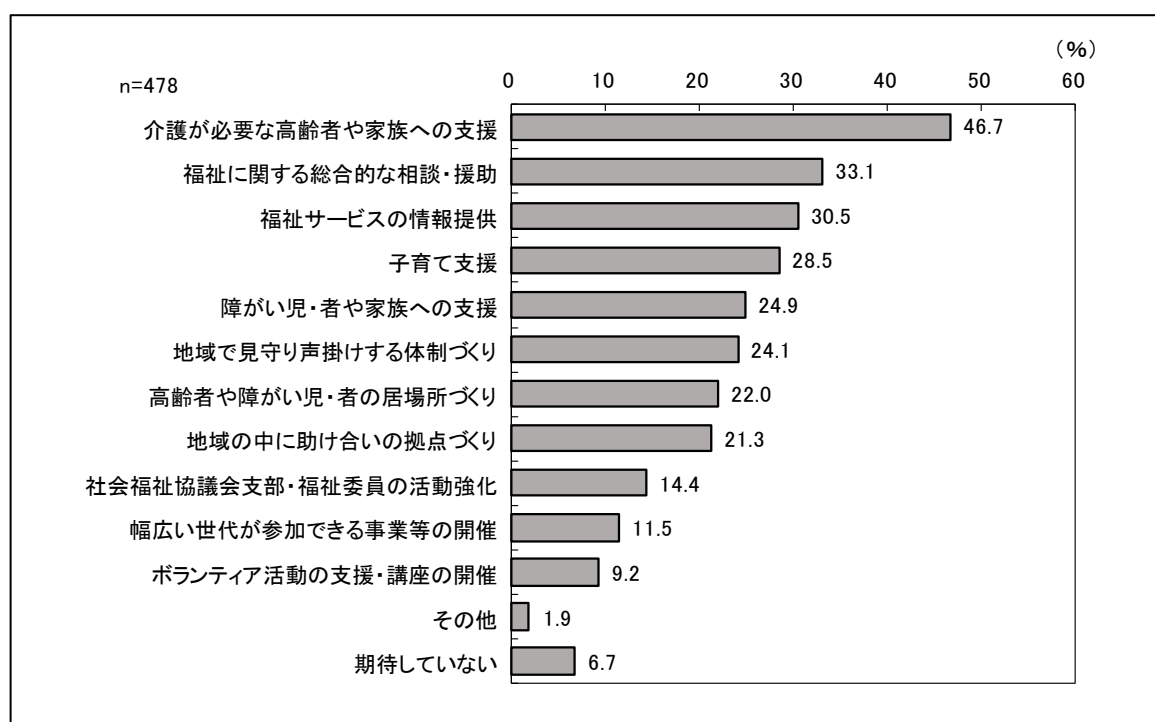
問 42 あなたが社会福祉協議会に期待することは何ですか。【複数回答】

- 「介護が必要な高齢者や家族への支援」が第1位。

社会福祉協議会に期待することは、「介護が必要な高齢者や家族への支援」(46.7%)が第1位、次いで、「福祉に関する総合的な相談・援助」(33.1%)、「福祉サービスの情報提供」(30.5%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、40代以下で「子育て支援」、50代以上では「介護が必要な高齢者や家族への支援」がそれぞれ第1位となっている。

図表 社会福祉協議会に期待すること（全体／複数回答）



図表 社会福祉協議会に期待すること（全体、属性別／複数回答）

（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		介護が必要な高齢者や家族への支援 46.7	福祉に関する総合的な相談・援助 33.1	福祉サービスの情報提供 30.5
性別	男性	介護が必要な高齢者や家族への支援 38.8	福祉に関する総合的な相談・援助 29.9	福祉サービスの情報提供 28.0
	女性	介護が必要な高齢者や家族への支援 53.8	福祉に関する総合的な相談・援助 35.5	福祉サービスの情報提供 31.5
	回答しない	福祉サービスの情報提供 62.5	高齢者や障がい児・者の居場所づくり／福祉に関する総合的な相談・援助／障がい児・者や家族への支援／子育て支援 37.5	
年齢	18歳～29歳	子育て支援 50.0	介護が必要な高齢者や家族への支援 46.9	高齢者や障がい児・者の居場所づくり 31.3
	30代	子育て支援 65.1	介護が必要な高齢者や家族への支援 48.8	障がい児・者や家族への支援 41.9
	40代	子育て支援 45.3	介護が必要な高齢者や家族への支援 35.8	高齢者や障がい児・者の居場所づくり／福祉に関する総合的な相談・援助 32.1
	50代	介護が必要な高齢者や家族への支援 52.8	福祉に関する総合的な相談・援助 44.4	障がい児・者や家族への支援／福祉サービスの情報提供 34.7
	60代	介護が必要な高齢者や家族への支援 56.4	福祉サービスの情報提供 38.3	福祉に関する総合的な相談・援助 35.1
	70代	介護が必要な高齢者や家族への支援 39.1	福祉サービスの情報提供 33.0	福祉に関する総合的な相談・援助 26.1
	80歳以上	介護が必要な高齢者や家族への支援 45.5	福祉に関する総合的な相談・援助 34.8	地域で見守り声掛けする体制づくり 33.3
世帯構成	単身世帯	福祉に関する総合的な相談・援助 32.4	介護が必要な高齢者や家族への支援 28.4	福祉サービスの情報提供 25.7
	夫婦だけの世帯	介護が必要な高齢者や家族への支援 43.4	福祉サービスの情報提供 36.6	地域で見守り声掛けする体制づくり／福祉に関する総合的な相談・援助 25.5
	親と子どもだけの世帯	介護が必要な高齢者や家族への支援 53.0	子育て支援 41.0	福祉に関する総合的な相談・援助 37.7
	親と子どもと孫の三世帯世帯	介護が必要な高齢者や家族への支援 58.7	福祉に関する総合的な相談・援助 33.3	子育て支援 31.7
	その他	福祉に関する総合的な相談・援助／子育て支援 50.0		介護が必要な高齢者や家族への支援 37.5

図表 社会福祉協議会に期待すること（全体、属性別／複数回答）

（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
居住地区	瑞浪地区	介護が必要な高齢者や家族への支援 43.4	福祉に関する総合的な相談・援助 35.9	福祉サービスの情報提供 30.8
	土岐地区	介護が必要な高齢者や家族への支援 51.7	障がい児・者や家族への支援 32.2	福祉に関する総合的な相談・援助 28.7
	明世地区	介護が必要な高齢者や家族への支援 53.8	福祉に関する総合的な相談・援助 50.0	福祉サービスの情報提供 46.2
	稲津町	介護が必要な高齢者や家族への支援 44.0	子育て支援 36.0	福祉に関する総合的な相談・援助 32.0
	陶町	介護が必要な高齢者や家族への支援 41.0	福祉サービスの情報提供 28.2	子育て支援 25.6
	日吉町	介護が必要な高齢者や家族への支援 59.1	福祉に関する総合的な相談・援助／子育て支援 31.8	
	釜戸町	介護が必要な高齢者や家族への支援 50.0	福祉サービスの情報提供 35.7	福祉に関する総合的な相談・援助 31.0
	大湫町	子育て支援 37.5	社会福祉協議会支部・福祉委員の活動強化／地域で見守り声掛けする体制づくり／福祉に関する総合的な相談・援助／介護が必要な高齢者や家族への支援／福祉サービスの情報提供 25.0	

11 民生委員・児童委員について

(1) 民生委員・児童委員について

問 43 あなたは民生委員・児童委員という言葉を知っていますか。

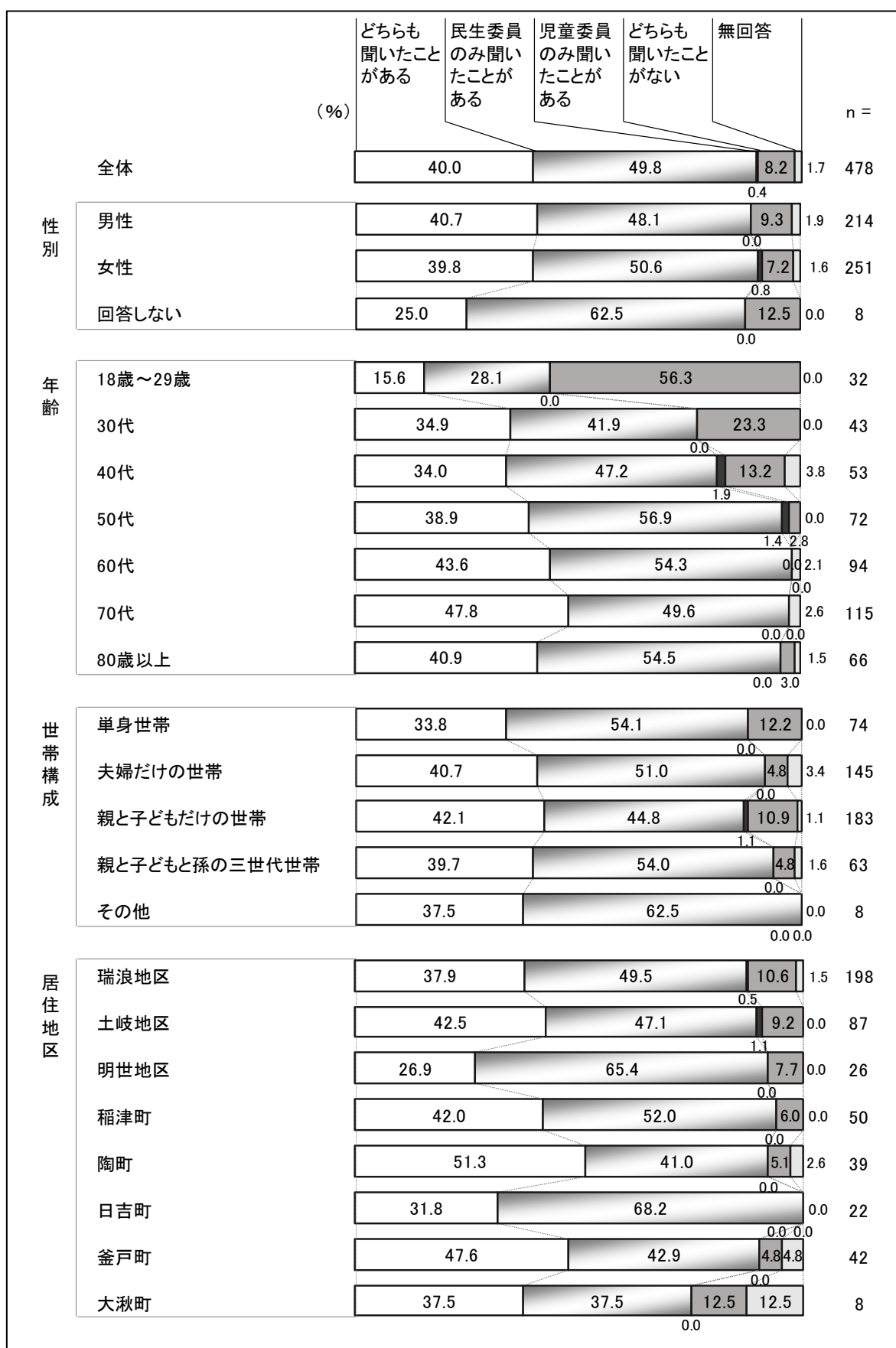


- 「民生委員のみ聞いたことがある」が約5割を占める。

民生委員・児童委員について、「民生委員のみ聞いたことがある」(49.8%)が最も高く、次いで、「どちらも聞いたことがある」(40.0%)、「どちらも聞いたことがない」(8.2%)、「児童委員のみ聞いたことがある」(0.4%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、概ね年齢層が高くなるにつれて、認知度が高くなる傾向がみられる。

図表 民生委員・児童委員について



(2) 地域の民生委員・児童委員を知っているか

問 44 あなたはお住いの地域の民生委員・児童委員を知っていますか。

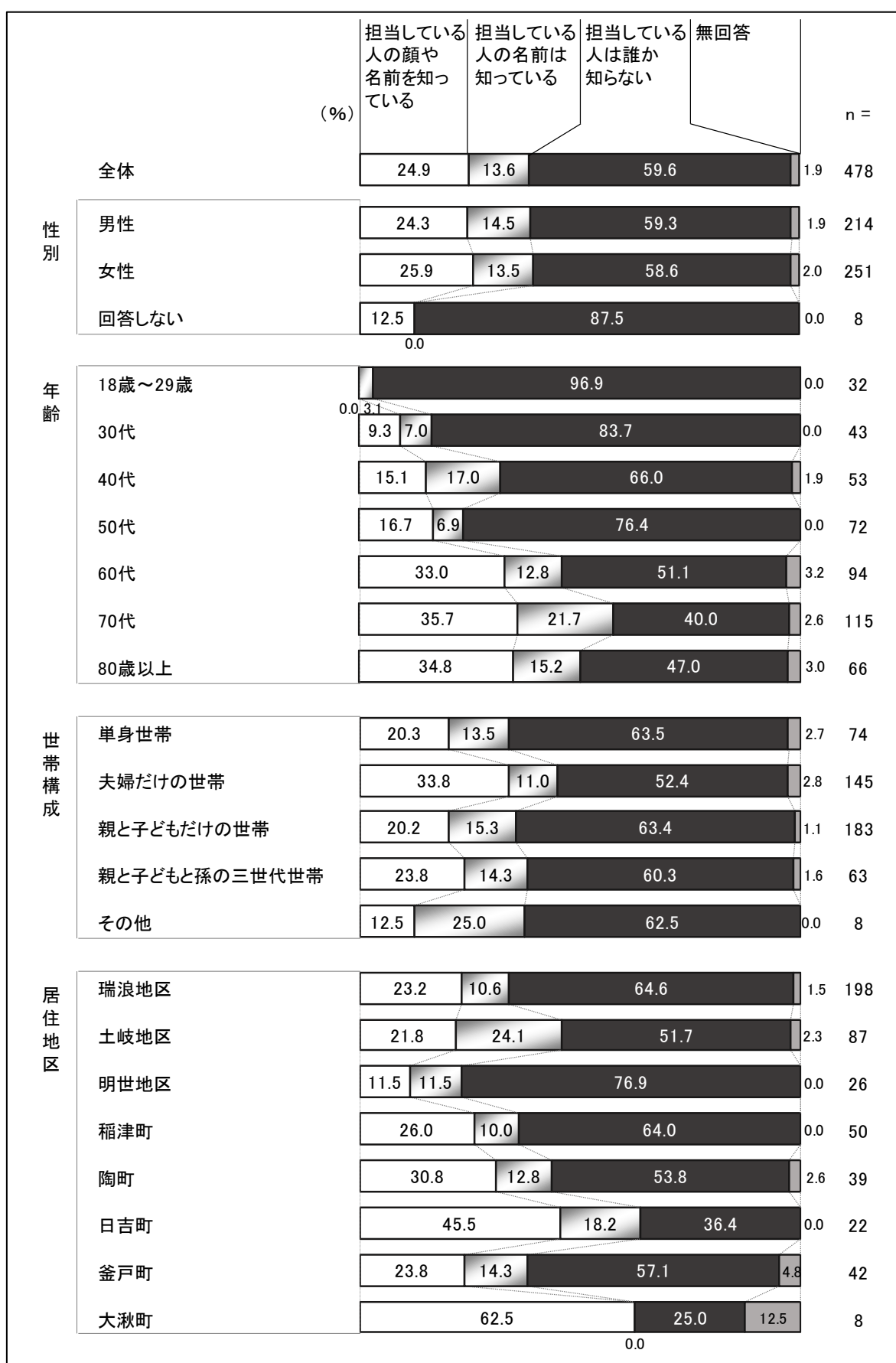


- 「担当している人は誰か知らない」が約6割を占める。

地域の民生委員・児童委員を知っているかどうかについては、「担当している人は誰か知らない」(59.6%)が最も高く、次いで、「担当している人の顔や名前を知っている」(24.9%)、「担当している人の名前は知っている」(13.6%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、概ね年齢層が高くなるにつれて、認知度が高くなる傾向がみられる。

図表 地域の民生委員・児童委員を知っているか



(3) 民生委員・児童委員にどのような対応をしてほしいか

問 45 あなたが民生委員・児童委員に相談をする場合、どのような対応をして欲しいと思いますか。



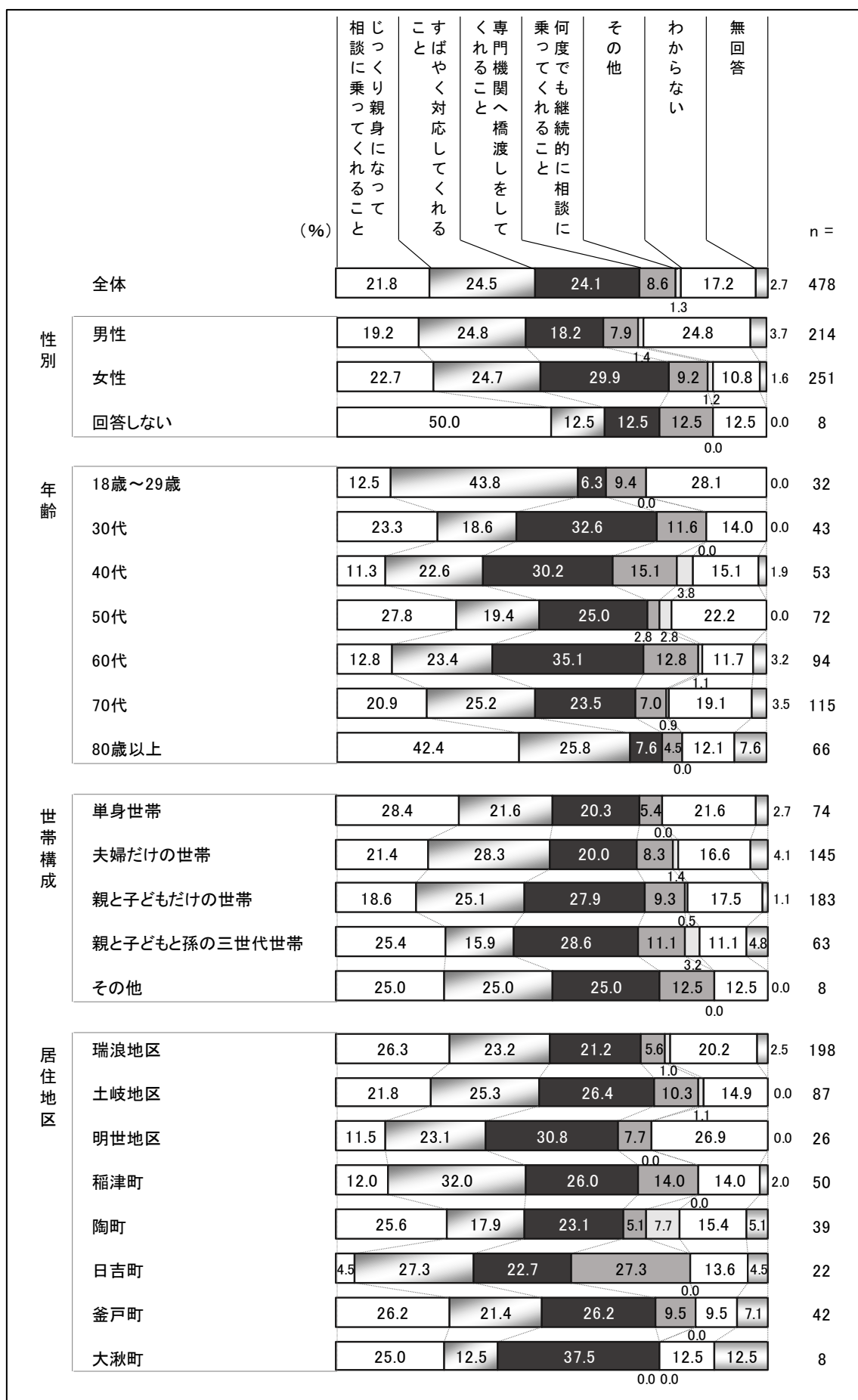
- 「すばやく対応してくれること」が2割半ばを占める。

民生委員・児童委員にどのような対応をして欲しいかたずねたところ、「すばやく対応してくれること」(24.5%)が最も高く、次いで、「専門機関へ橋渡しをしてくれること」(24.1%)、「じっくり親身になって相談に乗ってくれること」(21.8%)となっている。

属性別でみると、性別では、男性は「すばやく対応してくれること」、女性は「専門機関へ橋渡しをしてくれること」の割合が最も高くなっている。

年齢別では、18歳～29歳、70代で「すばやく対応してくれること」、30代、40代、60代で「専門機関へ橋渡しをしてくれること」、50代、80歳以上で「じっくり親身になって相談に乗ってくれること」の割合が最も高くなっている。

図表 民生委員・児童委員にどのような対応をして欲しいか



12 福祉委員について

(1) 福祉委員について

問 46 あなたは福祉委員という言葉を知っていますか。

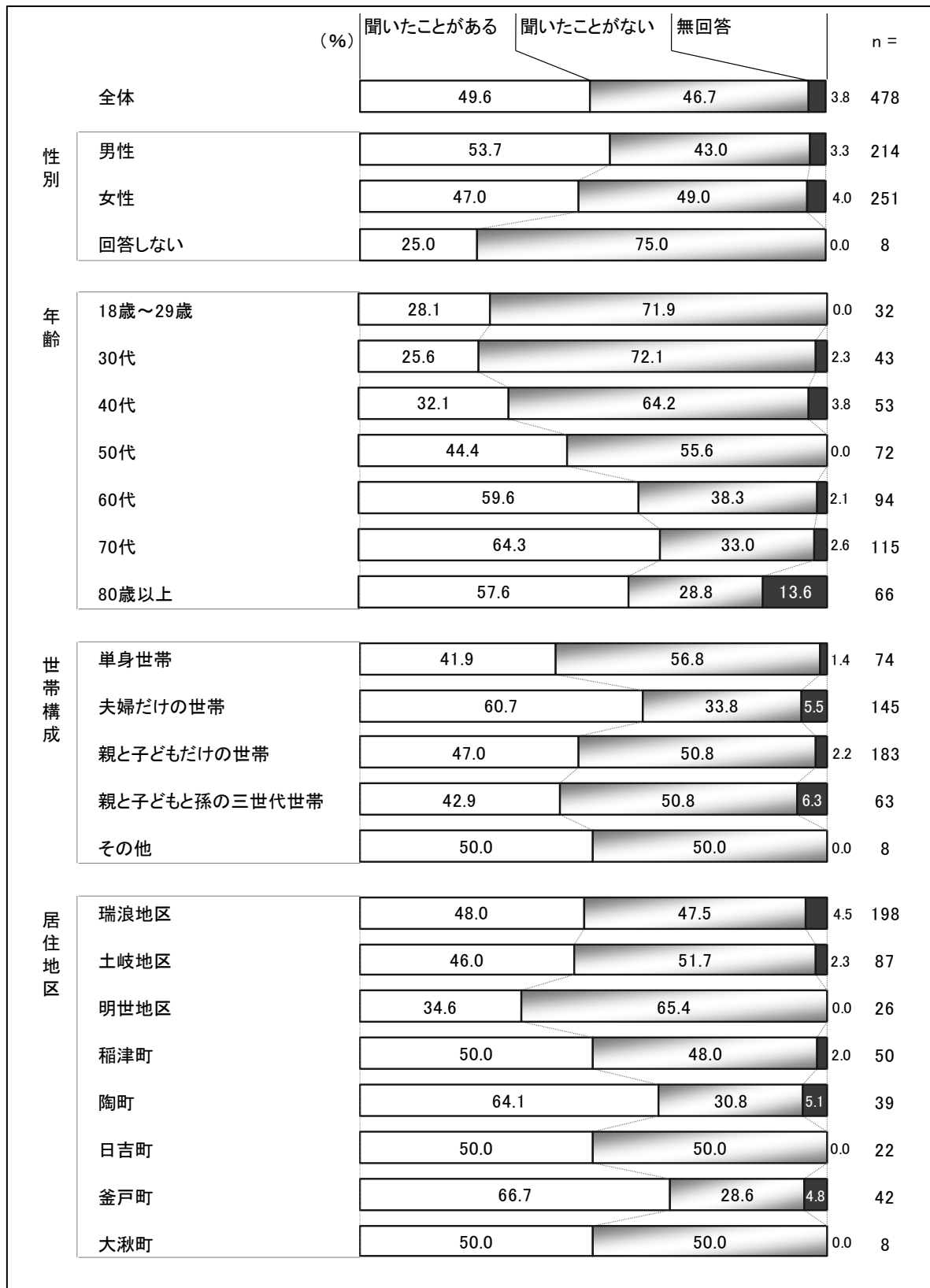


- 「聞いたことがある」が約5割を占める。

福祉委員について、「聞いたことがある」が49.6%、「聞いたことがない」が46.7%となっている。

属性別でみると、年齢別では、概ね年齢層が高くなるにつれて、認知度が高くなる傾向がみられる。

図表 福祉委員について



(2) 地域の福祉委員を知っているか

問 47 あなたはお住いの地域の福祉委員を知っていますか。

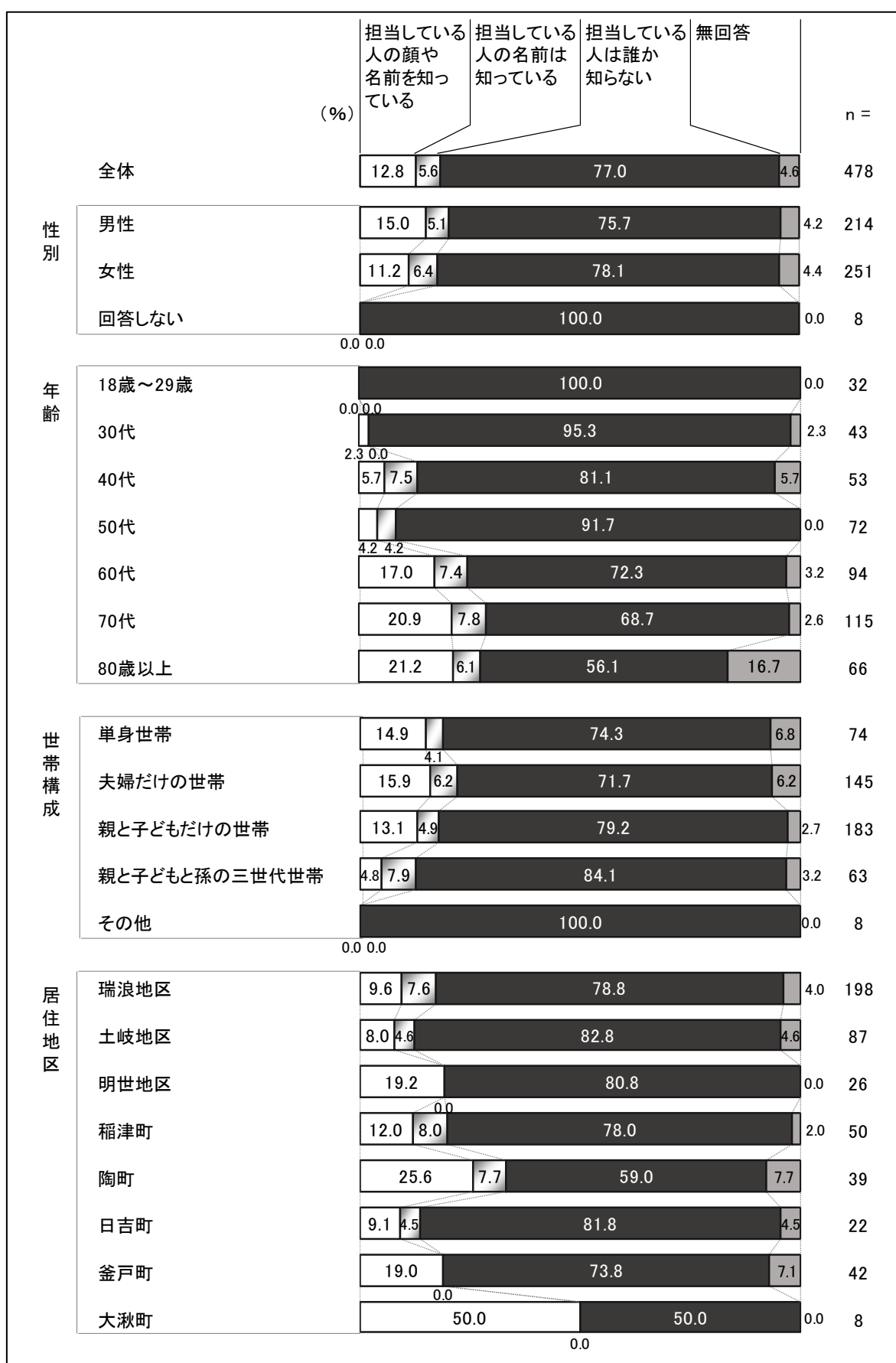


- 「担当している人は誰か知らない」が8割弱を占める。

地域の福祉委員を知っているかどうかについては、「担当している人は誰か知らない」(77.0%)が最も高く、次いで、「担当している人の顔や名前を知っている」(12.8%)、「担当している人の名前は知っている」(5.6%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、概ね年齢層が高くなるにつれて、認知度が高くなる傾向がみられる。

図表 地域の福祉委員を知っているか



(3) 福祉委員にどのような対応をしてほしいか

問 48 あなたが福祉委員に相談をする場合、どのような対応をしてほしいと思いますか。

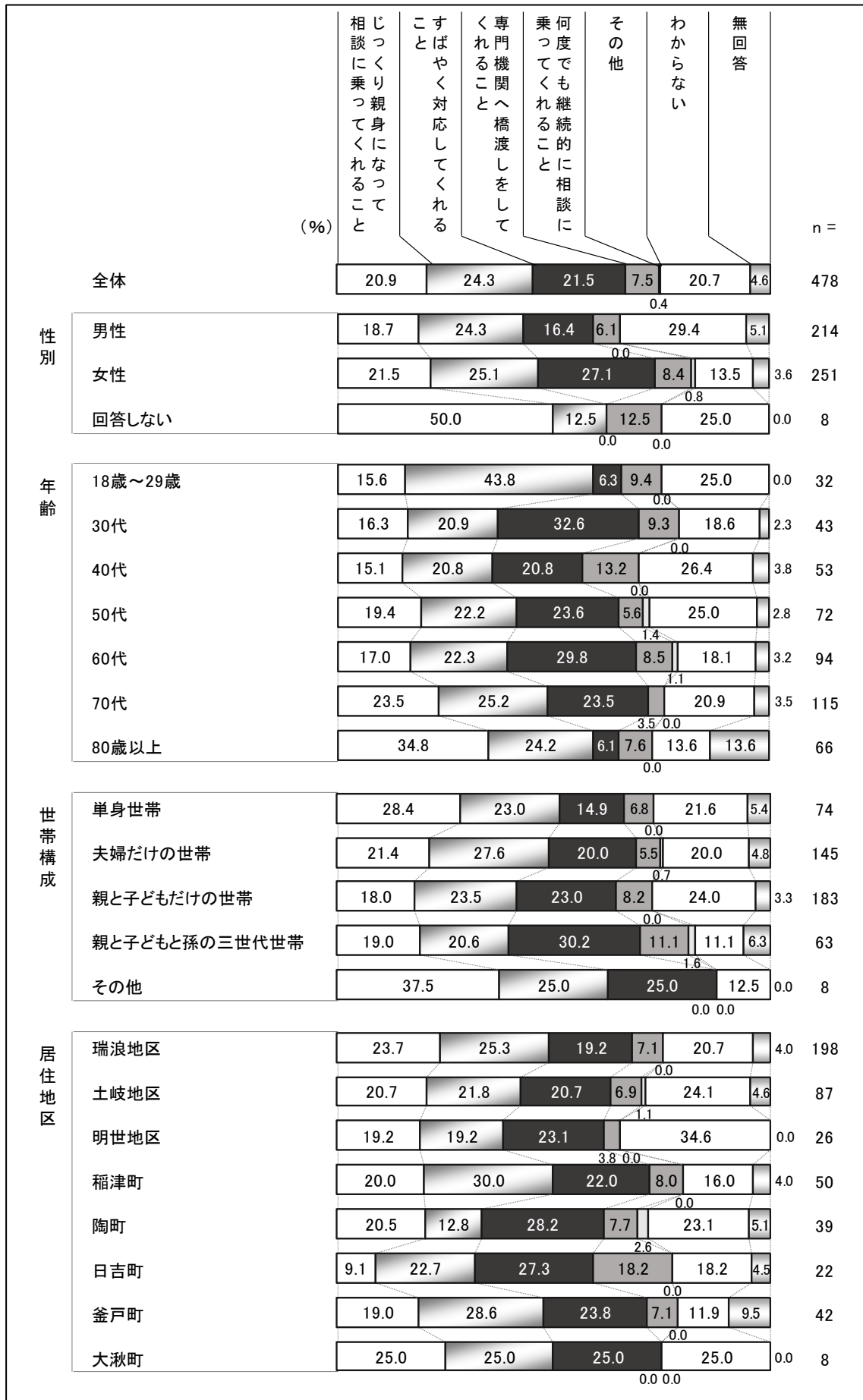


- 「すばやく対応してくれること」が2割台半ばを占める。

福祉委員にどのような対応をして欲しいかたずねたところ、「すばやく対応してくれること」(24.3%)が最も高く、次いで、「専門機関へ橋渡しをしてくれること」(21.5%)、「じっくり親身になって相談に乗ってくれること」(20.9%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、18歳～29歳、70代で「すばやく対応してくれること」、30代、60代で「専門機関へ橋渡しをしてくれること」、80歳以上で「じっくり親身になって相談に乗ってくれること」の割合が最も高くなっている。

図表 福祉委員にどのような対応をして欲しいか



13 災害時における助け合いについて

(1) 災害に対して安全なまちであるか

問 49 あなたは、お住いの地域が災害に対して安全なまちだと思いますか。



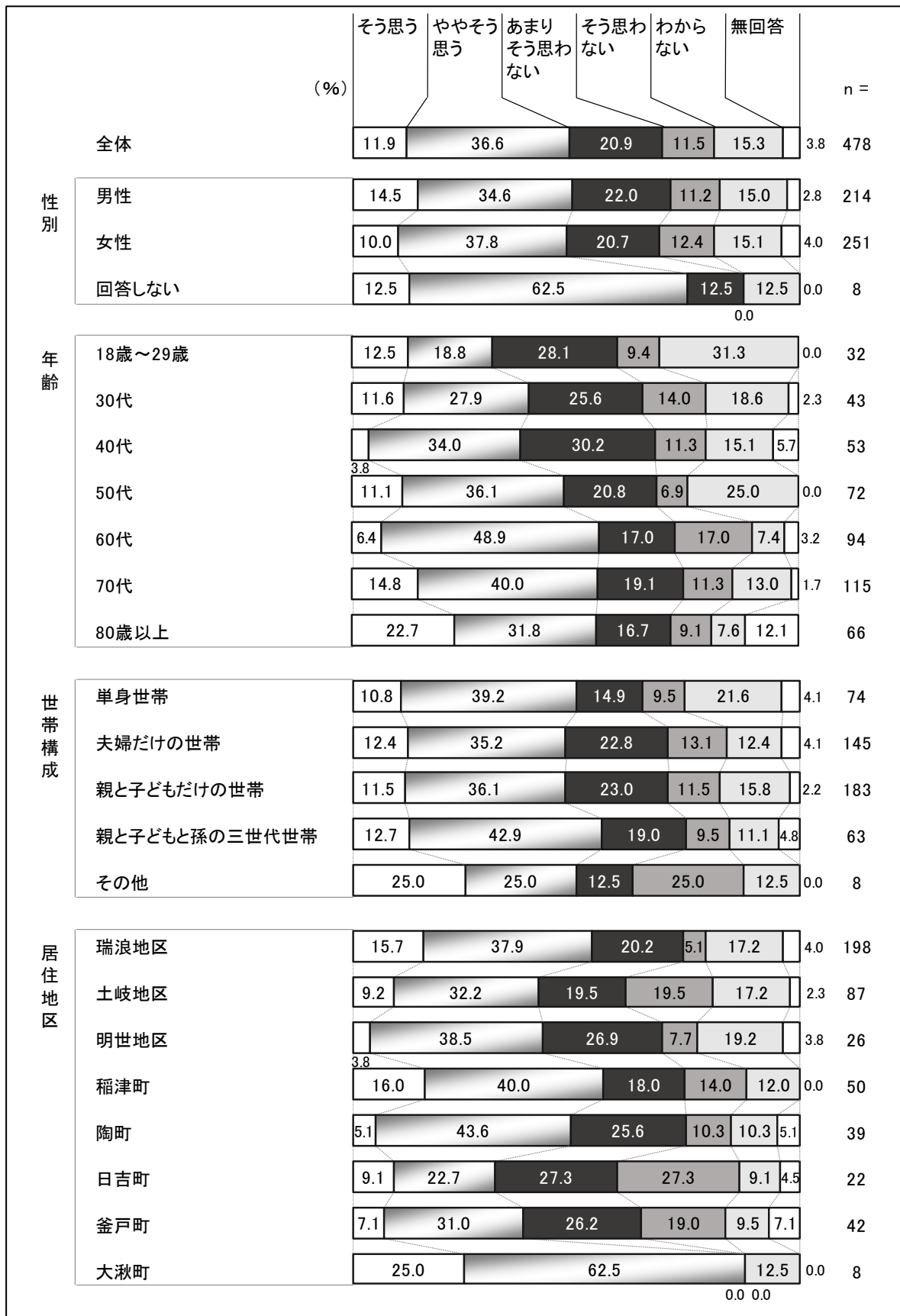
- “そう思う” が5割弱を占める。

災害に対して安全なまちかどうかたずねたところ、「ややそう思う」(36.6%)が最も高く、これに「そう思う」(11.9%)を合わせた“そう思う”は、48.5%となっている。一方、“そう思わない”(「あまりそう思わない」(20.9%)と「そう思わない」(11.5%)の合計)は、32.4%となっている。

属性別で“そう思う”の割合をみると、年齢別の50代以上で5割前後となっており、“そう思わない”の割合を上回っている。

居住地区別では、日吉町、釜戸町で“そう思う”の割合が他の居住地区に比べて低く、“そう思わない”の割合を下回っている。

図表 災害に対して安全なまちであるか



(2) 災害時の備えとして重要だと思うこと

問 50 南海トラフ大地震等が懸念される中で、災害時における地域の助け合いは、非常に重要なことです。あなたの住む地域における災害時の備えとして、どんなことが重要だと思いますか。【複数回答】

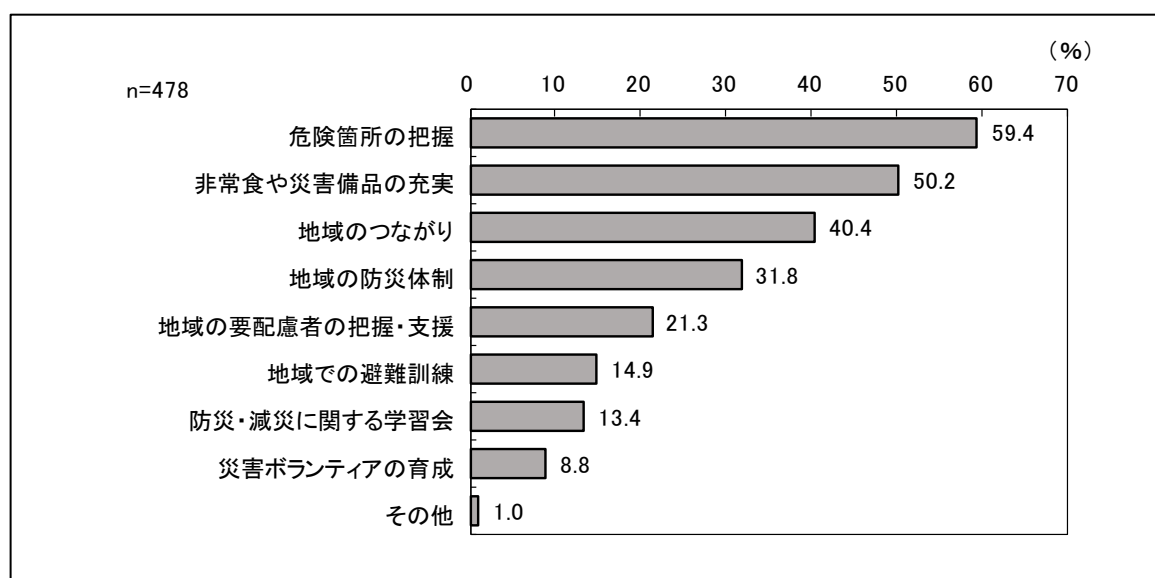


- 「危険箇所の把握」が第1位、「非常食や災害備品の充実」、「地域のつながり」が続く。

災害時の備えとして重要だと思うことは、「危険箇所の把握」(59.4%)が第1位、次いで、「非常食や災害備品の充実」(50.2%)、「地域のつながり」(40.4%)となっている。

属性別でみると、ほとんどの層で「危険箇所の把握」が第1位となっている。(年齢別の40代、世帯構成別の親と子どもだけの世帯は「非常食や災害備品の充実」が第1位。年齢別の30代は「危険箇所の把握」と「非常食や災害備品の充実」が同率1位)

図表 災害時の備えとして重要だと思うこと (全体／複数回答)



図表 災害時の備えとして重要だと思うこと（全体、属性別／複数回答）

（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		危険箇所の把握 59.4	非常食や災害備品の充実 50.2	地域のつながり 40.4
性別	男性	危険箇所の把握 62.1	非常食や災害備品の充実 47.2	地域のつながり 37.4
	女性	危険箇所の把握 58.2	非常食や災害備品の充実 53.8	地域のつながり 42.6
	回答しない	危険箇所の把握 50.0	地域のつながり／地域の要配慮者の把握・支援／災害ボランティアの育成／非常食や災害備品の充実	37.5
年齢	18歳～29歳	危険箇所の把握 75.0	非常食や災害備品の充実 65.6	地域の防災体制 37.5
	30代	危険箇所の把握／非常食や災害備品の充実 65.1		地域の防災体制 32.6
	40代	非常食や災害備品の充実 62.3	危険箇所の把握 47.2	地域の防災体制 43.4
	50代	危険箇所の把握 62.5	非常食や災害備品の充実 58.3	地域のつながり 44.4
	60代	危険箇所の把握 62.8	非常食や災害備品の充実 56.4	地域のつながり 43.6
	70代	危険箇所の把握 59.1	地域のつながり 52.2	非常食や災害備品の充実 38.3
	80歳以上	危険箇所の把握 53.0	地域のつながり 39.4	非常食や災害備品の充実 27.3
世帯構成	単身世帯	危険箇所の把握 59.5	非常食や災害備品の充実 41.9	地域のつながり 35.1
	夫婦だけの世帯	危険箇所の把握 64.8	非常食や災害備品の充実 46.2	地域のつながり 43.4
	親と子どもだけの世帯	非常食や災害備品の充実 56.8	危険箇所の把握 55.2	地域のつながり 43.2
	親と子どもと孫の三世帯世帯	危険箇所の把握 60.3	非常食や災害備品の充実 52.4	地域の防災体制 44.4
	その他	危険箇所の把握 75.0	非常食や災害備品の充実 50.0	地域のつながり／地域の防災体制 37.5
居住地区	瑞浪地区	危険箇所の把握 57.6	非常食や災害備品の充実 55.1	地域のつながり 38.9
	土岐地区	危険箇所の把握 58.6	非常食や災害備品の充実 46.0	地域のつながり 42.5
	明世地区	危険箇所の把握 73.1	非常食や災害備品の充実 53.8	地域の防災体制 46.2
	稲津町	危険箇所の把握 60.0	非常食や災害備品の充実 52.0	地域のつながり 46.0
	陶町	危険箇所の把握 59.0	非常食や災害備品の充実 46.2	地域のつながり 41.0
	日吉町	危険箇所の把握 68.2	非常食や災害備品の充実 54.5	地域のつながり 45.5
	釜戸町	危険箇所の把握 61.9	地域のつながり 42.9	非常食や災害備品の充実 35.7
	大湫町	地域のつながり／非常食や災害備品の充実 50.0		危険箇所の把握 37.5

(3) 災害などの緊急事態が発生した場合に誰を頼りにするか

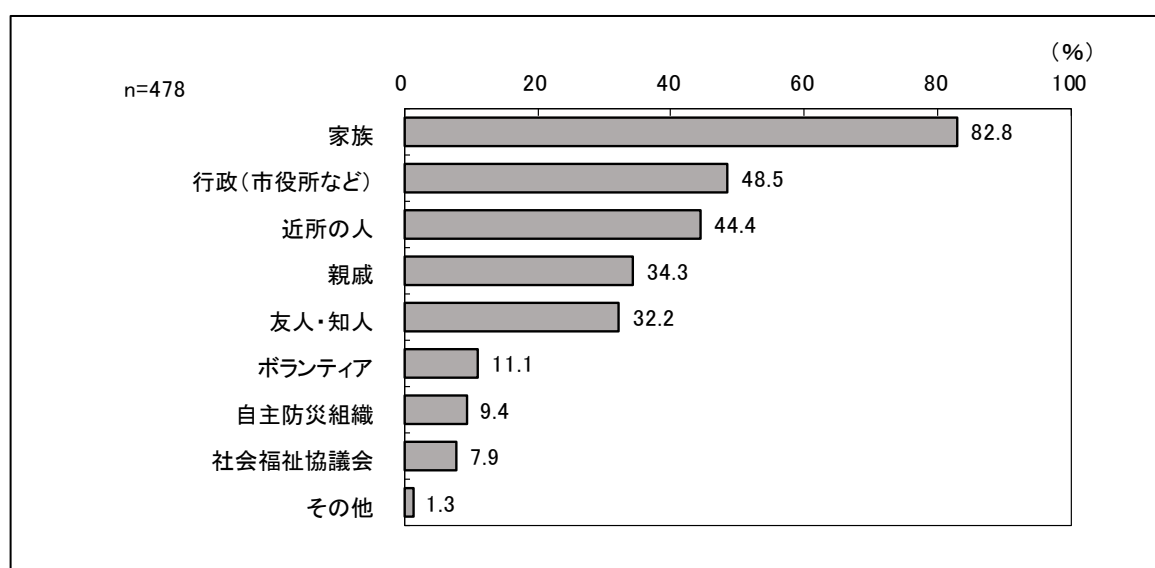
問 51 もし災害などの緊急事態が発生した場合、あなたは誰を頼りにしますか。
【複数回答】



- 「家族」が他を引き離して第1位。

災害などの緊急事態が発生した場合に誰を頼りにするかたずねたところ、「家族」(82.8%)が第1位、次いで、「行政(市役所など)」(48.5%)、「近所の人」(44.4%)となっている。属性別でも、いずれの層においても「家族」が第1位となっている。

図表 被災直後に誰を頼りにするか(全体/複数回答)



図表 災害などの緊急事態が発生した場合に誰を頼りにするか（全体、属性別／複数回答）
（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		家族 82.8	行政（市役所など） 48.5	近所の人 44.4
性別	男性	家族 78.5	行政（市役所など） 50.5	近所の人 43.9
	女性	家族 86.9	行政（市役所など） 47.0	近所の人 45.8
	回答しない	家族 87.5	友人・知人 62.5	親戚／行政（市役所など） 50.0
年齢	18歳～29歳	家族 81.3	行政（市役所など） 56.3	友人・知人 43.8
	30代	家族 93.0	親戚 41.9	友人・知人／行政（市役所など） 39.5
	40代	家族 81.1	行政（市役所など） 52.8	友人・知人 37.7
	50代	家族 88.9	行政（市役所など） 48.6	近所の人 37.5
	60代	家族 83.0	近所の人／行政（市役所など） 52.1	
	70代	家族 76.5	近所の人 58.3	行政（市役所など） 46.1
	80歳以上	家族 83.3	近所の人 57.6	行政（市役所など） 45.5
世帯構成	単身世帯	家族 62.2	近所の人 40.5	行政（市役所など） 37.8
	夫婦だけの世帯	家族 83.4	近所の人／行政（市役所など） 49.7	
	親と子どもだけの世帯	家族 89.1	行政（市役所など） 52.5	近所の人 39.9
	親と子どもと孫の三世代世帯	家族 88.9	近所の人 50.8	行政（市役所など） 46.0
	その他	家族 87.5	友人・知人 62.5	親戚／行政（市役所など） 50.0
居住地区	瑞浪地区	家族 80.8	行政（市役所など） 51.0	近所の人 36.9
	土岐地区	家族 82.8	行政（市役所など） 47.1	近所の人 44.8
	明世地区	家族 96.2	行政（市役所など） 53.8	親戚 46.2
	稲津町	家族 84.0	行政（市役所など） 58.0	近所の人 52.0
	陶町	家族 79.5	近所の人 56.4	親戚 41.0
	日吉町	家族 86.4	近所の人 72.7	行政（市役所など） 50.0
	釜戸町	家族 83.3	近所の人 54.8	行政（市役所など） 40.5
	大湫町	家族 100.0	近所の人／行政（市役所など） 37.5	

(4) 災害時や緊急時における障がい児・者や高齢者への支援体制について

問 52 災害時や緊急時においては、まず、自分の命を守ることが重要ですが、障がい児・者やひとり暮らしの高齢者などに対して避難支援や安否確認などの支援を行うためには、どのような体制を充実することがよいと思いますか。

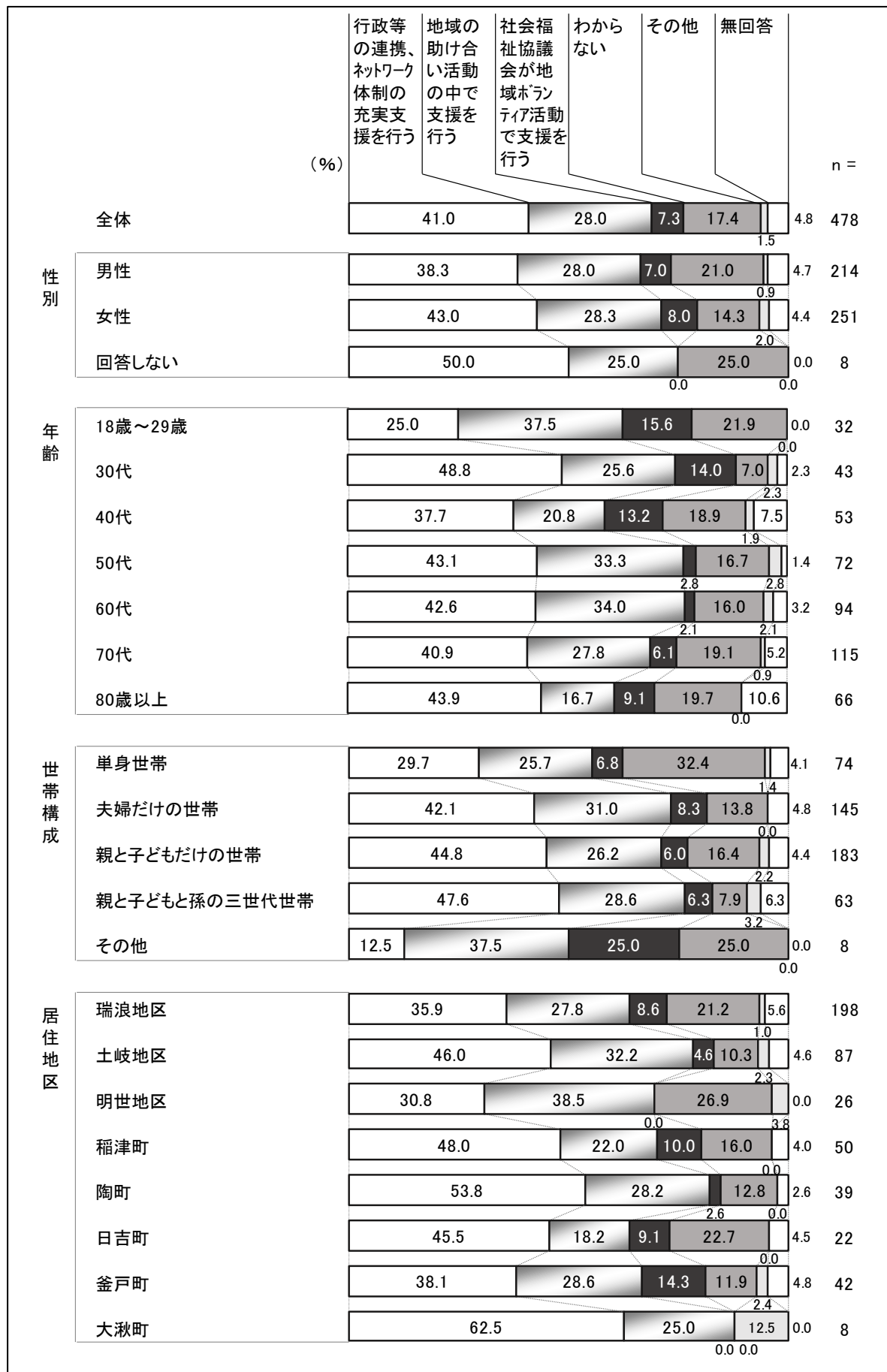


- 「行政等の連携、ネットワーク体制の充実支援を行う」が4割強を占める。

災害時や緊急時における障がい児・者や高齢者への支援体制について、「行政等の連携、ネットワーク体制の充実支援を行う」(41.0%)が最も高く、次いで、「地域の助け合い活動の中で支援を行う」(28.0%)、「社会福祉協議会が地域ボランティア活動で支援を行う」(7.3%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、30代以上で「行政等の連携、ネットワーク体制の充実支援を行う」が最も高くなっているが、18歳～29歳では「地域の助け合い活動の中で支援を行う」が最も高くなっている。

図表 災害時や緊急時における障がい児・者や高齢者への支援体制について



(5) 災害時要配慮者への重要な対策

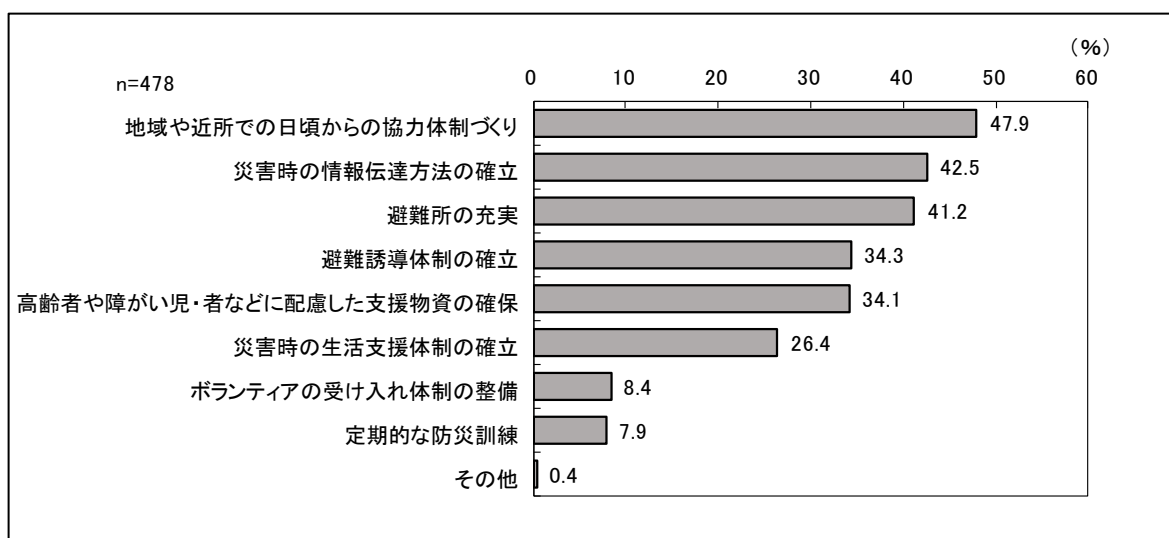
問 53 あなたは、災害時や緊急時に備えとして、障がい児・者や高齢者など災害時要配慮者に対し、どのような対策が重要だと思いますか。【複数回答】

- 「地域や近所での日頃からの協力体制づくり」が第1位。

災害時要配慮者に対し、どのような対策が重要かたずねたところ、「地域や近所での日頃からの協力体制づくり」(47.9%)が第1位、次いで、「災害時の情報伝達方法の確立」(42.5%)、「避難所の充実」(41.2%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、18歳～29歳で「避難所の充実」、30代で「高齢者や障がい児・者などに配慮した支援物資の確保」、40代、60代で「災害時の情報伝達方法の確立」、50代、70代、80歳以上では「地域や近所での日頃からの協力体制づくり」がそれぞれ第1位となっている。

図表 災害時要配慮者への重要な対策（全体／複数回答）



図表 災害時要配慮者への重要な対策（全体、属性別／複数回答）
（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		地域や近所での日頃からの協力体制づくり 47.9	災害時の情報伝達方法の確立 42.5	避難所の充実 41.2
性別	男性	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 45.8	災害時の情報伝達方法の確立 42.5	避難所の充実 42.1
	女性	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 49.4	災害時の情報伝達方法の確立 41.4	避難所の充実 39.8
	回答しない	避難所の充実 75.0	災害時の情報伝達方法の確立 62.5	地域や近所での日頃からの協力体制づくり／避難誘導体制の確立／高齢者や障がい児・者などに配慮した支援物資の確保／災害時の生活支援体制の確立 37.5
年齢	18歳～29歳	避難所の充実 65.6	避難誘導体制の確立 46.9	災害時の情報伝達方法の確立 40.6
	30代	高齢者や障がい児・者などに配慮した支援物資の確保 53.5	災害時の情報伝達方法の確立 46.5	避難所の充実 44.2
	40代	災害時の情報伝達方法の確立 54.7	高齢者や障がい児・者などに配慮した支援物資の確保 41.5	地域や近所での日頃からの協力体制づくり／避難所の充実 37.7
	50代	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 47.2	避難誘導体制の確立 44.4	避難所の充実 38.9
	60代	災害時の情報伝達方法の確立 54.3	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 48.9	避難所の充実 37.2
	70代	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 56.5	避難所の充実 43.5	災害時の情報伝達方法の確立 33.0
	80歳以上	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 54.5	避難誘導体制の確立 36.4	避難所の充実 34.8
世帯構成	単身世帯	災害時の情報伝達方法の確立 51.4	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 45.9	避難所の充実 39.2
	夫婦だけの世帯	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 53.8	避難所の充実 44.8	災害時の情報伝達方法の確立 35.9
	親と子どもだけの世帯	災害時の情報伝達方法の確立 47.0	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 43.7	避難誘導体制の確立／避難所の充実 38.8
	親と子どもと孫の三世帯世帯	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 49.2	高齢者や障がい児・者などに配慮した支援物資の確保／避難所の充実 39.7	39.7
	その他	地域や近所での日頃からの協力体制づくり／災害時の情報伝達方法の確立／避難所の充実 50.0		
居住地区	瑞浪地区	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 47.0	災害時の情報伝達方法の確立 42.9	避難所の充実 39.9
	土岐地区	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 49.4	避難所の充実 48.3	避難誘導体制の確立 40.2
	明世地区	避難所の充実 50.0	地域や近所での日頃からの協力体制づくり／災害時の情報伝達方法の確立 42.3	
	稲津町	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 52.0	避難所の充実 40.0	災害時の情報伝達方法の確立／避難誘導体制の確立 34.0
	陶町	災害時の情報伝達方法の確立 46.2	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 43.6	避難誘導体制の確立／避難所の充実 35.9
	日吉町	災害時の情報伝達方法の確立 59.1	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 45.5	高齢者や障がい児・者などに配慮した支援物資の確保 40.9
	釜戸町	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 52.4	災害時の情報伝達方法の確立 45.2	避難所の充実 38.1
	大湫町	地域や近所での日頃からの協力体制づくり 62.5	高齢者や障がい児・者などに配慮した支援物資の確保 50.0	災害時の生活支援体制の確立／避難所の充実 37.5

14 これからの市の福祉環境について

(1) 瑞浪市をどんな福祉のまちにしたいか

問 54 あなたは瑞浪市をどんな「福祉のまち」にしたいと思いますか。【複数回答】

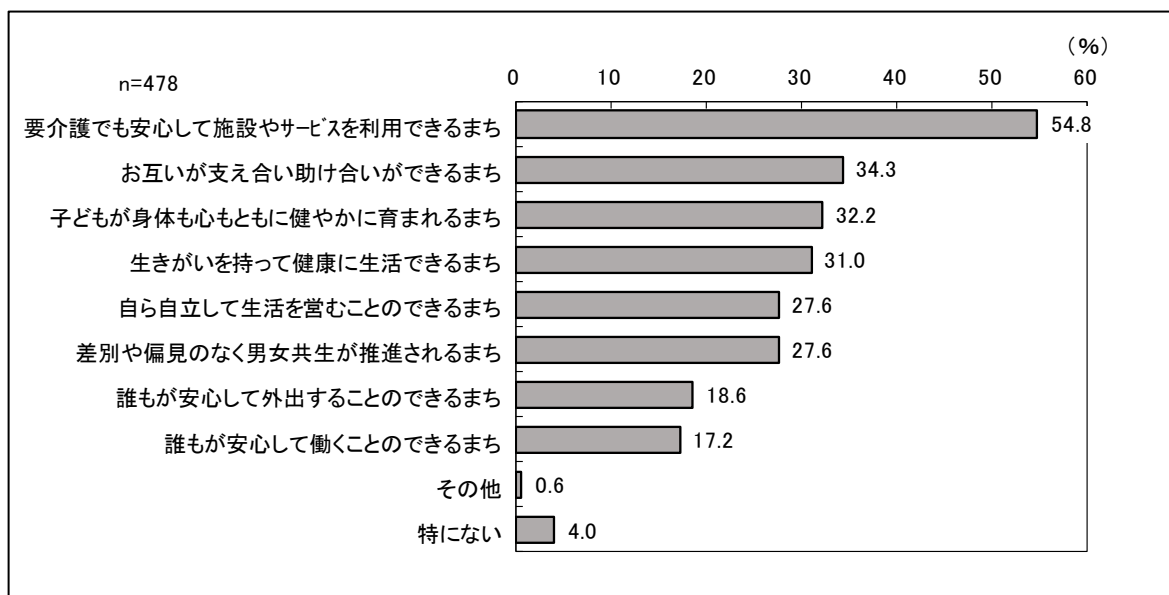


- 「要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち」が他を引き離して第1位。

瑞浪市をどんな福祉のまちにしたいと思うかたずねたところ、「要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち」(54.8%)が第1位、次いで、「お互いが支え合い助け合いができるまち」(34.3%)、「子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち」(32.2%)、「生きがいを持って健康に生活できるまち」(31.0%)となっている。

属性別でみると、年齢別では、30代以下で「子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち」、40代以上で「要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち」が第1位となっている。

図表 瑞浪市をどんな福祉のまちにしたいか（全体／複数回答）



図表 瑞浪市をどんな福祉のまちにしたいか（全体、属性別／複数回答）

（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 54.8	お互いが支え合い助け合いができるまち 34.3	子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち 32.2
性別	男性	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 43.9	お互いが支え合い助け合いができるまち 32.2	子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち 31.3
	女性	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 63.7	お互いが支え合い助け合いができるまち 36.7	子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち 33.5
	回答しない	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 62.5	お互いが支え合い助け合いができるまち／差別や偏見のなく男女共生が推進されるまち／誰もが安心して外出することのできるまち 37.5	
年齢	18歳～29歳	子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち 59.4	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 46.9	差別や偏見のなく男女共生が推進されるまち 31.3
	30代	子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち 62.8	生きがいを持って健康に生活できるまち 41.9	差別や偏見のなく男女共生が推進されるまち 37.2
	40代	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 47.2	子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち 41.5	お互いが支え合い助け合いができるまち 32.1
	50代	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 51.4	生きがいを持って健康に生活できるまち 36.1	お互いが支え合い助け合いができるまち 34.7
	60代	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 63.8	お互いが支え合い助け合いができるまち 34.0	差別や偏見のなく男女共生が推進されるまち 30.9
	70代	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 58.3	お互いが支え合い助け合いができるまち 37.4	生きがいを持って健康に生活できるまち 28.7
	80歳以上	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 66.7	お互いが支え合い助け合いができるまち 43.9	自ら自立して生活を営むことのできるまち 36.4
世帯構成	単身世帯	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 62.2	自ら自立して生活を営むことのできるまち 37.8	お互いが支え合い助け合いができるまち 35.1
	夫婦だけの世帯	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 53.8	生きがいを持って健康に生活できるまち 35.9	お互いが支え合い助け合いができるまち 35.2
	親と子どもだけの世帯	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 48.6	子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち 43.2	お互いが支え合い助け合いができるまち 36.1
	親と子どもと孫の三世帯世帯	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 63.5	差別や偏見のなく男女共生が推進されるまち 36.5	子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち 31.7
	その他	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 75.0	自ら自立して生活を営むことのできるまち 62.5	生きがいを持って健康に生活できるまち 37.5

図表 瑞浪市をどんな福祉のまちにしたいか（全体、属性別／複数回答）

（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
居住地区	瑞浪地区	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 47.5	お互いが支え合い助け合いができるまち 35.4	子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち／生きがいを持って健康に生活できるまち 32.8
	土岐地区	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 60.9	お互いが支え合い助け合いができるまち 35.6	生きがいを持って健康に生活できるまち 33.3
	明世地区	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 73.1	子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち／生きがいを持って健康に生活できるまち 38.5	
	稲津町	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 58.0	子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち 40.0	自ら自立して生活を営むことのできるまち／お互いが支え合い助け合いができるまち 30.0
	陶町	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 48.7	お互いが支え合い助け合いができるまち 41.0	生きがいを持って健康に生活できるまち 28.2
	日吉町	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 50.0	お互いが支え合い助け合いができるまち／子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち／生きがいを持って健康に生活できるまち 31.8	
	釜戸町	要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち 71.4	お互いが支え合い助け合いができるまち 40.5	自ら自立して生活を営むことのできるまち 38.1
	大湫町	子どもが身体も心もともに健やかに育まれるまち 50.0	お互いが支え合い助け合いができるまち／要介護でも安心して施設やサービスを利用できるまち／生きがいを持って健康に生活できるまち 37.5	

(2) 瑞浪市の保健・福祉施策として今後重要な取り組み

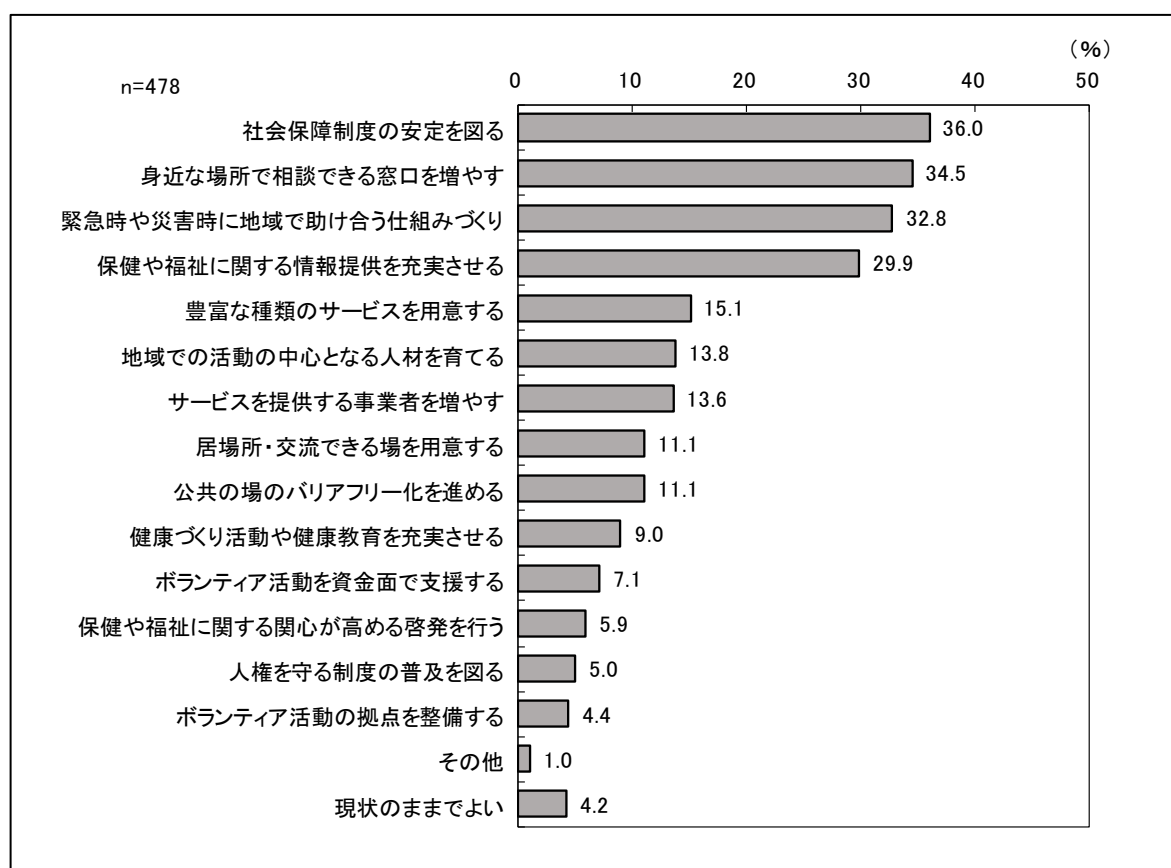
問 55 あなたは、瑞浪市の保健・福祉施策として、今後、どのような取り組みが重要だと思いますか。【複数回答】

- 「社会保障制度の安定を図る」が第1位、次いで、「身近な場所で相談できる窓口を増やす」、「緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり」が続く。

瑞浪市の保健・福祉施策として今後重要な取り組みは、「社会保障制度の安定を図る」(36.0%)が第1位、次いで、「身近な場所で相談できる窓口を増やす」(34.5%)、「緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり」(32.8%)となっている。

属性別でみると、性別では、男性で「社会保障制度の安定を図る」、女性で「身近な場所で相談できる窓口を増やす」が第1位となっている。

図表 瑞浪市の保健・福祉施策として今後重要な取り組み（全体／複数回答）



図表 瑞浪市の保健・福祉施策として今後重要な取り組み（全体、属性別／複数回答）
（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		社会保障制度の安定を図る 36.0	身近な場所で相談できる窓口を増やす 34.5	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 32.8
性別	男性	社会保障制度の安定を図る 35.0	保健や福祉に関する情報提供を充実させる 32.7	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 30.8
	女性	身近な場所で相談できる窓口を増やす 38.6	社会保障制度の安定を図る 37.1	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 35.1
	回答しない	身近な場所で相談できる窓口を増やす 75.0	保健や福祉に関する情報提供を充実させる／公共の場のバリアフリー化を進める／ボランティア活動の拠点を整備する／社会保障制度の安定を図る 25.0	
年齢	18歳～29歳	社会保障制度の安定を図る 45.9	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 40.6	保健や福祉に関する情報提供を充実させる 28.1
	30代	社会保障制度の安定を図る 34.9	身近な場所で相談できる窓口を増やす 25.6	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 23.3
	40代	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり／サービスを提供する事業者を増やす 28.3	保健や福祉に関する情報提供を充実させる／身近な場所で相談できる窓口を増やす 26.4	
	50代	社会保障制度の安定を図る 36.1	身近な場所で相談できる窓口を増やす 34.7	保健や福祉に関する情報提供を充実させる 33.3
	60代	社会保障制度の安定を図る 42.6	身近な場所で相談できる窓口を増やす 37.2	保健や福祉に関する情報提供を充実させる 34.0
	70代	社会保障制度の安定を図る 38.3	身近な場所で相談できる窓口を増やす 36.5	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 34.8
	80歳以上	身近な場所で相談できる窓口を増やす 45.5	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 40.9	保健や福祉に関する情報提供を充実させる 33.3
世帯構成	単身世帯	保健や福祉に関する情報提供を充実させる 47.3	社会保障制度の安定を図る 35.1	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 33.8
	夫婦だけの世帯	身近な場所で相談できる窓口を増やす 39.3	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり／社会保障制度の安定を図る 31.7	
	親と子どもだけの世帯	社会保障制度の安定を図る 38.3	身近な場所で相談できる窓口を増やす 32.2	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 31.7
	親と子どもと孫の三世帯世帯	社会保障制度の安定を図る 42.9	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 38.1	身近な場所で相談できる窓口を増やす 34.9
	その他	保健や福祉に関する情報提供を充実させる／身近な場所で相談できる窓口を増やす／緊急時や災害時に身近な地域で助け合う仕組みをつくる 37.5		

図表 瑞浪市の保健・福祉施策として今後重要な取り組み（全体、属性別／複数回答）
（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
居住地区	瑞浪地区	緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 37.9	身近な場所で相談できる窓口を増やす 33.3	社会保障制度の安定を図る 31.8
	土岐地区	社会保障制度の安定を図る 40.2	身近な場所で相談できる窓口を増やす 39.1	保健や福祉に関する情報提供を充実させる／緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 33.3
	明世地区	社会保障制度の安定を図る 38.5	保健や福祉に関する情報提供を充実させる／緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり／サービスを提供する事業者を増やす 26.9	
	稲津町	身近な場所で相談できる窓口を増やす 34.0	社会保障制度の安定を図る 30.0	サービスを提供する事業者を増やす 26.0
	陶町	身近な場所で相談できる窓口を増やす／社会保障制度の安定を図る 35.9		保健や福祉に関する情報提供を充実させる 25.6
	日吉町	社会保障制度の安定を図る 50.0	身近な場所で相談できる窓口を増やす 45.5	保健や福祉に関する情報提供を充実させる／緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり 40.9
	釜戸町	保健や福祉に関する情報提供を充実させる／身緊急時や災害時に地域で助け合う仕組みづくり／社会保障制度の安定を図る 38.1		
	大湫町	社会保障制度の安定を図る 75.0	身近な場所で相談できる窓口を増やす／公共の場のバリアフリーを進める 37.5	

15 自由意見

※ 福祉のまちの実現のために自分ができること、自治会、市や社会福祉協議会にやってほしいことについてご希望やご意見等ありましたら、自由にお書きください。

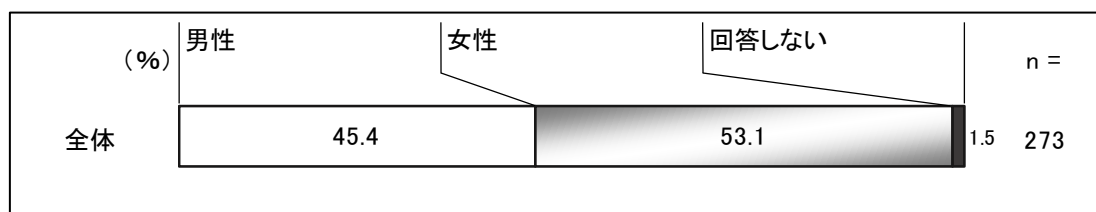
※別紙参照

2 中学生

1 回答者の属性

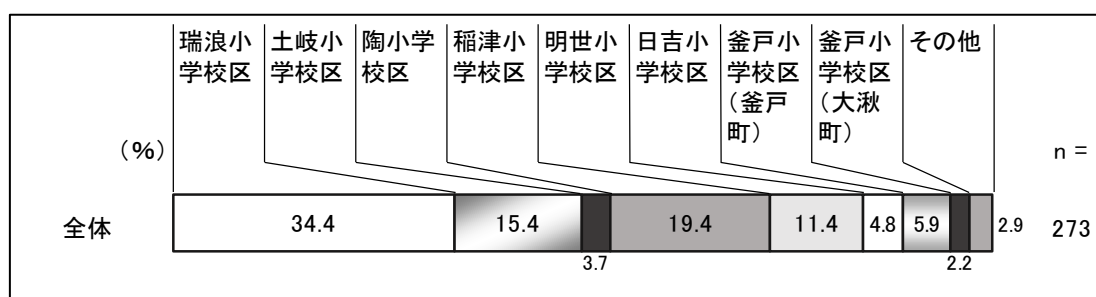
(1) 性別

回答者の性別は、「女性」(53.1%)、「男性」(45.4%)、「回答しない」(1.5%) となっている。



(2) 居住地区

回答者の居住地区は、「瑞浪小校区」(34.4%)、「稲津小校区」(19.4%)、「土岐小校区」(15.4%)、「明世小校区」(11.4%)、「釜戸小校区(釜戸町)」(5.9%)、「日吉小校区」(4.8%)、「陶小校区」(3.7%)、「釜戸小校区(大湫町)」(2.2%) となっている。



2 日常生活について

(1) 近所の人に会ったときにあいさつするか

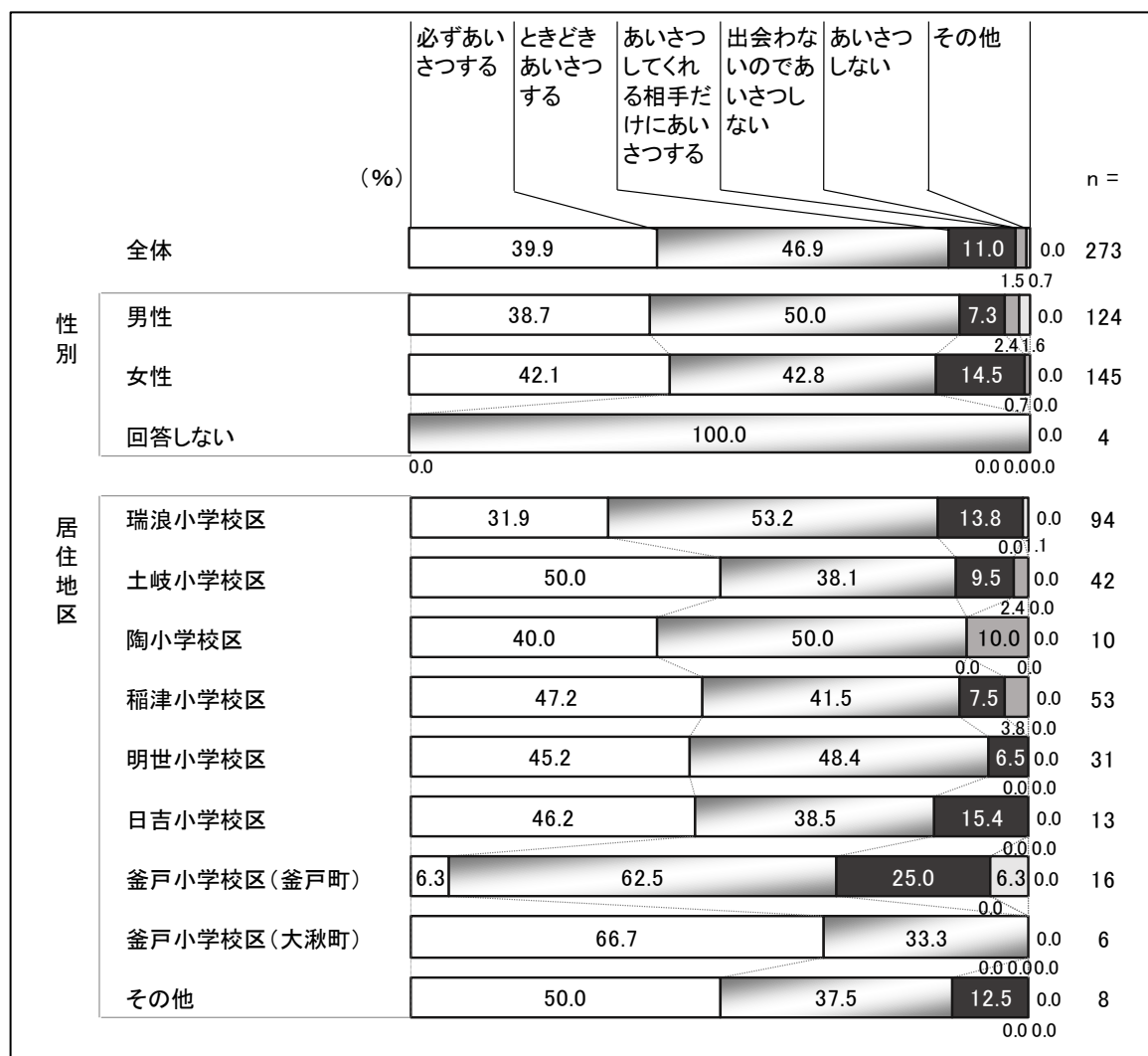
問3 あなたは、近所の人に会ったときに、あいさつをしていますか。

- 「ときどきあいさつする」が4割台半ばを占める。

近所の人に会ったときにあいさつするかどうかたずねたところ、「ときどきあいさつする」(46.9%)が最も高く、次いで、「必ずあいさつする」(39.9%)、「あいさつしてくれる相手だけにあいさつする」(11.0%)となっている。

属性別でみると、居住地区別では、土岐小学校区、稲津小学校区、日吉小学校区、釜戸小学校区(大湫町)で「必ずあいさつする」が最も高くなっている。

図表 近所の人に会ったときにあいさつするか



(2) 近所の人にあいさつされたり声をかけられたりするか

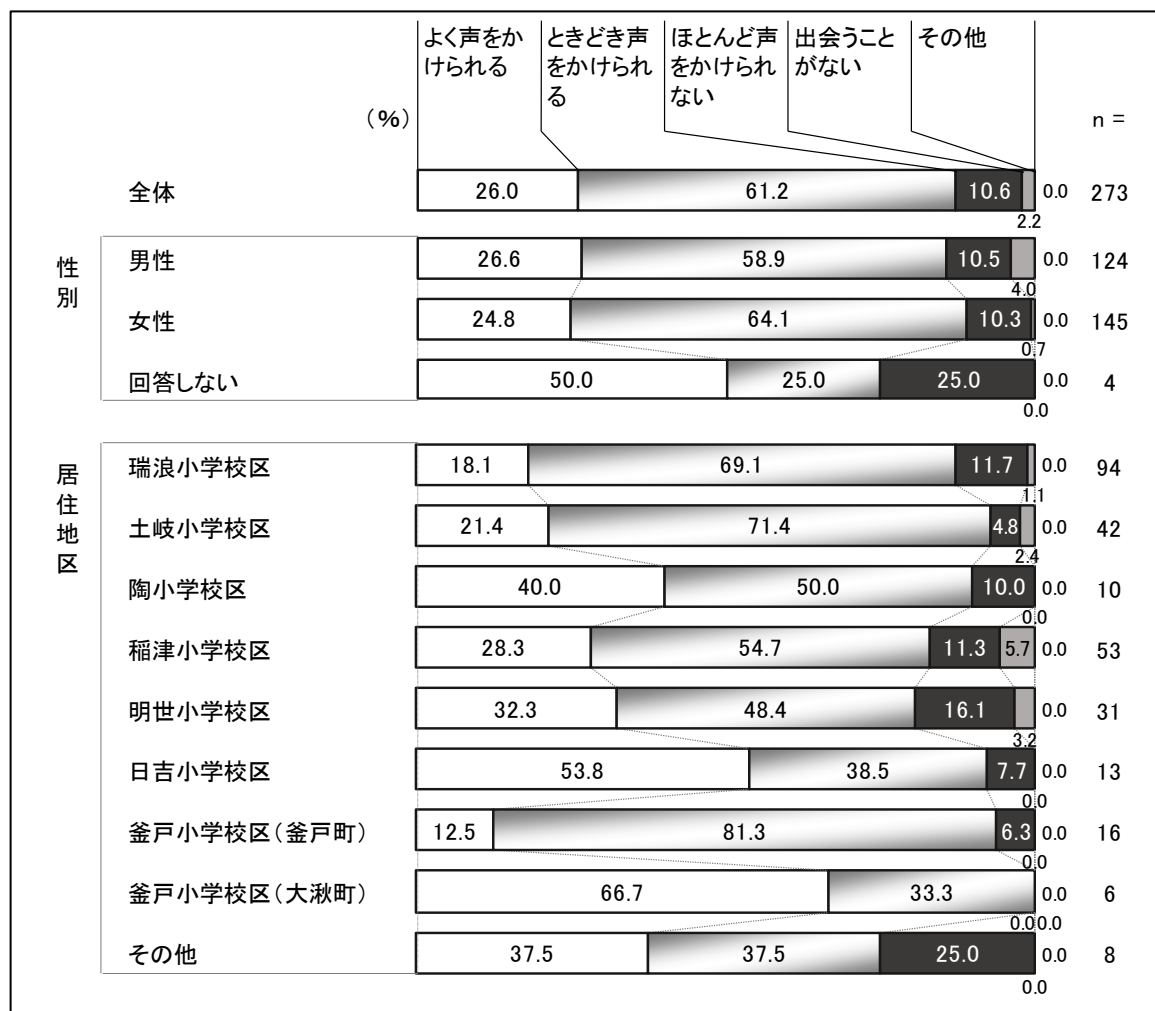
問4 あなたは、近所の人にあいさつされたり、声をかけられたりしますか。

- 「ときどき声をかけられる」が約6割を占める。

近所の人にあいさつされたり声をかけられたりするかどうかたずねたところ、「ときどき声をかけられる」(61.2%)が最も高く、次いで、「よく声をかけられる」(26.0%)、「ほとんど声をかけられない」(10.6%)となっている。

属性別でみると、ほとんどの層で「ときどき声をかけられる」が最も高くなっている。(居住地区別の日吉小学校区、釜戸小学校区(大湫町)では「よく声をかけられる」が最も高い。)

図表 近所の人にあいさつされたり声をかけられたりするか



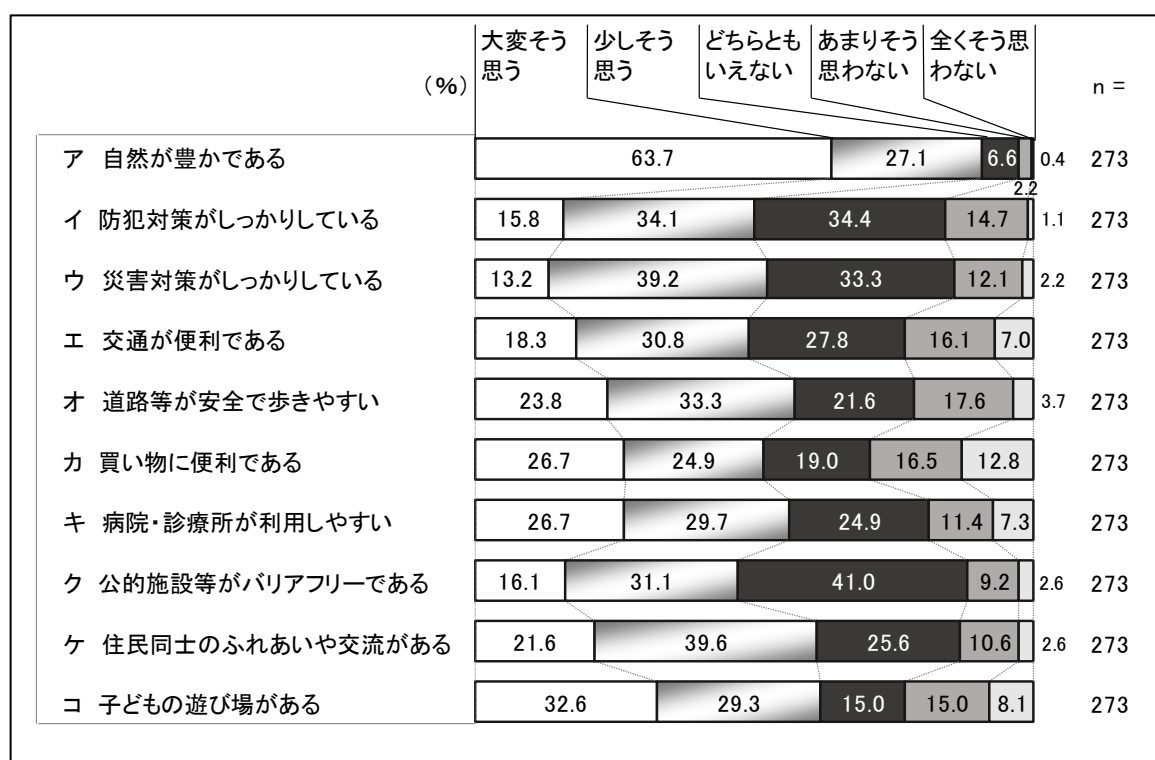
(3) 住んでいる地域について

問5 あなたの住んでいる地域について教えてください。

- 「ア 自然が豊かである」と「思う」が約9割を占める。

住んでいる地域については、「大変そう思う」と「少しそう思う」を合わせた“思う”の率が高い順にみると、「ア 自然が豊かである」(90.8%)が最も高く、次いで、「コ 子どもの遊び場がある」(61.9%)、「ケ 住民同士のふれあいや交流がある」(61.2%)、「オ 道路等が安全で歩きやすい」(57.1%)、「キ 病院・診療所が利用しやすい」(56.4%)、「ウ 災害対策がしっかりしている」(52.4%)、「カ 買い物に便利である」(51.6%)が続いている。

図表 住んでいる地域について



3 ボランティアや地域活動について

(1) 地域の行事に参加しているか

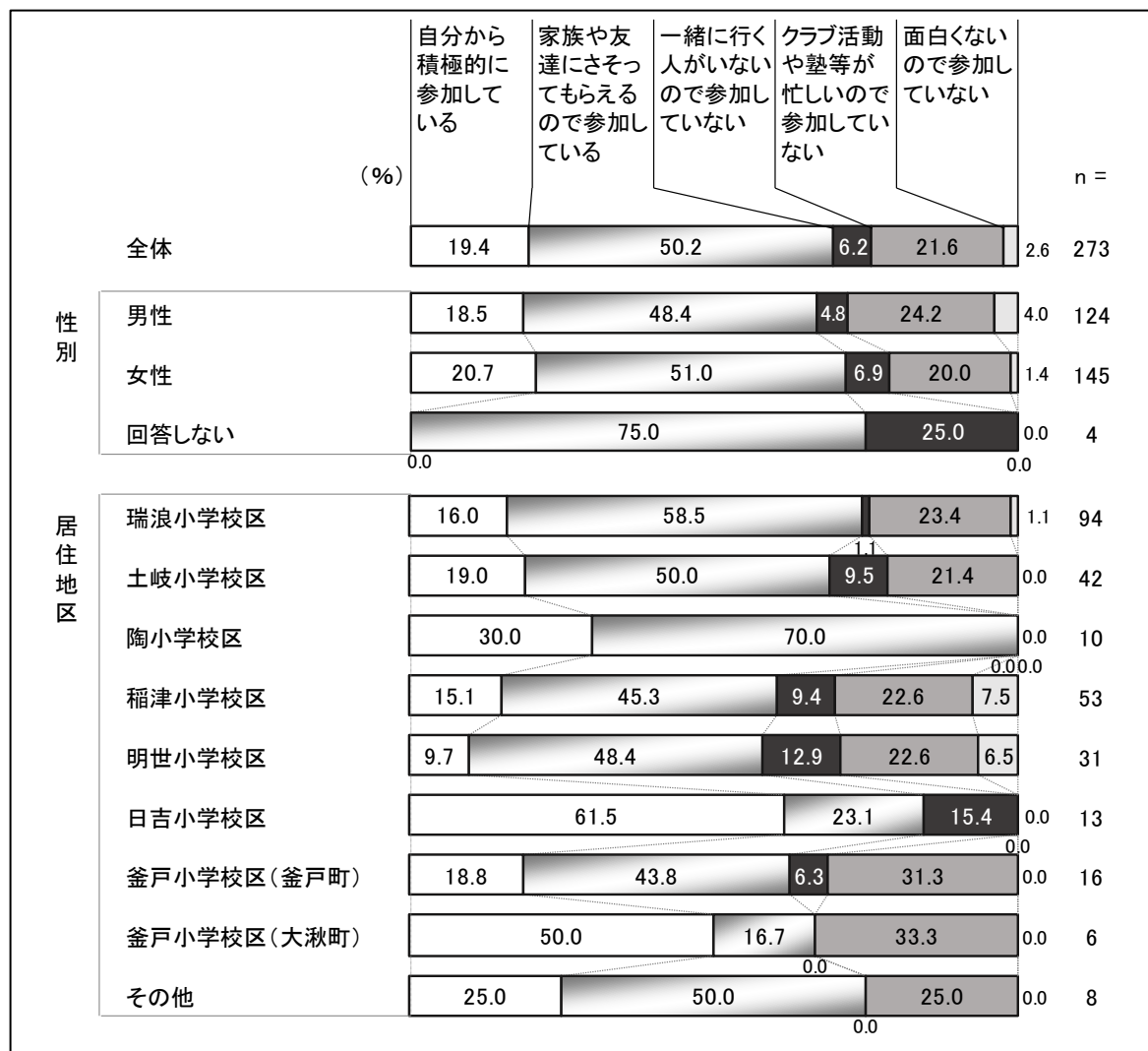
問6 あなたは、地域の行事（まつりなど）に参加していますか。

- 「家族や友達にさそってもらえるので参加している」が約5割を占める。

地域の行事に参加しているかどうかたずねたところ、「家族や友達にさそってもらえるので参加している」(50.2%)が最も高く、次いで、「クラブ活動や塾等が忙しいので参加していない」(21.6%)、「自分から積極的に参加している」(19.4%)となっている。

属性別で「自分から積極的に参加している」の率をみると、居住地区別の日吉小学校区で約6割にのぼる一方、明世小学校区で1割未満となっている。

図表 地域の行事に参加しているか



(2) ボランティア活動をしたことがあるか

問7 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。

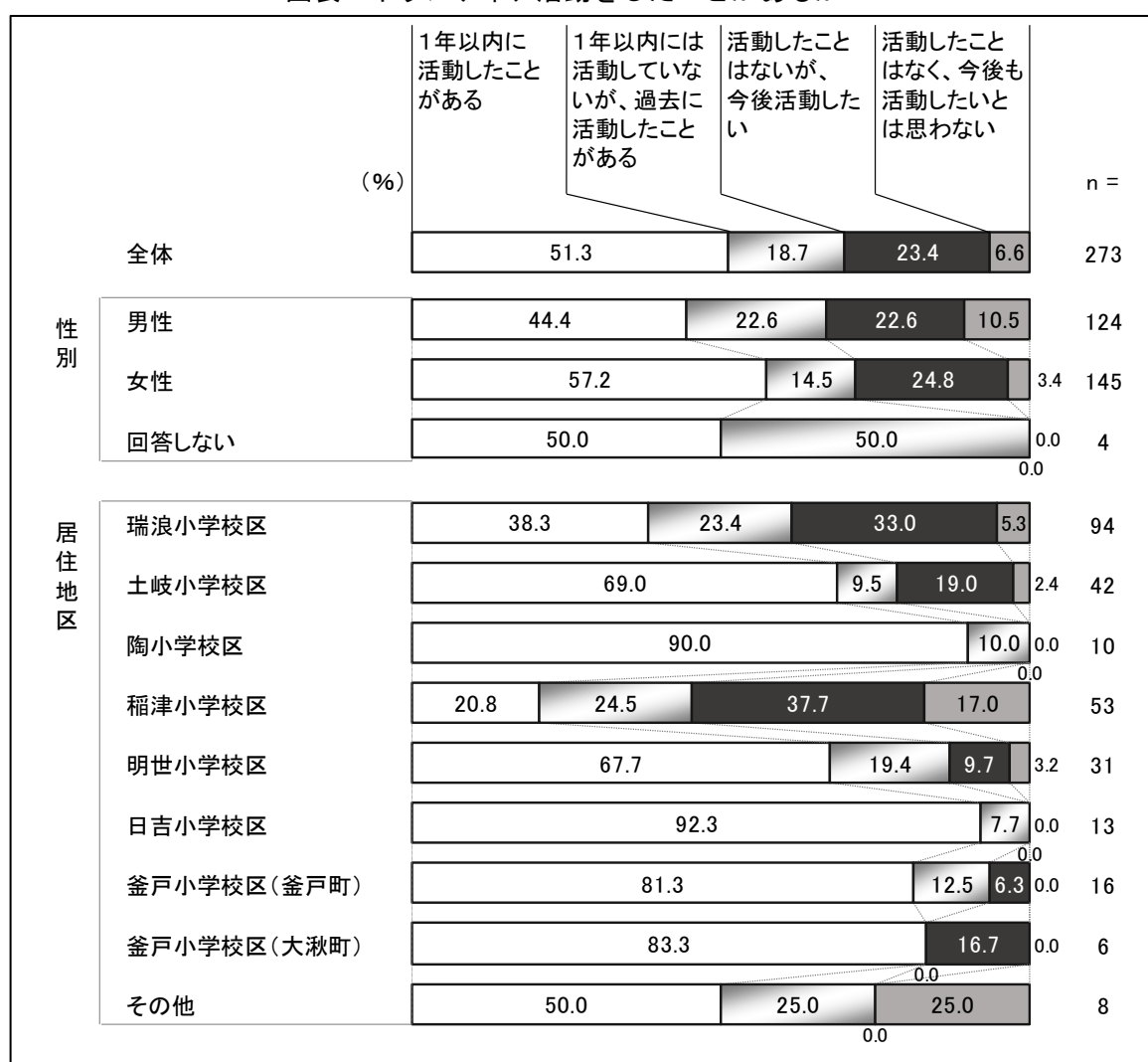
- 「1年以内に活動したことがある」が約5割を占める。

ボランティア活動をしたことがあるかどうかたずねたところ、「1年以内に活動したことがある」(51.3%)が最も高く、次いで、「活動したことはないが、今後活動したい」(23.4%)、「1年以内には活動していないが、過去に活動したことがある」(18.7%)となっている。

属性別でみると、性別では男性より女性の活動経験が多い。

居住地区別では、陶小学校区、明世小学校区、日吉小学校区、釜戸小学校区(釜戸町)、釜戸小学校区(大湫町)で活動経験が8割を超えている。

図表 ボランティア活動をしたことがあるか



(3) 経験したボランティアの内容

【問7で「1. ここ1年以内に活動したことがある」、「2. ここ1年には活動していないが、過去に活動したことがある」と回答した方のみ】

問7-1 どのようなボランティア活動をしましたか。【複数回答】

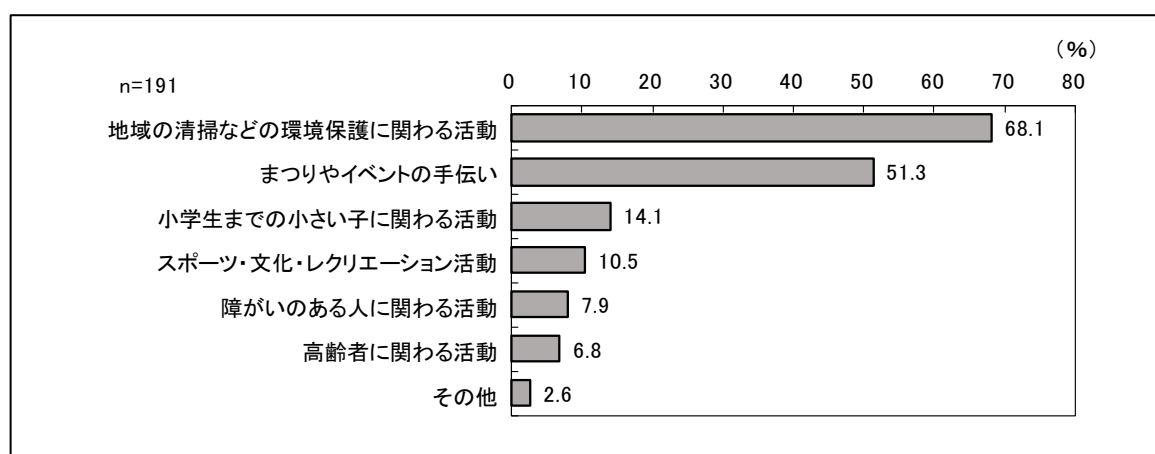


- 「地域の清掃などの環境保護に関わる活動」が第1位。

問7で「1. ここ1年以内に活動したことがある」、「2. ここ1年には活動していないが、過去に活動したことがある」と答えた方（191名・全体の70.0%）に、経験したボランティアの内容をたずねたところ、「地域の清掃などの環境保護に関わる活動」（68.1%）が第1位、次いで、「まつりやイベントの手伝い」（51.3%）、「小学生までの小さい子に関わる活動」（14.1%）となっている。

属性別でみると、いずれの層も「地域の清掃などの環境保護に関わる活動」、「まつりやイベントの手伝い」が上位2位の項目となっている。

図表 経験したボランティアの内容（全体／複数回答）



図表 経験したボランティアの内容（全体、属性別／複数回答）

（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		地域の清掃などの環境保護に関わる活動 68.1	まつりやイベントの手伝い 51.3	小学生までの小さい子に関わる活動 14.1
性別	男性	地域の清掃などの環境保護に関わる活動 66.3	まつりやイベントの手伝い 44.6	小学生までの小さい子に関わる活動 12.0
	女性	地域の清掃などの環境保護に関わる活動 70.2	まつりやイベントの手伝い 57.7	小学生までの小さい子に関わる活動 15.4
	回答しない	地域の清掃などの環境保護に関わる活動 50.0	小学生までの小さい子に関わる活動／高齢者に関わる活動／障がいのある人に関わる活動／まつりやイベントの手伝い／スポーツ・文化・レクリエーション活動 25.0	
居住地区	瑞浪小学校区	地域の清掃などの環境保護に関わる活動／まつりやイベントの手伝い 56.9	小学生までの小さい子に関わる活動 20.7	
	土岐小学校区	地域の清掃などの環境保護に関わる活動 81.8	まつりやイベントの手伝い 24.2	スポーツ・文化・レクリエーション活動 6.1
	陶小学校区	まつりやイベントの手伝い 90.0	地域の清掃などの環境保護に関わる活動 50.0	小学生までの小さい子に関わる活動 30.0
	稲津小学校区	地域の清掃などの環境保護に関わる活動 79.2	まつりやイベントの手伝い 29.2	スポーツ・文化・レクリエーション活動 20.8
	明世小学校区	地域の清掃などの環境保護に関わる活動 81.5	まつりやイベントの手伝い 51.9	スポーツ・文化・レクリエーション活動 11.1
	日吉小学校区	まつりやイベントの手伝い 84.6	地域の清掃などの環境保護に関わる活動 76.9	小学生までの小さい子に関わる活動 23.1
	釜戸小学校区（釜戸町）	まつりやイベントの手伝い 66.7	地域の清掃などの環境保護に関わる活動 46.7	その他 13.3
	釜戸小学校区（大湫町）	地域の清掃などの環境保護に関わる活動／まつりやイベントの手伝い 80.0	小学生までの小さい子に関わる活動 20.0	
	その他	地域の清掃などの環境保護に関わる活動 50.0	まつりやイベントの手伝い 33.3	小学生までの小さい子に関わる活動／高齢者に関わる活動／障がいのある人に関わる活動／その他 16.7

(4) 誰と一緒に活動したか

【問7で「1. ここ1年以内に活動したことがある」、「2. ここ1年には活動していないが、過去に活動したことがある」と回答した方のみ】

問7-2 誰と一緒に活動をしましたか。【複数回答】

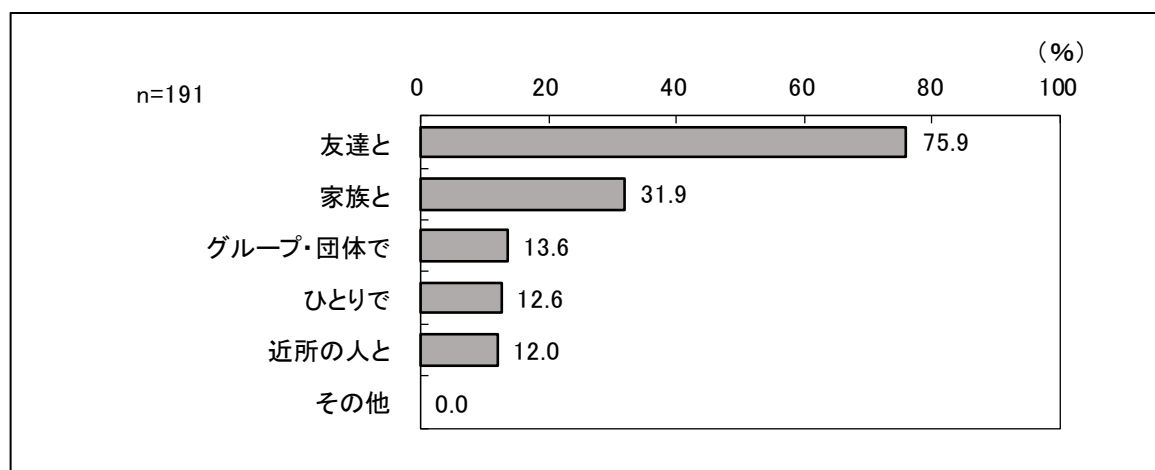


- 「友達と」が他を引き離して第1位。

誰と一緒に活動したかについては、「友達と」(75.9%)が第1位、次いで、「家族と」(31.9%)、「グループ・団体で」(13.6%)となっている。

属性別でも、すべての層で「友達と」が第1位となっている。(居住地区別の釜戸小学校区(大湫町)では「ひとりで」も同率第1位。)

図表 誰と一緒に活動したか(全体/複数回答)



図表 誰と一緒に活動したか（全体、属性別／複数回答）

（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		友達と 75.9	家族と 31.9	グループ・団体で 13.6
性別	男性	友達と 68.7	家族と 41.0	グループ・団体で 16.9
	女性	友達と 82.7	家族と 25.0	ひとりで 14.4
	回答しない	友達と 50.0	ひとりで／家族と／近所の人と／グループ・団体で 25.0	
居住地区	瑞浪小校区	友達と 69.0	家族と 31.0	グループ・団体で 17.2
	土岐小校区	友達と 81.8	家族と 39.4	ひとりで／近所の人と 12.1
	陶小学校区	友達と 70.0	家族と 30.0	ひとりで 20.0
	稲津小学校区	友達と 70.8	家族と 41.7	グループ・団体で 29.2
	明世小学校区	友達と 85.2	家族と 25.9	グループ・団体で 14.8
	日吉小学校区	友達と 92.3	家族と 15.4	ひとりで／近所の人と／グループ・団体で 7.7
	釜戸小学校区 （釜戸町）	友達と 73.3	家族と 40.0	ひとりで 20.0
	釜戸小学校区 （大湫町）	ひとりで／友達と 80.0		近所の人と 40.0
	その他	友達と 66.7	家族と 33.3	グループ・団体で 16.7

(5) 今後参加したいボランティア活動

【問7で「3. 活動したことはないが、今後活動したい」と回答した方のみ】

問7-3 あなたは、今後どのようなボランティア活動に参加したいと思いますか。【複数回答】

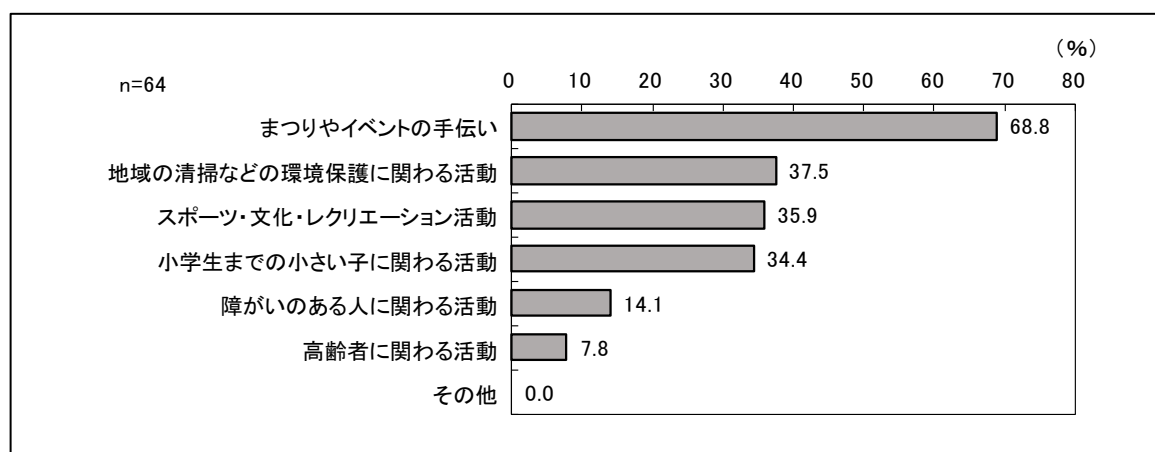


- 「まつりやイベントの手伝い」が他を引き離して第1位。

問7で「3. 活動したことはないが、今後活動したい」と答えた方（64名・全体の23.4%）に、今後どのようなボランティア活動に参加したいかたずねたところ、「まつりやイベントの手伝い」（68.8%）が第1位、次いで、「地域の清掃などの環境保護に関わる活動」（37.5%）、「スポーツ・文化・レクリエーション活動」（35.9%）となっている。

属性別でみると、性別の女性で「小学生までの小さい子に関わる活動」が第2位となっている。

図表 今後参加したいボランティア活動（全体／複数回答）



図表 今後参加したいボランティア活動（全体、属性別／複数回答）

（上位３位、単位：％）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		まつりやイベントの手伝い 68.8	地域の清掃などの環境保護 に関わる活動 37.5	スポーツ・文化・レクリエー ション活動 35.9
性別	男性	まつりやイベントの手伝い 60.7	地域の清掃などの環境保護 に関わる活動 39.3	スポーツ・文化・レクリエー ション活動 35.7
	女性	まつりやイベントの手伝い 75.0	小学生までの小さい子に関 わる活動 41.7	地域の清掃などの環境保護 に関わる活動／スポーツ・ 文化・レクリエーション活 動 36.1
	回答しない			
居住地区	瑞浪小学校区	まつりやイベントの手伝い 71.0	小学生までの小さい子に関 わる活動 45.2	地域の清掃などの環境保護 に関わる活動 38.7
	土岐小学校区	まつりやイベントの手伝い 50.0	地域の清掃などの環境保護 に関わる活動 37.5	小学生までの小さい子に関 わる活動 25.0
	陶小学校区			
	稲津小学校区	まつりやイベントの手伝い 80.0	スポーツ・文化・レクリエー ション活動 45.0	地域の清掃などの環境保護 に関わる活動 35.0
	明世小学校区	まつりやイベントの手伝い 66.7	小学生までの小さい子に関わる活動／地域の清掃など の環境保護に関わる活動／スポーツ・文化・レクリエー ション活動 33.3	
	日吉小学校区			
	釜戸小学校区 （釜戸町）	高齢者に関わる活動／地域の清掃などの環境保護に関わる活動／スポーツ・文化・レ クリエーション活動 100.0		
	釜戸小学校区 （大湫町）	スポーツ・文化・レクリエ ーション活動 100.0		
	その他			

(6) ボランティア活動の参加で一番に考えること

【問7で「3. 活動したことはないが、今後活動したい」と回答した方のみ】

問7-4 あなたは、ボランティア活動に参加するために、何を一番に考えますか。



- 「友達など同世代の人が多くこと」が3割強を占める。

ボランティア活動の参加で一番に考えることについては、「友達など同世代の人が多くこと」(34.4%)が第1位、次いで、「好きな時に短い時間で活動できること」(21.9%)、「家に近い場所で活動できること」(14.1%)となっている。

図表 ボランティア活動の参加で一番に考えること

		好きな時に短い時間で活動できること	家に近い場所で活動できること	友達など同世代の人が多くこと	準備やお金などがからないこと	いろいろな人と知り合えること	対象者の人の役に立ちたい	その他	n =
		(%)							
性別	全体	21.9	14.1	34.4	10.9	12.5	6.3	0.0	64
	男性	21.4	14.3	28.6	14.3	10.7	10.7	0.0	28
	女性	22.2	13.9	38.9	8.3	13.9	2.8	0.0	36
	回答しない								0

(7) まわりに障がいのある人や手助けが必要な高齢者はいるか

問8 あなたのまわりに、障がいのある人や手助けが必要な高齢者はいますか。



- 「いない」が約4割を占める。

まわりに障がいのある人や手助けが必要な高齢者がいるかどうかたずねたところ、「いない」が40.7%、一方、「いる」が26.7%となっている。なお、「わからない」は32.6%となっている。

属性別で「いる」の率をみると、居住地区別の瑞浪小学校区で3割強となっている。

図表 まわりに障がいのある人や手助けが必要な高齢者はいるか

		(%)	いる	いない	わからない	n =
性別	全体		26.7	40.7	32.6	273
	男性		21.0	40.3	38.7	124
	女性		31.7	41.4	26.9	145
	回答しない		25.0	25.0	50.0	4
居住地区	瑞浪小学校区		34.0	34.0	31.9	94
	土岐小学校区		19.0	59.5	21.4	42
	陶小学校区		30.0	30.0	40.0	10
	稲津小学校区		22.6	37.7	39.6	53
	明世小学校区		16.1	45.2	38.7	31
	日吉小学校区		23.1	46.2	30.8	13
	釜戸小学校区(釜戸町)		25.0	37.5	37.5	16
	釜戸小学校区(大湫町)		16.7	50.0	33.3	6
	その他		62.5	25.0	12.5	8

(8) 困っている人を見かけた時に手助けをしているか

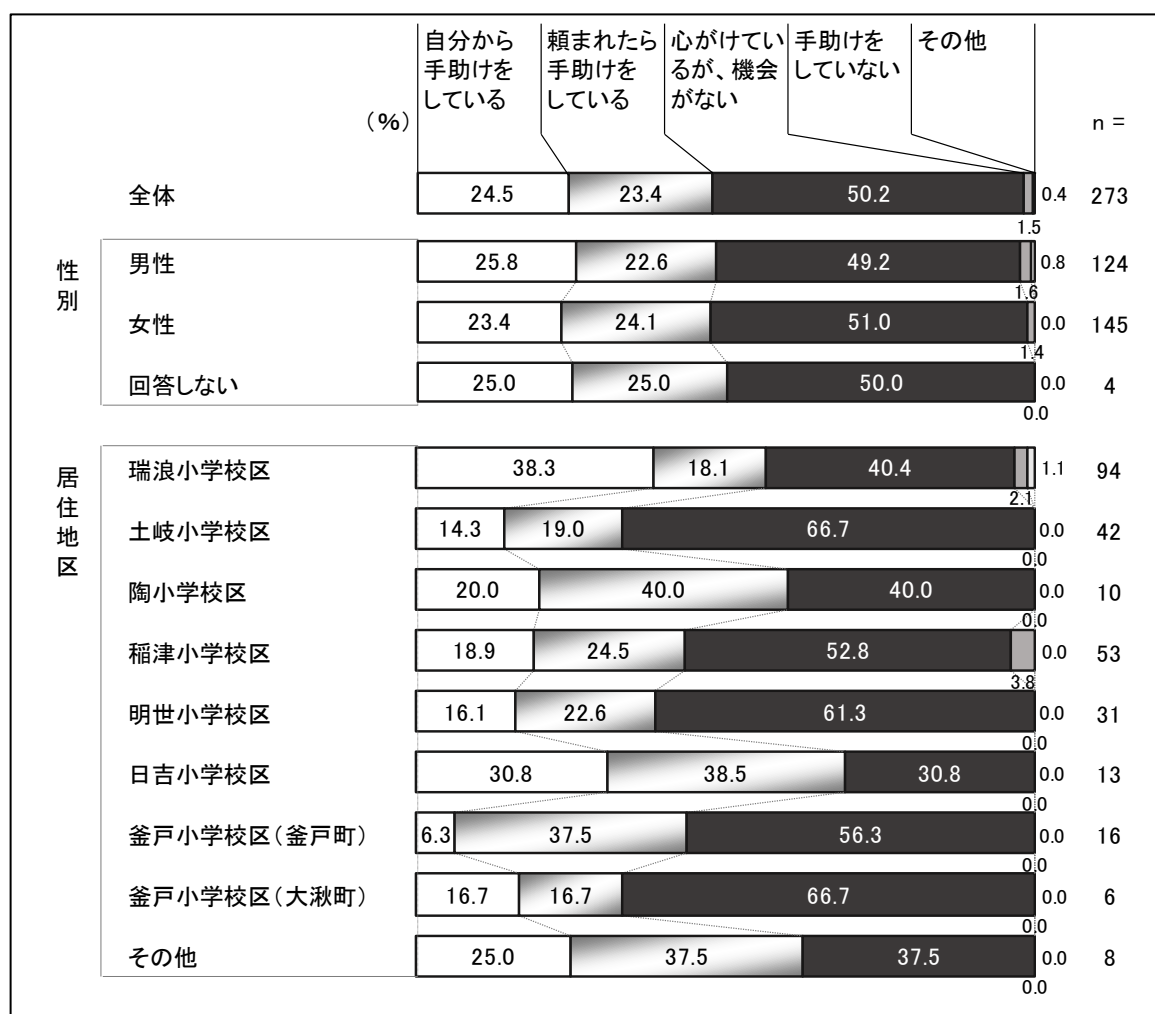
問9 あなたは、困っている人を見かけた時、手助けをしていますか。

- 「心がけているが機会がない」が約5割を占める。

困っている人を見かけた時に手助けをしているかどうかたずねたところ、「心がけているが、機会がない」(50.2%)が最も高く、次いで、「自分から手助けをしている」(24.5%)、「頼まれたら手助けをしている」(23.4%)となっている。

属性別でみると、瑞浪小学校区、日吉小学校区で「自分から手助けをしている」が3割を超えている。

図表 困っている人を見かけた時に手助けをしているか



(9) 手助けをしていない理由

【問9で「4. 手助けをしていない」と回答した方のみ】

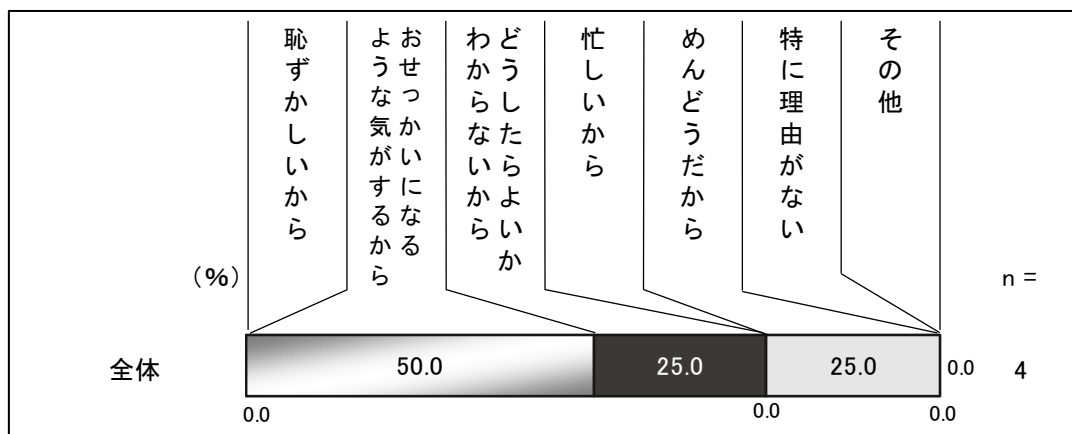
問9-1 「手助けをしていない」理由は何ですか。



- 「おせっかいになるような気がするから」が5割を占める。

問9で「4. 手助けをしていない」と答えた方（4名・全体の1.5%）に、その理由をたずねたところ、「おせっかいになるような気がするから」（50.0%）が最も高くなっている。

図表 手助けをしていない理由



(10) 心がけていること

問 10 あなたは、次のようなことに心がけていますか。【複数回答】

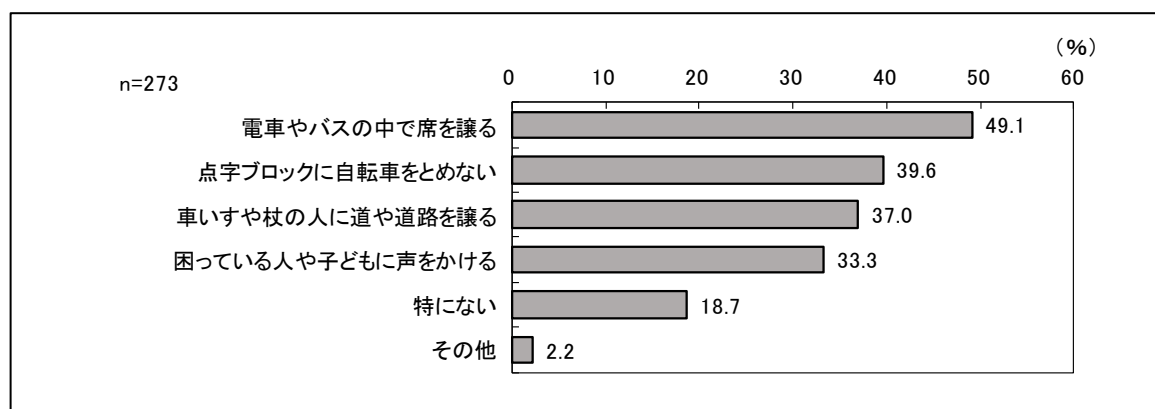


- 「電車やバスのなかで席を譲る」が第1位。

まちなかで心がけていることについては「電車やバスの中で席を譲る」(49.1%)が第1位、次いで、「点字ブロックに自転車をとめない」(39.6%)、「車いすや杖の人に道や道路を譲る」(37.0%)、「困っている人や子どもに声をかける」(33.3%)となっている。

属性別でも、ほとんどの層で「電車やバスのなかで席を譲る」が第1位となっている。(居住地区別の稲津小校区では「車いすや杖の人に道や道路を譲る」、明世小学校区では「点字ブロックに自転車をとめない」が第1位。)

図表 まちなかで心がけていること（全体／複数回答）



図表 まちなかで心がけていること（全体、属性別／複数回答）

（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		電車やバスの中で席を譲る 49.1	点字ブロックに自転車をとめない 39.6	車いすや杖の人に道や道路を譲る 37.0
性別	男性	電車やバスの中で席を譲る 48.4	点字ブロックに自転車をとめない 41.1	車いすや杖の人に道や道路を譲る 33.1
	女性	電車やバスの中で席を譲る 49.0	車いすや杖の人に道や道路を譲る 40.0	点字ブロックに自転車をとめない 39.3
	回答しない	電車やバスの中で席を譲る 75.0	車いすや杖の人に道や道路を譲る／困っている人や子どもに声をかける 50.0	
居住地区	瑞浪小学校区	電車やバスの中で席を譲る 50.0	車いすや杖の人に道や道路を譲る 47.9	点字ブロックに自転車をとめない 41.5
	土岐小学校区	電車やバスの中で席を譲る 54.8	点字ブロックに自転車をとめない／困っている人や子どもに声をかける 33.3	
	陶小学校区	車いすや杖の人に道や道路を譲る／電車やバスの中で席を譲る 60.0		困っている人や子どもに声をかける 50.0
	稲津小学校区	車いすや杖の人に道や道路を譲る 50.9	電車やバスの中で席を譲る 47.2	点字ブロックに自転車をとめない 45.3
	明世小学校区	点字ブロックに自転車をとめない 41.9	電車やバスの中で席を譲る 38.7	困っている人や子どもに声をかける 32.3
	日吉小学校区	電車やバスの中で席を譲る 46.2	点字ブロックに自転車をとめない／困っている人や子どもに声をかける 30.8	
	釜戸小学校区（釜戸町）	電車やバスの中で席を譲る 37.5	点字ブロックに自転車をとめない 25.0	車いすや杖の人に道や道路を譲る／困っている人や子どもに声をかける 12.5
	釜戸小学校区（大湫町）	電車やバスの中で席を譲る 50.0	点字ブロックに自転車をとめない／車いすや杖の人に道や道路を譲る 16.7	
	その他	点字ブロックに自転車をとめない／電車やバスの中で席を譲る 75.0		車いすや杖の人に道や道路を譲る／困っている人や子どもに声をかける 37.5

(11) 瑞浪市は大人になっても住み続けたいまちか

問 11 瑞浪市は、あなたにとって大人になっても住み続けたいまちですか。

- 「はい」 が約 3 割を占める。

瑞浪市は大人になっても住み続けたいまちかどうかたずねたところ、「はい」が 30.4%、一方、「いいえ」が 19.0%となっている。なお、「わからない」は 50.5%となっている。

属性別で「はい」の率をみると、居住地区別の日吉小学校区、釜戸小学校区（大湫町）では半数を超える。一方、陶小学校区、稲津小学校区では 1 割程度にとどまっている。

図表 瑞浪市は大人になっても住み続けたいまちか

		(%)	はい	いいえ	わからない	n =
性別	全体		30.4	19.0	50.5	273
	男性		25.8	16.9	57.3	124
	女性		34.5	20.7	44.8	145
	回答しない		25.0	25.0	50.0	4
居住地区	瑞浪小学校区		36.2	12.8	51.1	94
	土岐小学校区		47.6	9.5	42.9	42
	陶小学校区		10.0	40.0	50.0	10
	稲津小学校区		11.3	30.2	58.5	53
	明世小学校区		22.6	9.7	67.7	31
	日吉小学校区		53.8	38.5	7.7	13
	釜戸小学校区(釜戸町)		18.8	37.5	43.8	16
	釜戸小学校区(大湫町)		66.7	0.0	33.3	6
	その他		12.5	25.0	62.5	8

(12) 住み続けたい市にするために整備すべきこと

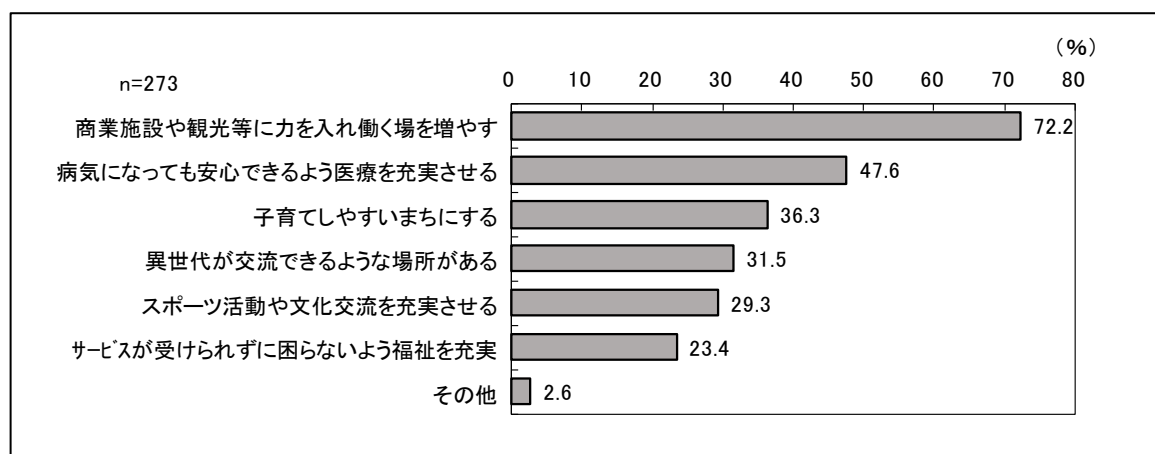
問 12 瑞浪市に住み続けたいと思えるようにするためには、どのようなことが整備されると良いと思いますか。【複数回答】

- 「商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす」が他を引き離して第1位。

住み続けたい市にするために整備すべきことについては、「商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす」(72.2%)が第1位、次いで、「病気になっても安心できるよう医療を充実させる」(47.6%)、「子育てしやすいまちにする」(36.3%)、「異世代が交流できるような場所がある」(31.5%)となっている。

属性別でも、ほとんどの層で「商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす」が第1位となっている。(居住地区別の陶小校区では「病気になっても安心できるよう医療を充実させる」、釜戸小学校区(大湫町)では「スポーツ活動や文化交流を充実させる」が第1位。)

図表 住み続けたい市にするために整備すべきこと(全体/複数回答)



図表 住みたい市にするために整備すべきこと（全体、属性別／複数回答）

（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす 72.2	病気になっても安心できる よう医療を充実させる 47.6	子育てしやすいまちにする 36.3
性別	男性	商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす 75.8	病気になっても安心できる よう医療を充実させる 48.4	スポーツ活動や文化交流を 充実させる 36.3
	女性	商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす 69.7	病気になっても安心できる よう医療を充実させる 46.9	子育てしやすいまちにする 41.4
	回答しない	商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす／病気になっても安心できる よう医療を充実させる／子育てしやすいまちにする／スポーツ活動や文化交流を 充実させる／異世代が交流できるような場所がある 50.0		
居住地区	瑞浪小学校区	商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす 69.1	病気になっても安心できる よう医療を充実させる 47.9	子育てしやすいまちにする 44.7
	土岐小学校区	商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす 78.6	スポーツ活動や文化交流を 充実させる 35.7	病気になっても安心できる よう医療を充実させる 33.3
	陶小学校区	病気になっても安心できる よう医療を充実させる 80.0	商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす 70.0	異世代が交流できるような 場所がある 60.0
	稲津小学校区	商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす 71.7	病気になっても安心できる よう医療を充実させる 52.8	サービスが受けられずに困ら ないよう福祉を充実／異世 代が交流できるような場所 がある 28.3
	明世小学校区	商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす 80.6	異世代が交流できるような 場所がある 41.9	病気になっても安心できる よう医療を充実させる 38.7
	日吉小学校区	商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす 76.9	病気になっても安心できる よう医療を充実させる 69.2	子育てしやすいまちにする 46.2
	釜戸小学校区 （釜戸町）	商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす 81.3	病気になっても安心できるよう医療を充実させる／子 育てしやすいまちにする 56.3	
	釜戸小学校区 （大湫町）	スポーツ活動や文化交流を 充実させる 83.3	病気になっても安心できる よう医療を充実させる 66.7	異世代が交流できるような 場所がある 50.0
	その他	商業施設や観光等に力を入れ働く場を増やす 50.0	子育てしやすいまちにする／異世代が交流できるよ うな場所がある 25.0	

(13) 住みよいまちにするためにあると良い活動

問 13 今後、住みよいまちにするために、どのような活動があると良いと思いますか。
【複数回答】

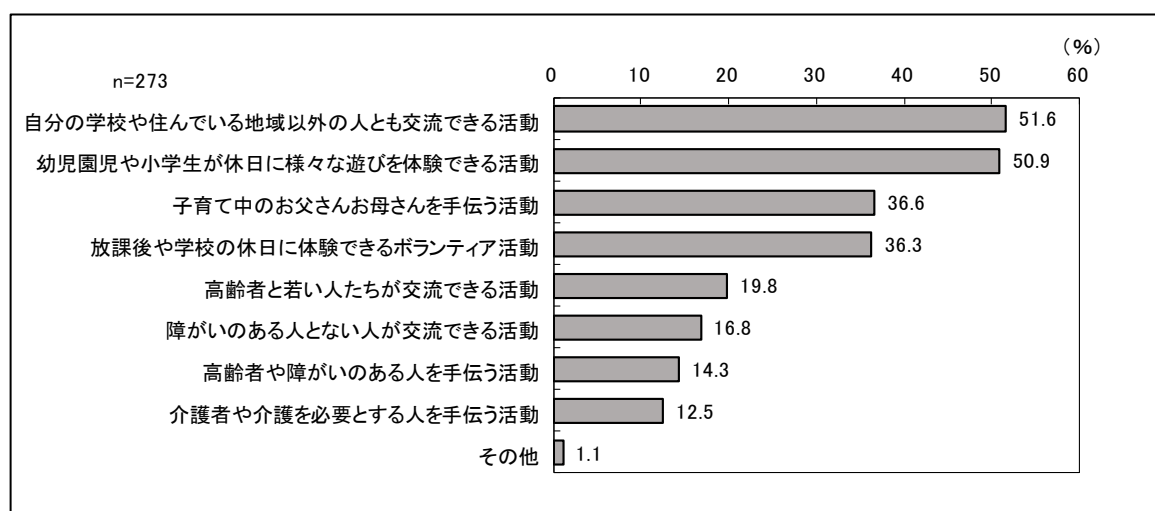


- 「自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動」、「幼稚園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動」が2大要件。

住みよいまちにするためにあるといい活動については、「自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動」(51.6%)が第1位、次いで、「幼稚園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動」(50.9%)、「子育て中のお父さんお母さんを手伝う活動」(36.6%)、「放課後や学校の休日に体験できるボランティア活動」(36.3%)となっている。

属性別でも、ほとんどの層で「自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動」、「幼稚園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動」が上位2位までの項目となっているが、居住地区別の稲津小学校区では「放課後や学校の休日に体験できるボランティア活動」が第1位となっている。

図表 住みよいまちにするためにあるといい活動（全体／複数回答）



図表 住みよいまちにするためにあるといい活動（全体、属性別／複数回答）
（上位３位、単位：％）

		第１位	第２位	第３位
全体		自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動 51.6	幼児園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動 50.9	子育て中のお父さんお母さんを手伝う活動 36.6
性別	男性	自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動 52.4	幼児園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動 46.0	子育て中のお父さんお母さんを手伝う活動 35.5
	女性	幼児園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動 54.5	自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動 51.7	放課後や学校の休日に体験できるボランティア活動 42.1
	回答しない	幼児園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動 75.0	障がいのある人となない人が交流できる活動／子育て中のお父さんお母さんを手伝う活動／高齢者や障がいのある人を手伝う活動 50.0	
居住地区	瑞浪小学校区	自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動／幼児園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動 52.1	子育て中のお父さんお母さんを手伝う活動 41.5	
	土岐小学校区	幼児園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動 54.8	自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動 50.0	放課後や学校の休日に体験できるボランティア活動 42.9
	陶小学校区	自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動 80.0	幼児園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動 50.0	放課後や学校の休日に体験できるボランティア活動 40.0
	稲津小学校区	放課後や学校の休日に体験できるボランティア活動 43.4	幼児園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動 41.5	子育て中のお父さんお母さんを手伝う活動 37.7
	明世小学校区	自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動 64.5	幼児園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動 54.8	子育て中のお父さんお母さんを手伝う活動 38.7
	日吉小学校区	自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動／幼児園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動 69.2	放課後や学校の休日に体験できるボランティア活動 46.2	
	釜戸小学校区（釜戸町）	幼児園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動 56.3	自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動／放課後や学校の休日に体験できるボランティア活動 37.5	
	釜戸小学校区（大湫町）	自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動／幼児園児や小学生が休日に様々な遊びを体験できる活動 66.7	子育て中のお父さんお母さんを手伝う活動 50.0	
	その他	自分の学校や住んでいる地域以外の人とも交流できる活動 62.5	子育て中のお父さんお母さんを手伝う活動 37.5	障がいのある人となない人が交流できる活動／放課後や学校の休日に体験できるボランティア活動／その他 25.0

4 災害時における助け合いについて

(1) 地域における災害の備えとして重要な事

問 14 南海トラフ大地震等の大きな災害が起きた場合には、地域の助け合いが、非常に重要です。あなたの住む地域における災害時の備えとして、どんなことが重要だと思いますか。【複数回答】

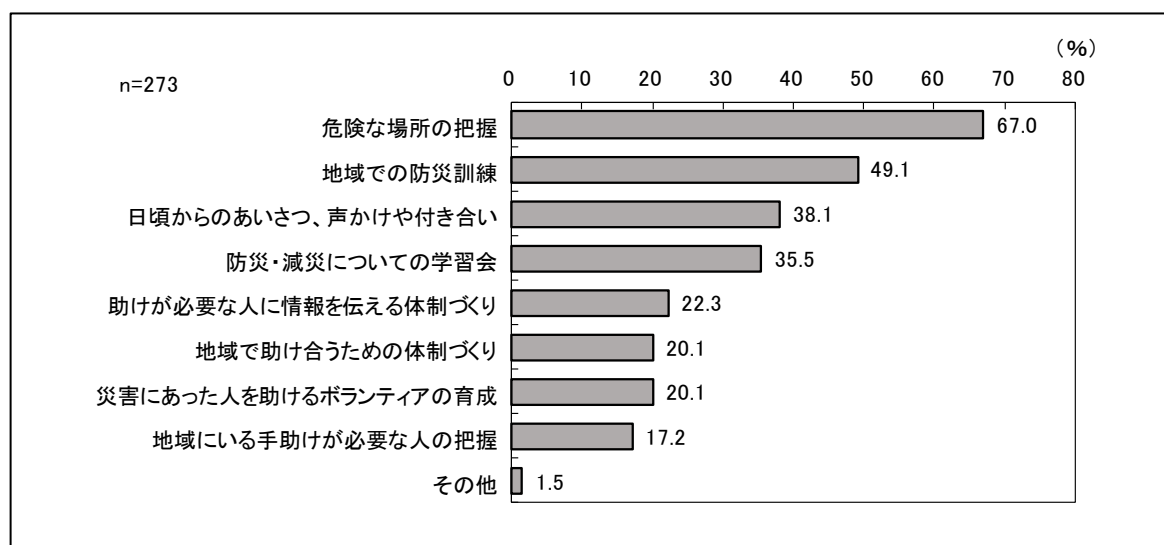


- 「危険な場所の把握」が他を引き離して第1位。

災害時の備えとして重要だと思うことは、「危険な場所の把握」(67.0%)が第1位、次いで、「地域での防災訓練」(49.1%)、「日頃からのあいさつ、声かけや付き合い」(38.1%)、「防災・減災についての学習会」(35.5%)となっている。

属性別でも、ほとんどの層で「危険な場所の把握」が第1位となっている。(居住地区別の陶小学校区では「防災・減災についての学習会」、「日頃からのあいさつ、声かけや付き合い」、釜戸小学校区(大湫町)では「災害にあった人を助けるボランティアの育成」が第1位。)

図表 地域における災害の備えとして重要な事(全体/複数回答)



図表 地域における災害の備えとして重要な事（全体、属性別／複数回答）

（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		危険な場所の把握 67.0	地域での防災訓練 49.1	日頃からのあいさつ、声かけや付き合い 38.1
性別	男性	危険な場所の把握 71.0	地域での防災訓練 47.6	防災・減災についての学習会 43.5
	女性	危険な場所の把握 62.8	地域での防災訓練 50.3	日頃からのあいさつ、声かけや付き合い 44.8
	回答しない	危険な場所の把握 100.0	地域での防災訓練／災害にあった人を助けるボランティアの育成 50.0	
居住地区	瑞浪小校区	危険な場所の把握 69.1	地域での防災訓練 50.0	日頃からのあいさつ、声かけや付き合い 36.2
	土岐小校区	危険な場所の把握 61.9	防災・減災についての学習会 50.0	日頃からのあいさつ、声かけや付き合い 45.2
	陶小学校区	防災・減災についての学習会／日頃からのあいさつ、声かけや付き合い 60.0	地域での防災訓練 50.0	
	稲津小学校区	危険な場所の把握 69.8	地域での防災訓練 54.7	防災・減災についての学習会 39.6
	明世小学校区	危険な場所の把握 64.5	地域での防災訓練 45.2	地域で助け合うための体制づくり 41.9
	日吉小学校区	危険な場所の把握 84.6	地域での防災訓練 69.2	日頃からのあいさつ、声かけや付き合い 53.8
	釜戸小学校区（釜戸町）	危険な場所の把握 81.3	防災・減災についての学習会 50.0	地域での防災訓練 43.8
	釜戸小学校区（大湫町）	災害にあった人を助けるボランティアの育成 83.3	防災・減災についての学習会／日頃からのあいさつ、声かけや付き合い／地域での防災訓練／危険な場所の把握／助けが必要な人に情報を伝える体制づくり 33.3	
	その他	危険な場所の把握 62.5	日頃からのあいさつ、声かけや付き合い／地域での防災訓練／助けが必要な人に情報を伝える体制づくり 37.5	

5 自由意見

問 15 今後、住みよいまちづくりを進めていくための意見や要望がありましたら、自由にお書きください。

※別紙参照